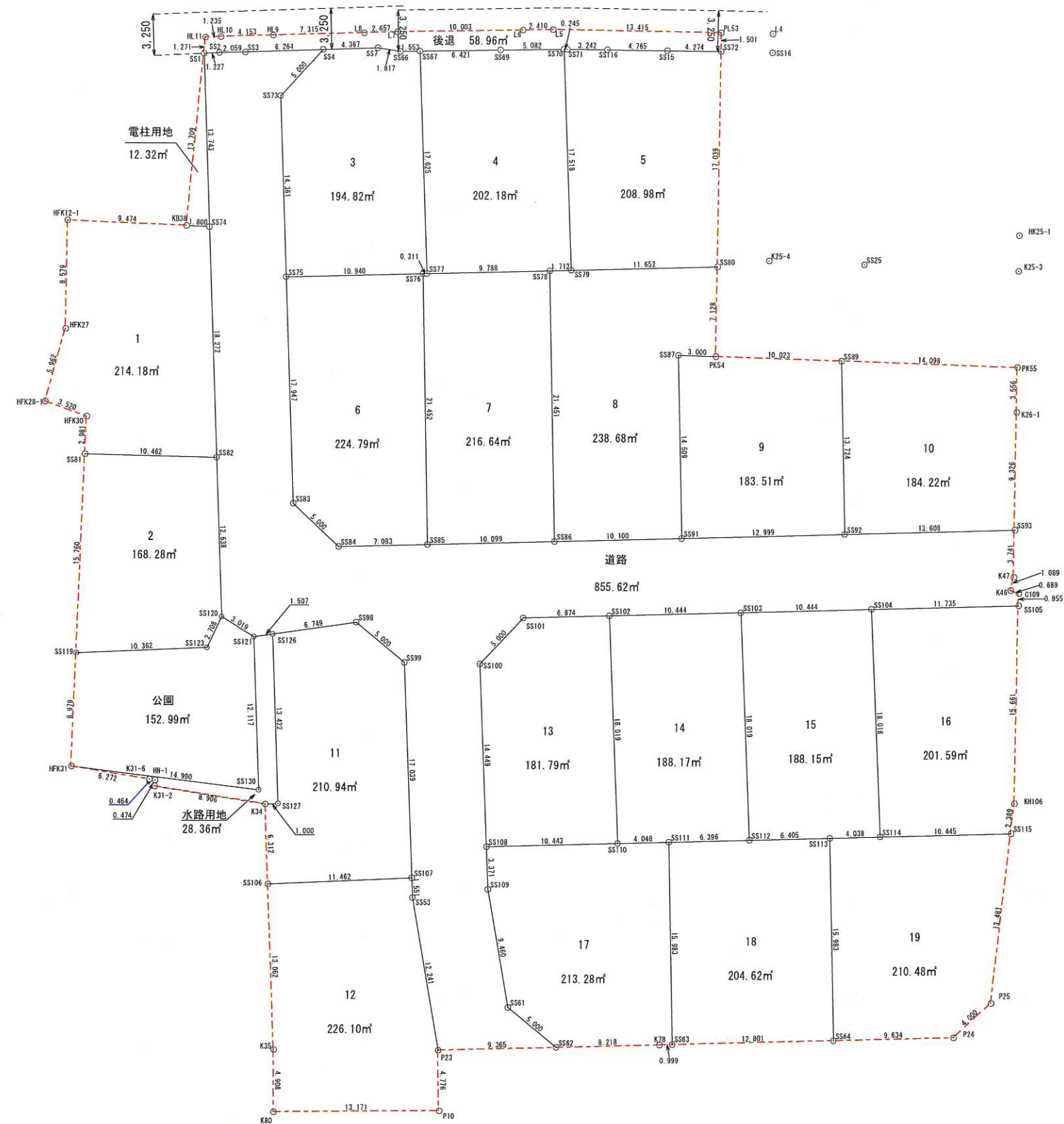




工事名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可			
図面名	各区割測量図			
縮尺	A2: S=1/300 A3: S=1/400 (75%)	図面番号	1	2024.01.25
図面作成者	株式会社 ジ - テ ッ ク 設計担当 宮崎 鉄弥			

地 番 1		
測点名	X座標	Y座標
HFK12-1	-126218.839	54163.382
KB38	-126222.083	54172.284
SS74	-126222.700	54173.975
SS82	-126240.332	54169.181
SS81	-126236.942	54159.283
HFK30	-126234.132	54160.279
HFK28-1	-126232.002	54157.476
HFK27	-126226.992	54160.709
倍面積	428.367796	
面 積	214.1938980	
地 積	214.18m ²	
地 番 2		
測点名	X座標	Y座標
SS81	-126236.942	54159.283
SS82	-126240.332	54169.181
SS120	-126252.527	54165.865
SS123	-126254.511	54164.022
SS119	-126251.798	54154.021
倍面積	336.579855	
面 積	168.2899275	
地 積	168.28m ²	
地 番 3		
測点名	X座標	Y座標
SS4	-126212.015	54186.777
SS7	-126213.196	54190.982
SS66	-126214.018	54192.603
SS67	-126214.460	54194.092
SS77	-126231.468	54189.468
SS76	-126231.381	54189.169
SS75	-126228.339	54178.660
SS73	-126214.481	54182.428
倍面積	389.653648	
面 積	194.8268240	
地 積	194.82m ²	
地 番 4		
測点名	X座標	Y座標
SS67	-126214.460	54194.092
SS69	-126216.284	54200.249
SS70	-126217.761	54205.112
SS79	-126234.666	54200.515
SS78	-126234.190	54198.870
SS77	-126231.468	54189.468
倍面積	404.368840	
面 積	202.1844200	
地 積	202.18m ²	
地 番 5		
測点名	X座標	Y座標
SS70	-126217.761	54205.112
SS71	-126217.832	54205.347
SS116	-126218.837	54208.430
SS15	-126220.343	54212.951
SS72	-126221.709	54217.001
SS80	-126237.906	54211.708
SS79	-126234.666	54200.515
倍面積	417.975410	
面 積	208.9877050	
地 積	208.98m ²	

地 番 6		
測点名	X座標	Y座標
SS75	-126228.339	54178.660
SS76	-126231.381	54189.169
SS85	-126251.987	54183.204
SS84	-126250.017	54176.400
SS83	-126245.658	54173.951
倍面積	449.584058	
面積	224.7920290	
地 積	224.79m ²	
地 番 7		
測点名	X座標	Y座標
SS76	-126231.381	54189.169
SS77	-126231.468	54189.468
SS78	-126234.190	54198.870
SS86	-126254.795	54192.905
SS85	-126251.987	54183.204
倍面積	433.289220	
面積	216.6446100	
地 積	216.64m ²	
地 番 8		
測点名	X座標	Y座標
SS78	-126234.190	54198.870
SS79	-126234.666	54200.515
SS80	-126237.906	54211.708
PK54	-126244.673	54209.468
SS87	-126243.667	54206.641
SS91	-126257.604	54202.607
SS86	-126254.795	54192.905
倍面積	477.374411	
面積	238.6872055	
地 積	238.68m ²	
地 番 9		
測点名	X座標	Y座標
SS87	-126243.667	54206.641
PK54	-126244.673	54209.468
SS89	-126248.036	54218.910
SS92	-126261.219	54215.094
SS91	-126257.604	54202.607
倍面積	367.037109	
面積	183.5185545	
地 積	183.51m ²	
地 番 10		
測点名	X座標	Y座標
SS89	-126248.036	54218.910
PK55	-126252.765	54232.192
K26-I	-126256.146	54231.087
SS93	-126265.003	54228.166
SS92	-126261.219	54215.094
倍面積	368.440906	
面積	184.2204530	
地 積	184.22m ²	
地 番 11		
測点名	X座標	Y座標
SS99	-126260.371	54178.685
SS98	-126256.167	54175.980
SS126	-126255.062	54169.322
SS127	-126268.013	54165.796
K34	-126267.753	54164.830
SS106	-126273.848	54163.191
SS107	-126276.825	54174.260
倍面積	421.897320	
面積	210.9486600	
地 積	210.94m ²	

地 番 12		
測点名	X座標	Y座標
SS106	-126273.848	54163.191
SS107	-126276.825	54174.260
SS53	-126278.323	54173.857
P23	-126290.459	54172.256
P10	-126295.047	54170.928
K80	-126291.151	54158.346
K35	-126286.462	54159.798
倍面積	452.214487	
面 積	226.1072435	
地 積	226.10m ²	
地 番 13		
測点名	X座標	Y座標
SS100	-126262.290	54184.383
SS101	-126259.835	54188.739
SS102	-126261.747	54195.342
SS110	-126279.148	54190.662
SS108	-126276.244	54180.630
倍面積	363.580596	
面 積	181.7902980	
地 積	181.79m ²	
地 番 14		
測点名	X座標	Y座標
SS102	-126261.747	54195.342
SS103	-126264.651	54205.375
SS112	-126282.052	54200.695
SS111	-126280.274	54194.551
SS110	-126279.148	54190.662
倍面積	376.353408	
面 積	188.1767040	
地 積	188.17m ²	
地 番 15		
測点名	X座標	Y座標
SS103	-126264.651	54205.375
SS104	-126267.556	54215.407
SS114	-126284.956	54210.727
SS113	-126283.834	54206.848
SS112	-126282.052	54200.695
倍面積	376.318464	
面 積	188.1592320	
地 積	188.15m ²	
地 番 16		
測点名	X座標	Y座標
SS104	-126267.556	54215.407
SS105	-126270.819	54226.680
KH106	-126285.677	54221.729
SS115	-126287.861	54220.760
SS114	-126284.956	54210.727
倍面積	403.185444	
面 積	201.5927220	
地 積	201.59m ²	
地 番 17		
測点名	X座標	Y座標
SS108	-126276.244	54180.630
SS110	-126279.148	54190.662
SS111	-126280.274	54194.551
SS63	-126295.627	54190.106
K78	-126295.349	54189.146
SS62	-126293.064	54181.252
SS61	-126288.879	54178.516
SS109	-126279.500	54179.754
倍面積	426.575527	
面 積	213.2877635	
地 積	213.28m ²	

地 番 18		
測点名	X座標	Y座標
SS111	-126280.274	54194.551
SS112	-126282.052	54200.695
SS113	-126283.834	54206.848
SS64	-126299.187	54202.403
SS63	-126295.627	54190.106
倍面積	409.248656	
面積	204.6243280	
地 積	204.62m ²	
地 番 19		
測点名	X座標	Y座標
SS113	-126283.834	54206.848
SS114	-126284.956	54210.727
SS115	-126287.861	54220.760
P25	-126300.181	54215.286
P24	-126301.866	54211.658
SS64	-126299.187	54202.403
倍面積	420.976223	
面積	210.4881115	
地 積	210.48m ²	

宅地小計=3861.40m²

地 番 道路		
測点名	X座標	Y座標
SS1	-126209.438	54177.581
SS2	-126209.757	54178.766
SS3	-126210.322	54180.746
SS4	-126212.015	54186.777
SS73	-126214.481	54182.428
SS75	-126228.339	54178.660
SS83	-126245.658	54173.951
SS84	-126250.017	54176.400
SS85	-126251.987	54183.204
SS86	-126254.795	54192.905
SS91	-126257.604	54202.607
SS92	-126261.219	54215.094
SS93	-126265.003	54228.166
K47	-126268.566	54226.994
K46	-126269.492	54226.436
G109	-126269.913	54226.982
SS105	-126270.819	54226.680
SS104	-126267.556	54215.407
SS103	-126264.651	54205.375
SS102	-126261.747	54195.342
SS101	-126259.835	54188.739
SS100	-126262.290	54184.383
SS108	-126276.244	54180.630
SS109	-126279.500	54179.754
SS61	-126288.879	54178.516
SS62	-126293.064	54181.252
P23	-126290.459	54172.256
SS53	-126278.323	54173.857
SS107	-126276.825	54174.260
SS99	-126260.371	54178.685
SS98	-126256.167	54175.980
SS126	-126255.062	54169.322
SS121	-126254.815	54167.835
SS120	-126252.527	54165.865
SS82	-126240.332	54169.181
SS74	-126222.700	54173.975
倍面積	1711.254197	
面積	855.6270985	
地 積	855.62m ²	

道路=855.62m²

道路・後退小計=917.02m²

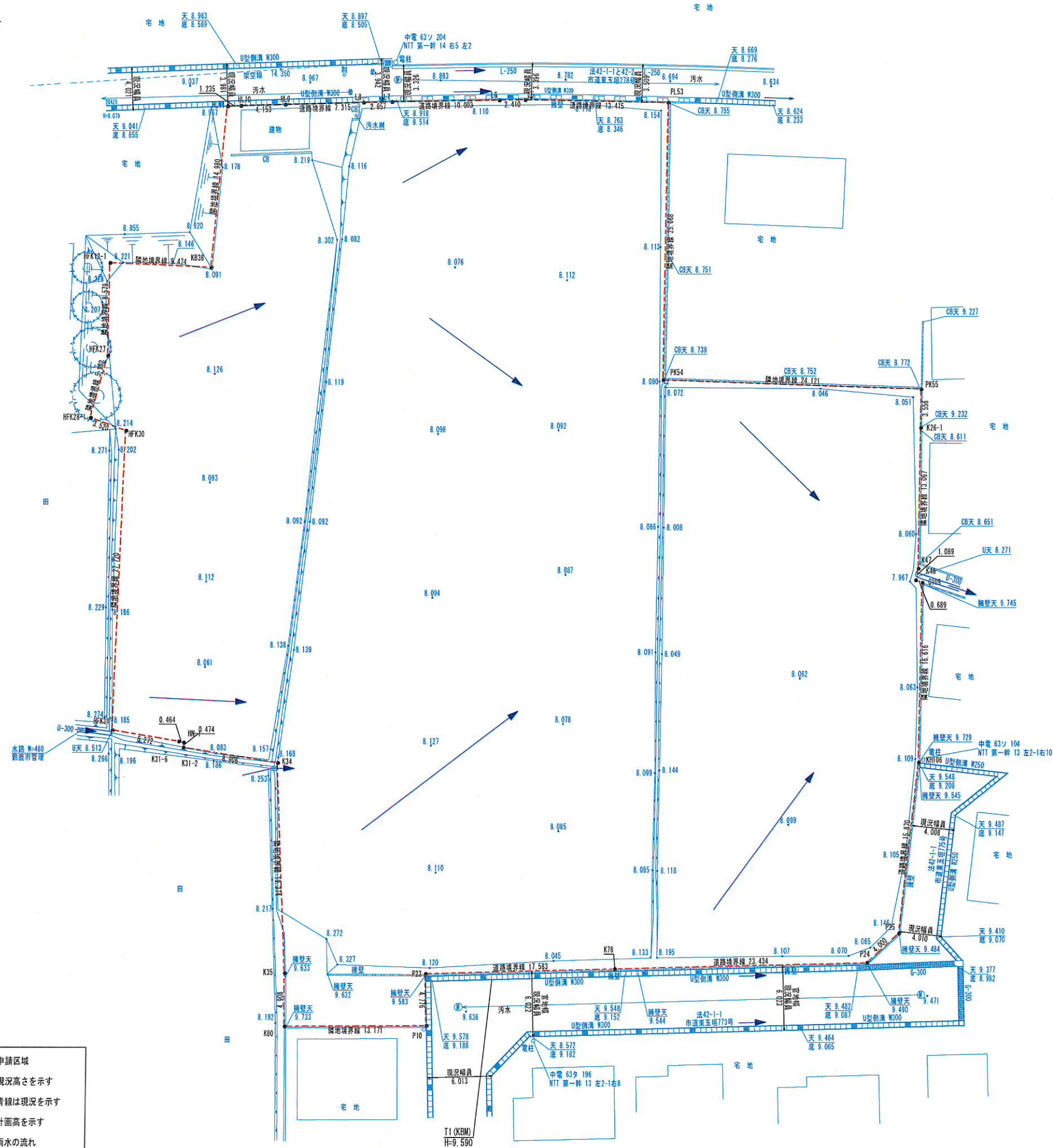
地 番 後退		
測点名	X座標	Y座標
HL11	-126208.265	54178.072
SS1	-126209.438	54177.581
SS2	-126209.757	54178.766
SS3	-126210.322	54180.746
SS4	-126212.015	54186.777
SS7	-126213.196	54190.982
SS66	-126214.018	54192.603
SS67	-126214.460	54194.092
SS69	-126216.284	54200.249
SS70	-126217.761	54205.112
SS71	-126217.832	54205.347
SS116	-126218.837	54208.430
SS15	-126220.343	54212.951
SS72	-126221.709	54217.001
PL53	-126220.281	54217.464
L5	-126216.010	54204.746
L6	-126215.320	54202.436
L7	-126212.460	54192.850
L8	-126211.732	54190.294
HL9	-126209.727	54183.259
HL10	-126208.589	54179.264
倍面積	117.924412	
面積	58.9622060	
地 積	58.96m ²	

後退=58.96m²

地 番 公園		
測点名	X座標	Y座標
SS120	-126252.527	54165.865
SS123	-126254.511	54164.022
SS119	-126251.798	54154.021
HFK31	-126260.262	54151.023
SS130	-126266.506	54164.651
SS121	-126254.815	54167.835
倍面積	305.993405	
面積	152.9967025	
地 積	152.99m ²	

公園=152.99m²

地 番 電柱用地		
測点名	X座標	Y座標
KB38	-126222.083	54172.284
SS74	-126222.700	54173



工事名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可				
図面名	現 況 図				
縮尺	A2: S=1/300 A3: S=1/400 (75%)	作成日	2024.01.27	図面番号	3
図面作成者	調査・企画・開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥				



凡例

- 水道バルブ及びメーターをあらわす
PPφ20で引込み
- 宅地雨水最終排水をあらわす
塩ビ浸透管300φ・VP125φ 勾配1.5%
- 公共樹VUφ200をあらわす
VU100φ 勾配20.0%

境界標の種類	
⊖	コンクリート杭
⊕	金属旗
⊗	金属標 (2穴7カ止め)

※附属部分のみ
※その他は現場に合わせて調整

特記事項

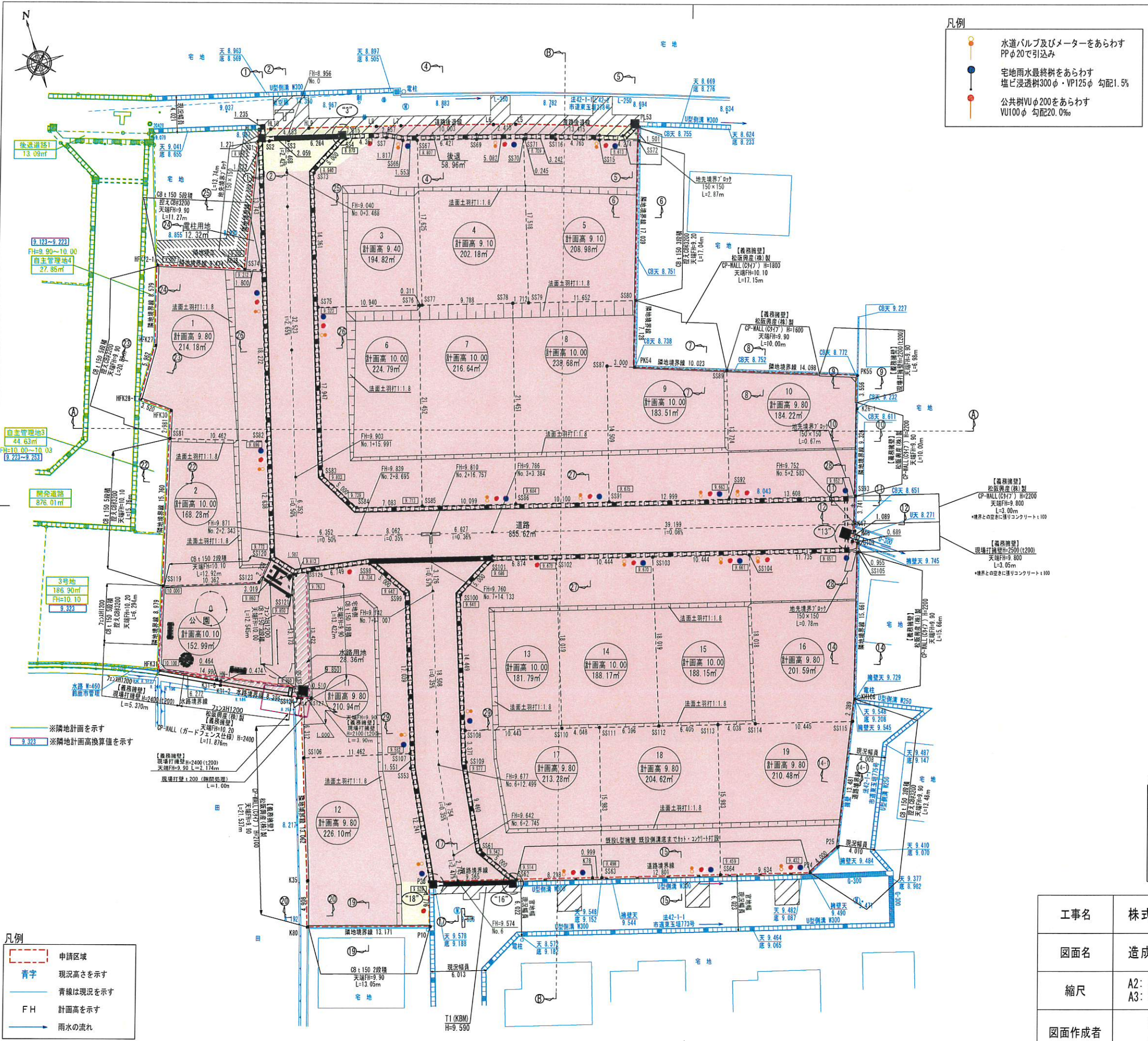
- 汚水については、公共下水道にて処理をする。
- 雨水については、雨水浸透槽を設置する。
- コンクリート二次製品を切物で使用する場合は、製品の1/2以上にて使用を行うこと。
- 塀壁構造物と民間構造物は縁切りを行う。
(一体とならないように注意する)
- 盛土を行う場合には、30cm毎にローラー等で転圧を行い十分に締め固めを行うこと。
- 必要に応じて地滑り抑止杭の設置等処置を講じること。
- 擁壁支持地盤の支持力が設計支持力に満たない場合は、地盤改良もしくは置き換えにより、支持力を確保のこと。擁壁据付け前には地盤調査をおこない設計支持力(必要地耐力)を確保してください。その場合、地盤の設計支持力(必要地耐力)は極限支持力の1/3を確保している事を、平板載荷による試験結果又は地盤改良を行なった場合は、供試体による一軸圧縮の試験結果を提出すること。
- セメント系固結材による地盤改良などを行う場合は土壌環境基準(六価クロム)の基準値を遵守すること。
- また工事完了時に試験結果を提出すること。
- 水道引き込みサイズ、位置など協議必要。
- 水道についての詳細設計、詳細協議及び水道局への手続きについては水道指定業者においておこなうこと。
- ※不要となる既設給水管は撤去すること。
- 開発区域の仕切弁はソフトシール弁を使用すること。
- 宅地化に伴い水路及び側溝等に不要となる排水管等がある場合閉塞を行うこと
- 境界杭は、引照点を取り工事完了後必ず元の位置へ復元の上確認をすること。また杭を仮置き入替を行う場合は、隣接関係者に十分に説明を行うこと。
- 工事完了時に施工状況が判る工事写真を提出すること。

土地利用計画一覧表

利用区分	面積(㎡)	比率(%)	色別	備考	用地の帰属(寄付)
宅地(専用住宅)	3861.40	77.70		宅地19区画	
道路	855.62	17.21			鈴鹿市
後退	58.96	1.19			鈴鹿市
公園	152.99	3.08			鈴鹿市
水路用地	28.36	0.57			鈴鹿市
電柱用地	12.32	0.25		事業主	
開発区域面積	4969.65	100			

※新設電柱は帰属する公共用地及び官有地には建柱出来ません。

工事名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可				
図面名	土地利用計画平面図				
縮尺	A2: S=1/300 A3: S=1/400 (75%)	作成日	2024.01.27	図面番号	5
図面作成者	調査・企画・開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥				



- 特記事項
- ・汚水については、公共下水道にて処理をする。
 - ・雨水については、雨水浸透枳を設置する。
 - ・コンクリート二次製品を切物で使用する場合は、製品の1/2以上にて使用を行うこと。
 - ・附属構造物と民間構造物は線切りを行う。
(一体とならないように注意する)
 - ・盛土を行う場合には、30cm毎にローラー等で転圧を行い十分に締め固めを行うこと。
 - ・必要に応じて地滑り抑止杭の設置等処置を講じること。
 - ・擁壁支持地盤の支持力が設計支持力に満たない場合は、地盤改良もしくは置き換えにより、支持力を確保のこと。擁壁据付け前には地盤調査をおこない設計支持力(必要地耐力)を確保してください。その場合、地盤の設計支持力(必要地耐力)は極限支持力の1/3を確保している事を、平板載荷による試験結果又は地盤改良を行なった場合は、供試体による一軸圧縮の試験結果を提出すること。
 - ・セメント系固材材による地盤改良などを行う場合は土壌環境基準(六価クロム)の基準値を遵守すること。
 - ・また工事完了時に試験結果を提出すること。
 - ・水道引き込みサイズ、位置など協議必要。
 - ・水道についての詳細設計、詳細協議及び水道局への手続きについては水道指定業者においておこなうこと。
 - ・※不要となる既設給水管は撤去すること。
 - ・開発区域の仕切弁はソフトシール弁を使用すること。
 - ・宅地化に伴い水路及び側溝等に不要となる排水管等がある場合閉塞を行うこと
 - ・境界杭は、引照点を取り工事完了後必ず元の位置へ復元の上確認をすること。また杭を仮置き入替を行う場合は、隣接関係者に十分に説明を行うこと。
 - ・工事完了時に施工状況が判る工事写真を提出すること。

特記事項(官地部埋戻し)

流用土・改良土を使用する場合は試験結果を提出し証明します。
特に悪い場合は、購入土(RC-40)を使用します。
路床部については20cm以内)ごとに、タンバ等適当な締め固め機で十分締め固めること。

特記事項(中間検査)

市、道路保全課による路盤検査(中間検査)が必要です。
フルフローリング試験と現場密度試験が必要です。
中間検査後1週間以上期間を空けてアスファルト舗装を行うこと。

凡例

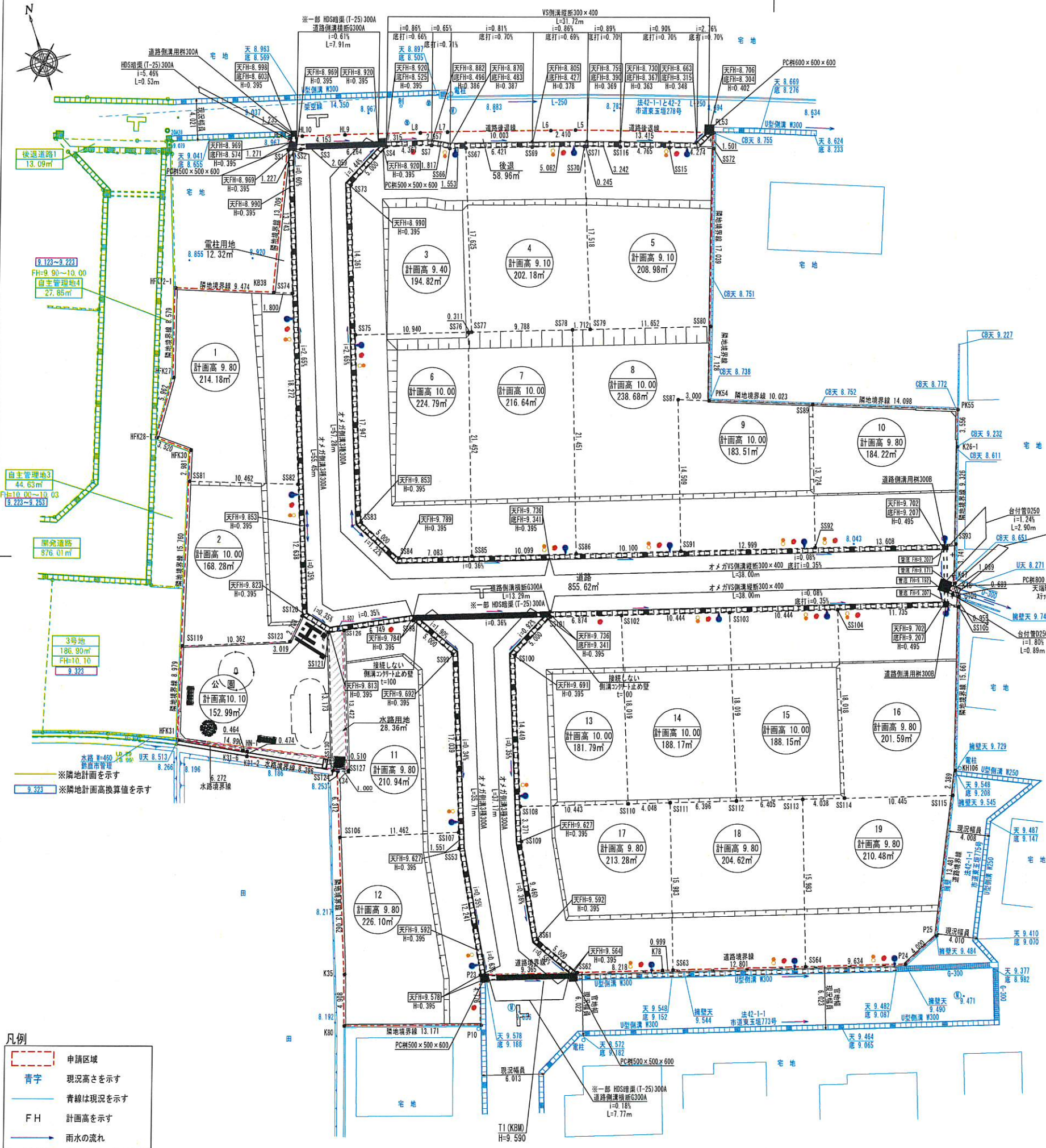
盛土	切土
区域外工事	道路舗装範囲を示す
市道	密度度(TOP13)
	737M舗装 t=40
	再生砕石 RC-40 t=200
区域外工事部分	

特記事項(擁壁)

1. 擁壁支持地盤の支持力が設計支持力に満たない場合は、地盤改良もしくは置き換えにより、支持力を確保のこと。擁壁据付け前には地盤調査をおこない設計支持力(必要地耐力)を確保してください。その場合、地盤の設計支持力(必要地耐力)は極限支持力の1/3を確保している事を、平板載荷による試験結果又は地盤改良を行なった場合は、供試体による一軸圧縮の試験結果を提出すること。

2. 根切り作業は床付面を乱さないよう注意し仕上げは人力とする。床付け地盤が構造計算書に示された地層、地盤で合致している事を目標にて確認を行い、確認が困難な場合は土質試験や原位置試験等の適切な試験を行うこと。

工事名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可				
図面名	造成計画平面図・道路計画平面図				
縮尺	A2: S=1/300 A3: S=1/400 (75%)	作成日	2024.01.27	図面番号	6
図面作成者	調査・企画・開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥				



凡例

- 水道バルブ及びメーターをあらわす
PPφ20で引込み
- 宅地雨水最終樹をあらわす
塩ビ浸透管300φ・VP125φ 勾配1.5%
- 公共樹VUφ200をあらわす
VU100φ 勾配20.0‰

特記事項

- 汚水については、公共下水道にて処理をする。
- 雨水については、雨水浸透槽を設置する。
- コンクリート二次製品を切物で使用する場合は、製品の1/2以上にて使用を行うこと。
- 帰属構造物と民間構造物は縁切りを行う。
(一体とならないように注意する)
- 盛土を行う場合には、30cm毎にローラー等で転圧を行い十分に締め固めを行うこと。
- 必要に応じて地滑り抑止杭の設置等処置を講じること。
- 擁壁支持地盤の支持力が設計支持力に満たない場合は、地盤改良もしくは置き換えにより、支持力を確保すること。擁壁据付け前には地盤調査をおこない設計支持力(必要地耐力)を確保してください。その場合、地盤の設計支持力(必要地耐力)は極限支持力の1/3を確保している事を、平板載荷による試験結果又は地盤改良を行なった場合は、供試体による一軸圧縮の試験結果を提出すること。
- セメント系固化材による地盤改良などを行う場合は土壌環境基準(六価クロム)の基準値を遵守すること。
- また工事完了時に試験結果を提出すること。
- 水道引き込みサイズ、位置など協議必要。
- 水道についての詳細設計、詳細協議及び水道局への手続きについては水道指定業者においておこなうこと。
- ※不要となる既設給水管は撤去すること。
- 開発区域の仕切弁はソフトシール弁を使用すること。
- 宅地化に伴い水路及び側溝等に不要となる排水管等がある場合閉塞を行うこと。
- 境界杭は、引照点を取り工事完了後必ず元の位置へ復元の上確認をすること。また杭を仮置き入替を行う場合は、隣接関係者に十分に説明を行うこと。
- 工事完了時に施工状況が判る工事写真を提出すること。

凡例

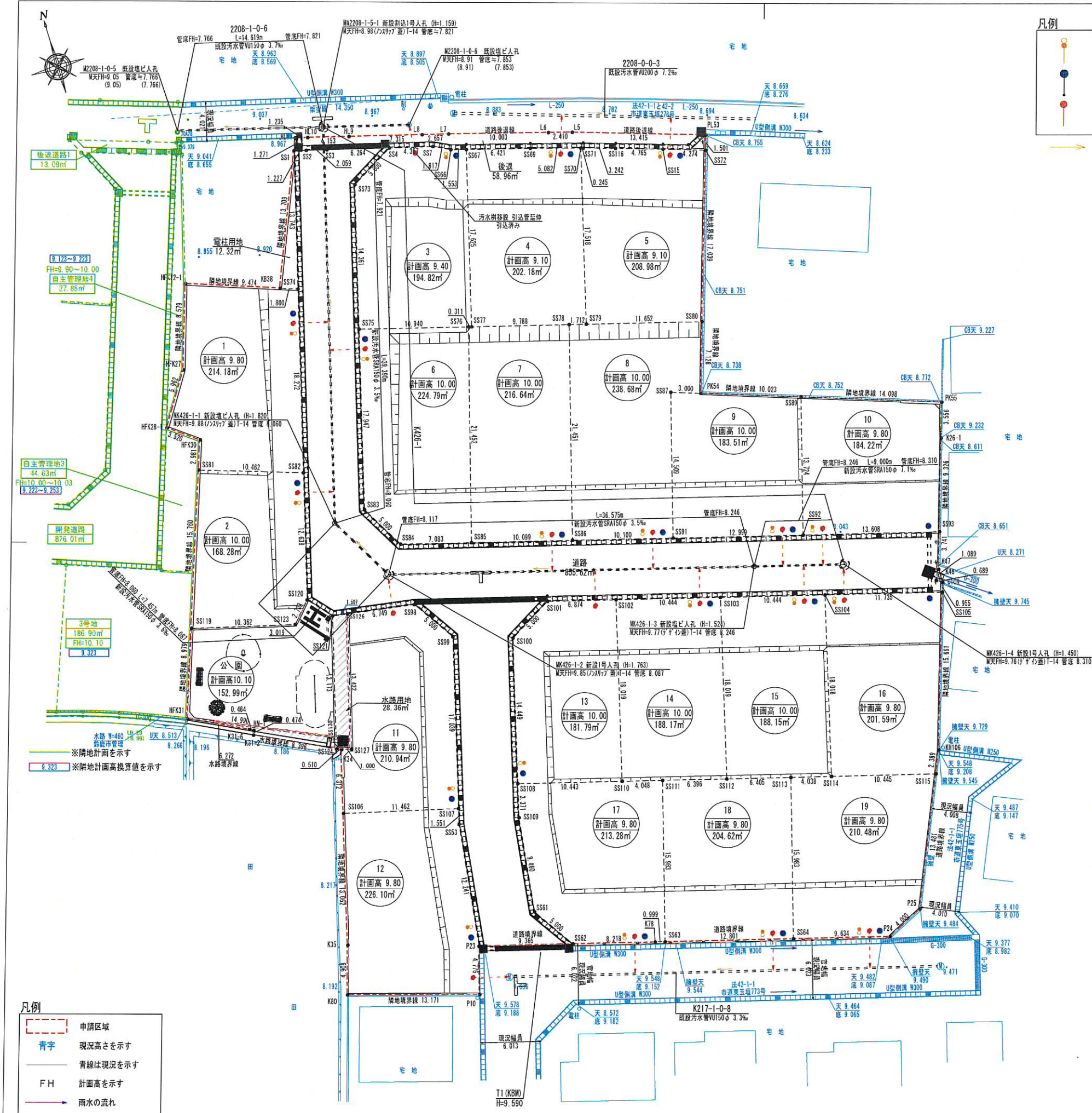
- 申請区域
- 青字 現況高さを示す
- 青線は現況を示す
- FH 計画高を示す
- 雨水の流れ

特記事項(側溝)

- 側溝蓋は、全てノイズカットタイプ(騒音防止ゴム4打ち込み)とする。グレーティング蓋は、1箇所/3mで網目タイプ(25以上)とする。
- 側溝の蓋設置については側溝本体壁面と蓋縁部を合わせ、防音対策をすること。
- 新設側溝の蓋に側溝の蓋が製品1/2以下となる場合は、隣り合う標準品と一体として現場打ち(鉄筋入り)とすること。
- 新設側溝及び新設側溝の高さは現場に合わせて調整すること。
- 新設側溝道路取合部は、アスファルト舗装後旧側溝の上、道路部に水が溜らない様勾配を確保の上スリ付けのこと。
- 帰属構造物と民間構造物は縁切りを行う。(一体とならないように注意する)

※埋設時の宅地内雨水排水管は、勾配1.0%以上確保すること。

工事名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可				
図面名	雨水計画平面図				
縮尺	A2: S=1/300 A3: S=1/400 (75%)	作成日	2024.01.27	図面番号	7
図面作成者	調査・企画・開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥				



凡例

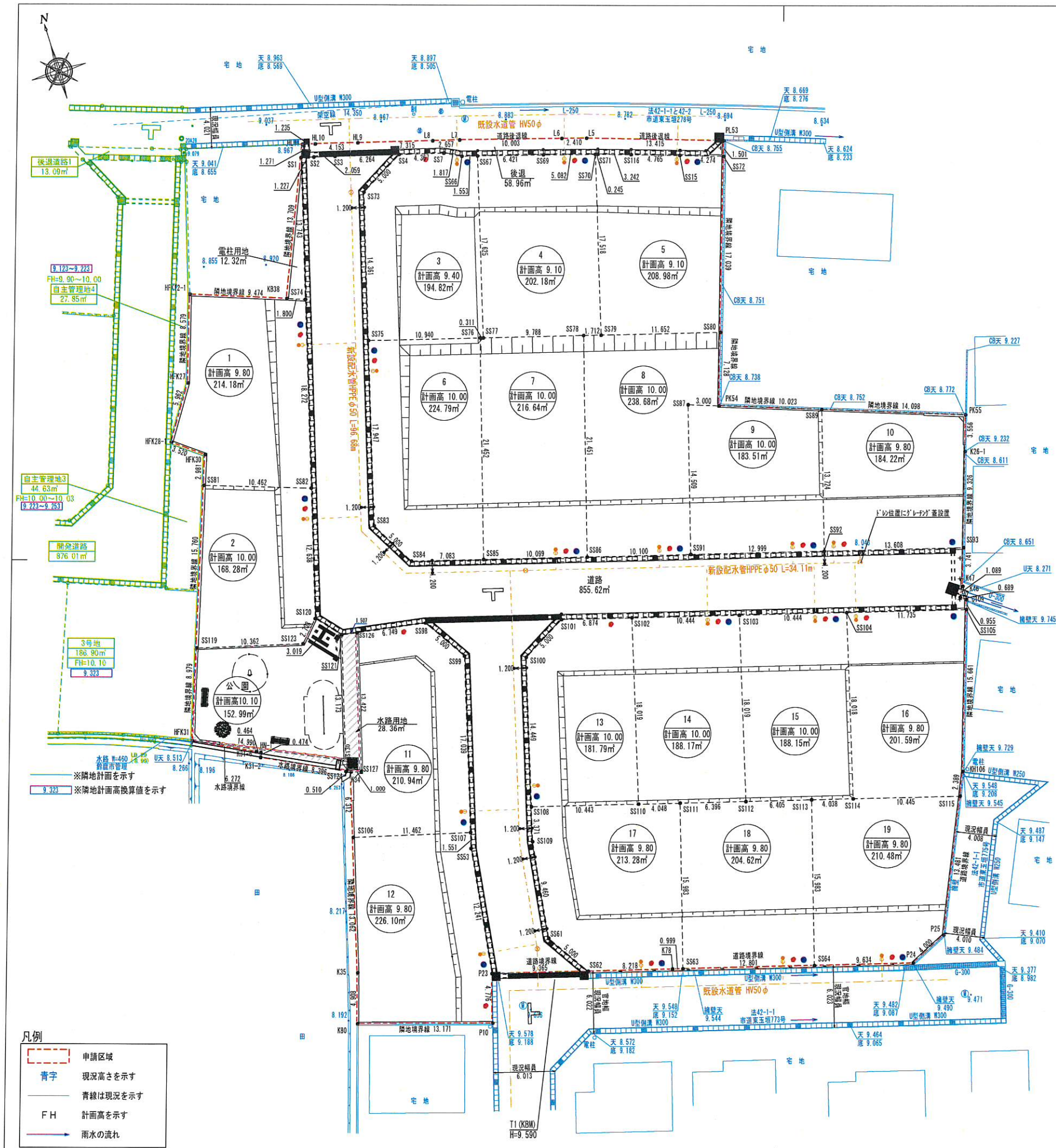
- 水道バルブ及びメーターをあらわす
PPφ20で引込み
- 宅地雨水最終枳をあらわす
塩ビ浸透枳300φ・VP125φ 勾配1.5%
- 公共枳VUφ200をあらわす
VU100φ 勾配20.0%

汚水の流れを示す。

- 特記事項
- ・汚水については、公共下水道にて処理をする。
 - ・雨水については、雨水浸透枳を設置する。
 - ・コンクリート二次製品を切物で使用する場合は、製品の1/2以上にて使用を行うこと。
 - ・帰属構造物と民間構造物は緑切を行う。
(一体とならないように注意する)
 - ・盛土を行う場合には、30cm毎にローラー等で転圧を行い十分に締め固めを行うこと。
必要に応じて地滑り抑止杭の設置等処置を講ずること。
 - ・擁壁支持地盤の支持力が設計支持力に満たない場合は、地盤改良もしくは置き換えにより、支持力を確保のこと。擁壁据付け前には地盤調査をおこない設計支持力(必要地耐力)を確保してください。その場合、地盤の設計支持力(必要地耐力)は極限支持力の1/3を確保している事を、平板載荷による試験結果又は地盤改良を行なった場合は、供試体による一軸圧縮の試験結果を提出すること。
 - ・セメント系固化材による地盤改良などを行う場合は土壌環境基準(六価クロム)の基準値を遵守すること。
また工事完了時に試験結果を提出すること。
 - ・水道引き込みサイズ、位置など協議必要。
 - ・水道についての詳細設計、詳細協議及び水道局への手続きについては水道指定業者においておこなうこと。
※不要となる既設給水管は撤去すること。
 - ・開発区域の仕切弁はソフトシール弁を使用すること。
 - ・宅地化に伴い水路及び側溝等に不要となる排水管等がある場合閉塞を行うこと
 - ・境界杭は、引照点を取り工事完了後必ず元の位置へ復元の上確認をすること。また杭を仮置き入替を行う場合は、隣接関係者に十分に説明を行うこと。
 - ・工事完了時に施工状況が判る工事写真を提出すること。

- 特記事項(下水道工事)
1. 下水道施設を設置する際は地下埋設物の調査を行い損傷を与えた場合は申請者にて対応すること。また支障となる地下埋設物は事業者にて対応すること。
(上水本管との位置関係を工事着手前に十分調査・検討を行い施工にあたる事。万が一、支障のある場合は、事業者の負担にて対応すること。)
 2. 下水道施設の出入型式は「三重県公共工事仕様書」に準拠し、既設下水道への接続については工事管理専員を工事完了後検査申請時に提出すること。
 3. 宅内排水設備は市指定業者で施工すること。なお工事着手前に所定の申請を行うこと。
 4. 可とう管継手を使用すること。
 5. 支管について接合部と垂線又は、接合部と垂線にて取付けることを標準とする。
 6. 公共枳の設置はすべて下水本管工事と同時に工事とする。
 7. 建築時の宅内汚水排水管は、勾配2.0%以上確保すること。
 8. 上水配水管・引込管が下水道管を横断する箇所は距離300mm以上確保すること。

工事名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可				
図面名	汚水計画平面図				
縮尺	A2: S=1/300 A3: S=1/400 (75%)	作成日	2024.01.27	図面番号	8
図面作成者	調査・企画・開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥				



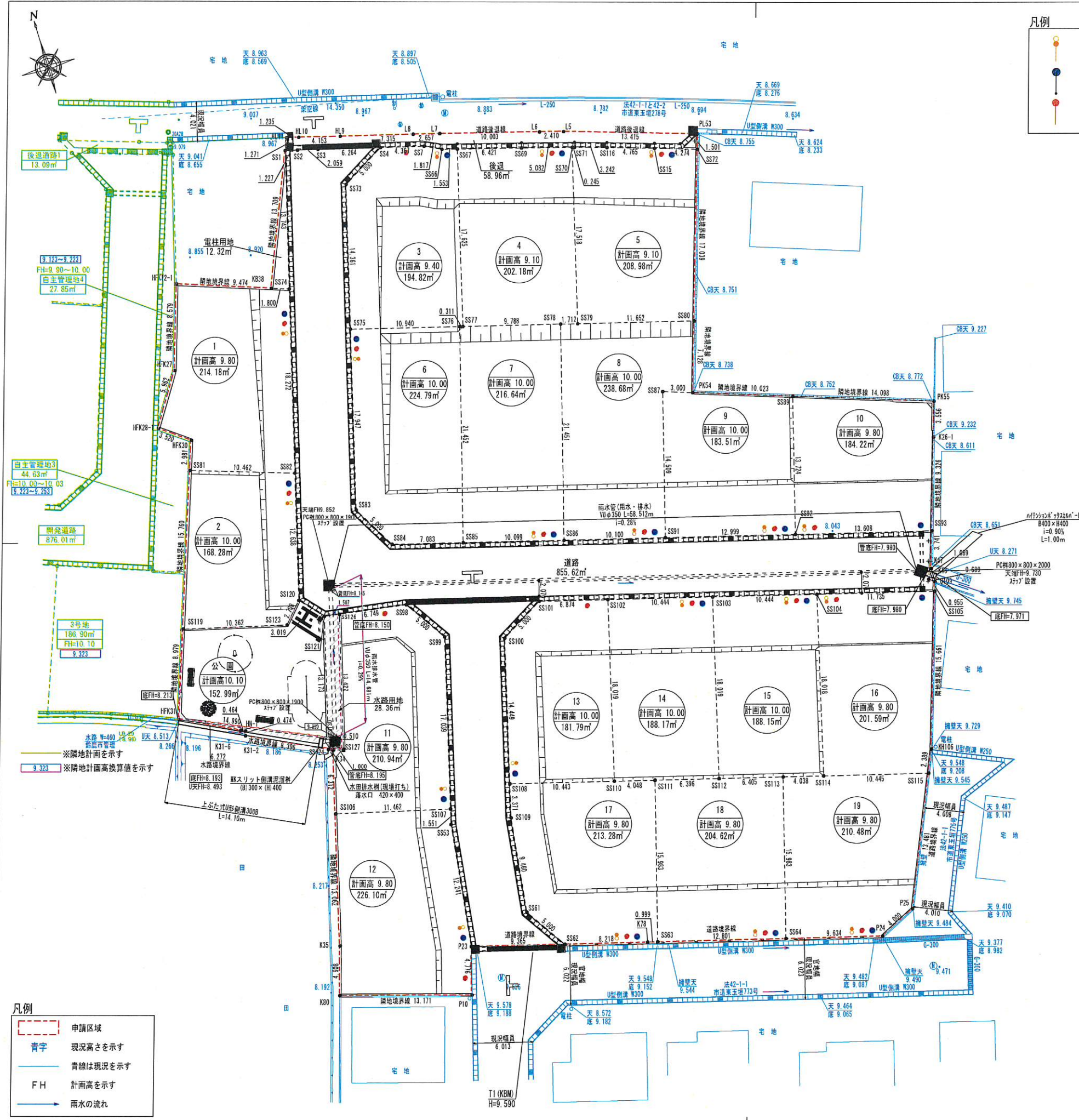
- 凡例
- 水道バルブ及びメーターをあらわす
PPφ20で引込み
 - 宅地雨水最終樹をあらわす
塩ビ浸透樹300φ・VP125φ 勾配1.5%
 - 公共樹VUφ200をあらわす
VU100φ 勾配20.0‰

- 特記事項
- ・汚水については、公共下水道にて処理をする。
 - ・雨水については、雨水浸透樹を設置する。
 - ・コンクリート二次製品を切物で使用する場合は、製品の1/2以上にて使用を行うこと。
 - ・帰属構造物と民間構造物は線切りを行う。
(一体とならないように注意する)
 - ・盛土を行う場合には、30cm毎にローラー等で転圧を行い十分に締め固めを行うこと。
 - ・必要に応じて地滑り抑止杭の設置等処置を講じること。
 - ・擁壁支持地盤の支持力が設計支持力に満たない場合は、地盤改良もしくは置き換えにより、支持力を確保のこと。擁壁掘付け前には地盤調査をおこない設計支持力(必要地耐力)を確保してください。その場合、地盤の設計支持力(必要地耐力)は極限支持力の1/3を確保している事を、平板載荷による試験結果又は地盤改良を行なった場合は、供試体による一軸圧縮の試験結果を提出すること。
 - ・セメント系固化材による地盤改良などを行う場合は土壌環境基準(六価クロム)の基準値を遵守すること。
また工事完了時に試験結果を提出すること。
 - ・水道引き込みサイズ、位置など協議必要。
 - ・水道についての詳細設計、詳細協議及び水道局への手続きについては水道指定業者においておこなうこと。
※不要となる既設給水管は撤去すること。
 - ・開発区域の仕切弁はソフトシール弁を使用すること。
 - ・宅地化に伴い水路及び側溝等に不要となる排水管等がある場合閉塞を行うこと
 - ・境界杭は、引照点を取り工事完了後必ず元の位置へ復元の上確認をすること。また杭を仮置き入替を行う場合は、隣接関係者に十分に説明を行うこと。
 - ・工事完了時に施工状況が判る工事写真を提出すること。

- 凡例
- 口徑切り替え部をあらわす
 - ドレンバルブをあらわす
- 特記事項(給水工事)
1. 完了検査までに水道事業管理者の竣工検査を完了しておくこと。
 2. 上水道水管・引込管が下水道を横断する箇所は縦隔300mm以上確保すること。
 3. 不要となる既設給水管がある場合は撤去すること

- 凡例
- 申請区域
 - 青字 現況高さを示す
 - 青線は現況を示す
 - FH 計画高を示す
 - 雨水の流れ

工事名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可				
図面名	給水計画平面図				
縮尺	A2: S=1/300 A3: S=1/400 (75%)	作成日	2024.01.27	図面番号	9
図面作成者	調査・企画・開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥				



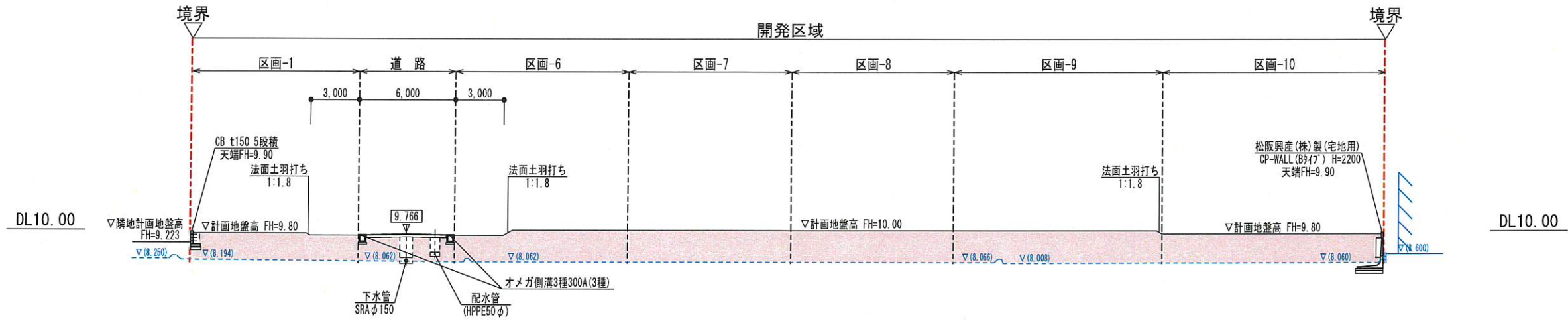
- 凡例
- 水道バルブ及びメーターをあらわす
PPφ20で引込み
 - 宅地雨水最終樹をあらわす
塩ビ浸透樹300φ・VP125φ 勾配1.5%
 - 公共樹VUφ200をあらわす
VU100φ 勾配20.0‰

- 特記事項
- ・汚水については、公共下水道にて処理をする。
 - ・雨水については、雨水浸透樹を設置する。
 - ・コンクリート二次製品を切物で使用する場合は、製品の1/2以上にて使用を行うこと。
 - ・帰属構造物と民間構造物は線切りを行う。
(一体とならないように注意する)
 - ・盛土を行う場合には、30cm毎にローラー等で転圧を行い十分に締め固めを行うこと。
 - ・必要に応じて地滑り抑止杭の設置等処置を講じること。
 - ・擁壁支持地盤の支持力が設計支持力に満たない場合は、地盤改良もしくは置き換えにより、支持力を確保のこと。擁壁据付け前には地盤調査をおこない設計支持力(必要地耐力)を確保してください。その場合、地盤の設計支持力(必要地耐力)は極限支持力の1/3を確保している事を、平板載荷による試験結果又は地盤改良を行なった場合は、供試体による一軸圧縮の試験結果を提出すること。
 - ・セメント系固化材による地盤改良などを行う場合は土壌環境基準(六価クロム)の基準値を遵守すること。
また工事完了時に試験結果を提出すること。
 - ・水道引き込みサイズ、位置など協議必要。
 - ・水道についての詳細設計、詳細協議及び水道局への手続きについては水道指定業者においておこなうこと。
※不要となる既設給水管は撤去すること。
 - ・開発区域の仕切弁はソフトシール弁を使用すること。
 - ・宅地化に伴い水路及び側溝等に不要となる排水管等がある場合閉塞を行うこと
 - ・境界杭は、引照点を取り工事完了後必ず元の位置へ復元のし確認をすること。また杭を仮置き入替を行う場合は、隣接関係者に十分に説明を行うこと。
 - ・工事完了時に施工状況が判る工事写真を提出すること。

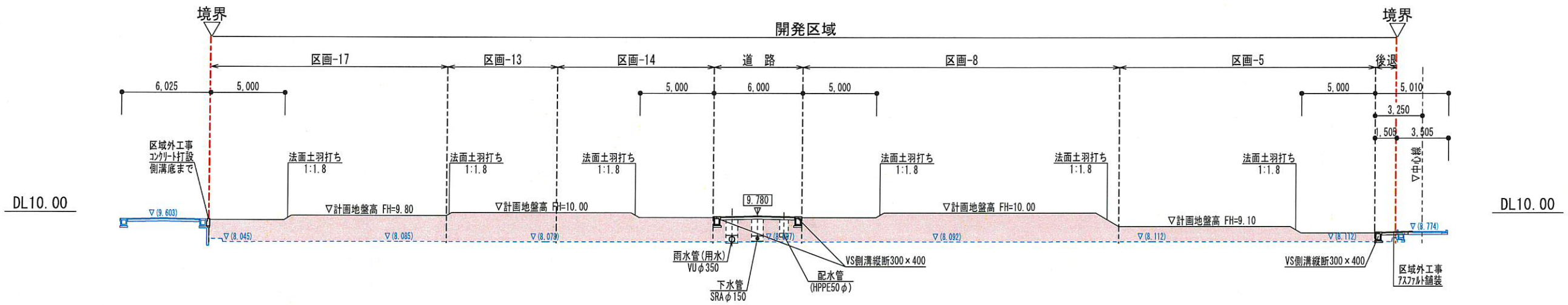
- 凡例
- 申請区域
 - 青字 現況高さを示す
 - 青線は現況を示す
 - FH 計画高を示す
 - 雨水の流れ

工事名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可				
図面名	既設水路放流計画平面図				
縮尺	A2: S=1/300 A3: S=1/400 (75%)	作成日	2024.01.27	図面番号	10
図面作成者	調査・企画・開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥				

A — A 断面图 S=1/300



B — B 断面图 S=1/300



凡例

	開発区域
青字	現況高さを示す
	青線は現況を示す
FH	計画高を示す

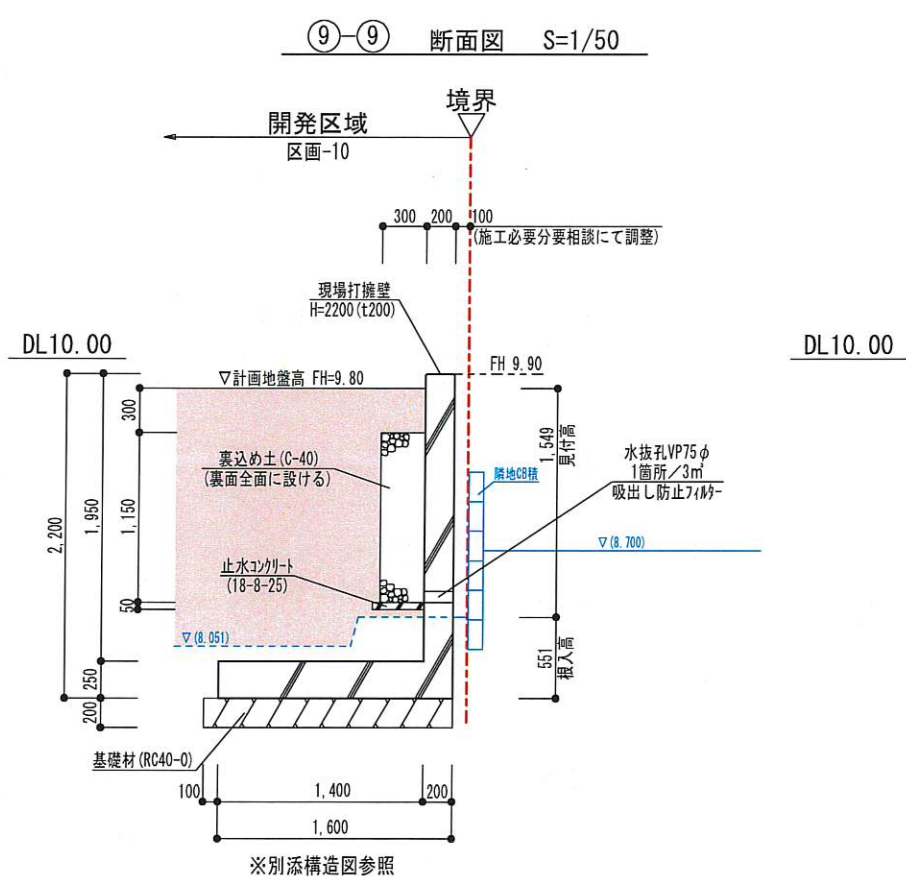
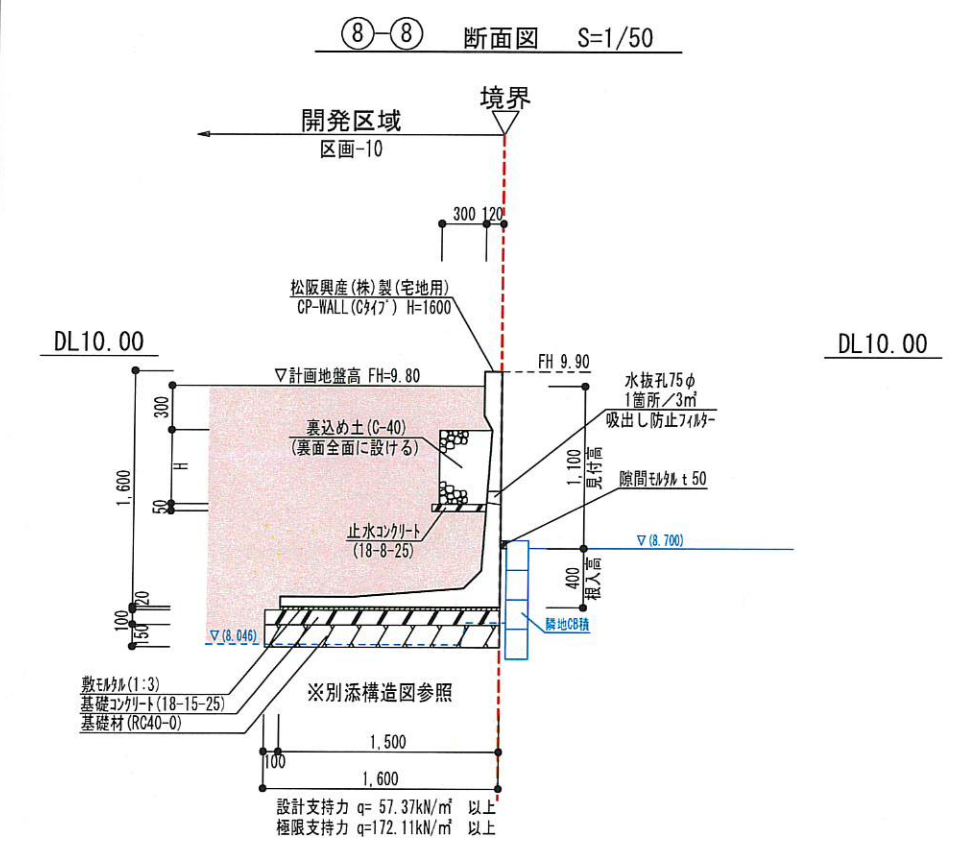
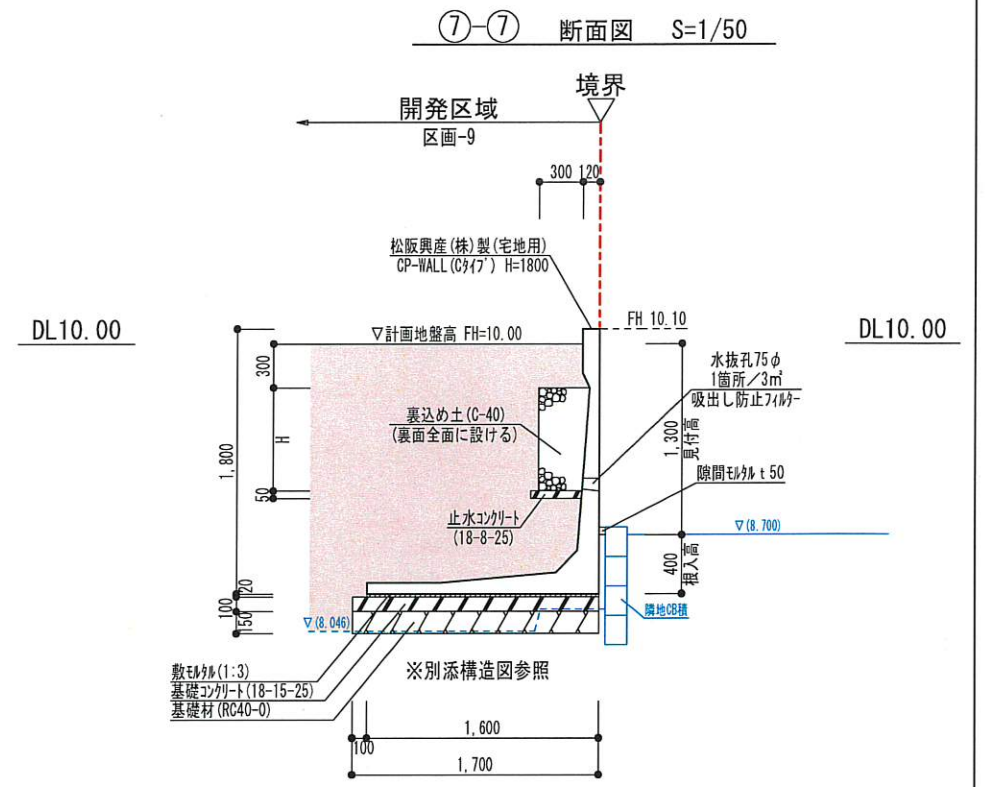
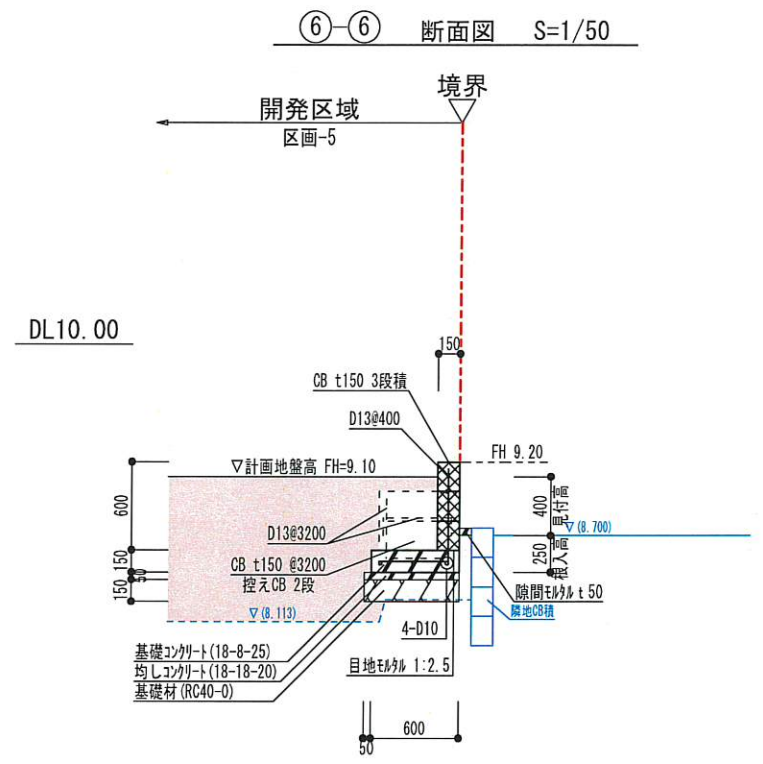
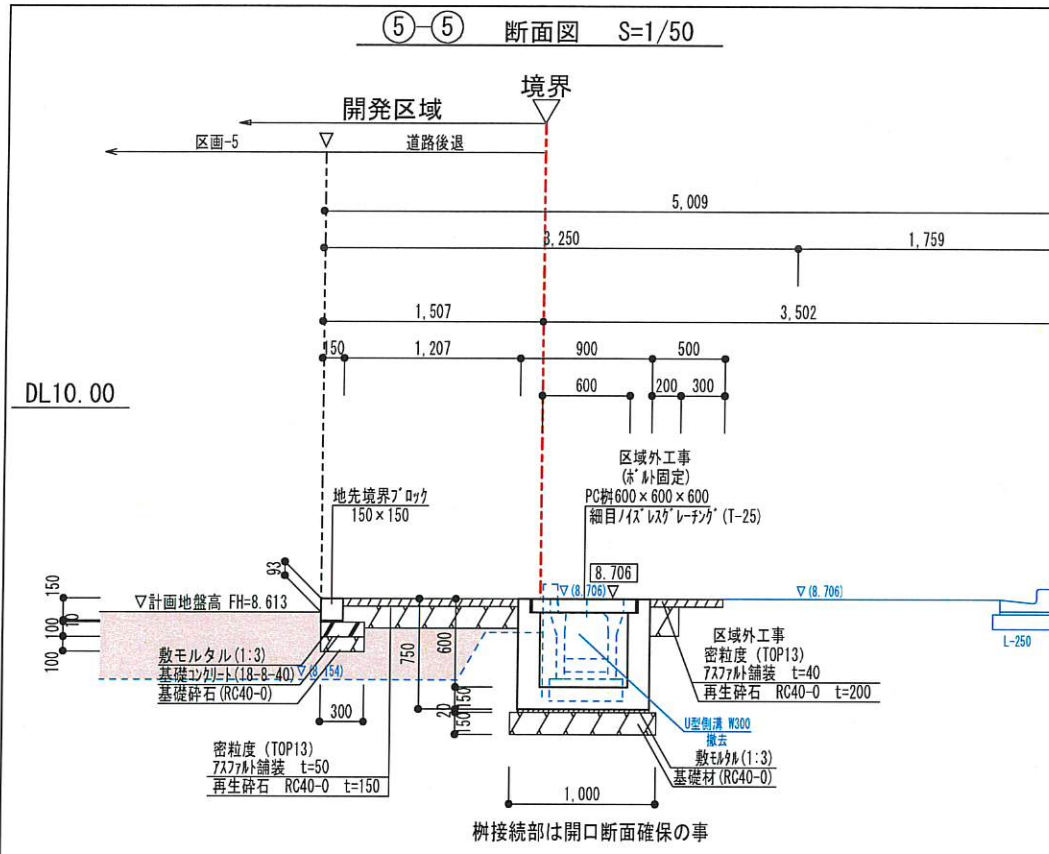
共通特記事項

1. 盛土工事については30cm以下毎にローラー等の建設機械で締め固めるとともに、必要に応じて地滑り抑止杭の設置等措置を講じてください。工事完了時に施工状況の判る工事写真を提出してください。

凡 例

	盛 土
	切 土

工事名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可				
図面名	断 面 図				
縮尺	A3 : 図 示	作成日	2024. 01. 22	図面番号	11
図面作成者	調査、企画、開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥				



特記事項（擁壁）

- 擁壁支持地盤の支持力が設計支持力に満たない場合は、地盤改良もしくは置き換えにより、支持力を確保すること。擁壁据付け前には地盤調査をおこない設計支持力（必要地耐力）を確保してください。その場合、地盤の設計支持力（必要地耐力）は極限支持力の1/3を確保している事を、平板載荷による試験結果又は地盤改良を行なった場合は、供試体による一軸圧縮の試験結果を提出すること。
- 根切り作業は床付け面を乱さないよう注意し仕上げは人力とする。床付け地盤が構造計算書に示された地層、地盤で合致している事を目視にて確認を行い、確認が困難な場合は土質試験や原位試験等の適切な試験を行うこと。

凡例

- 開発区域
- 青字 現況高さを示す
- 青線は現況を示す
- FH 計画高を示す

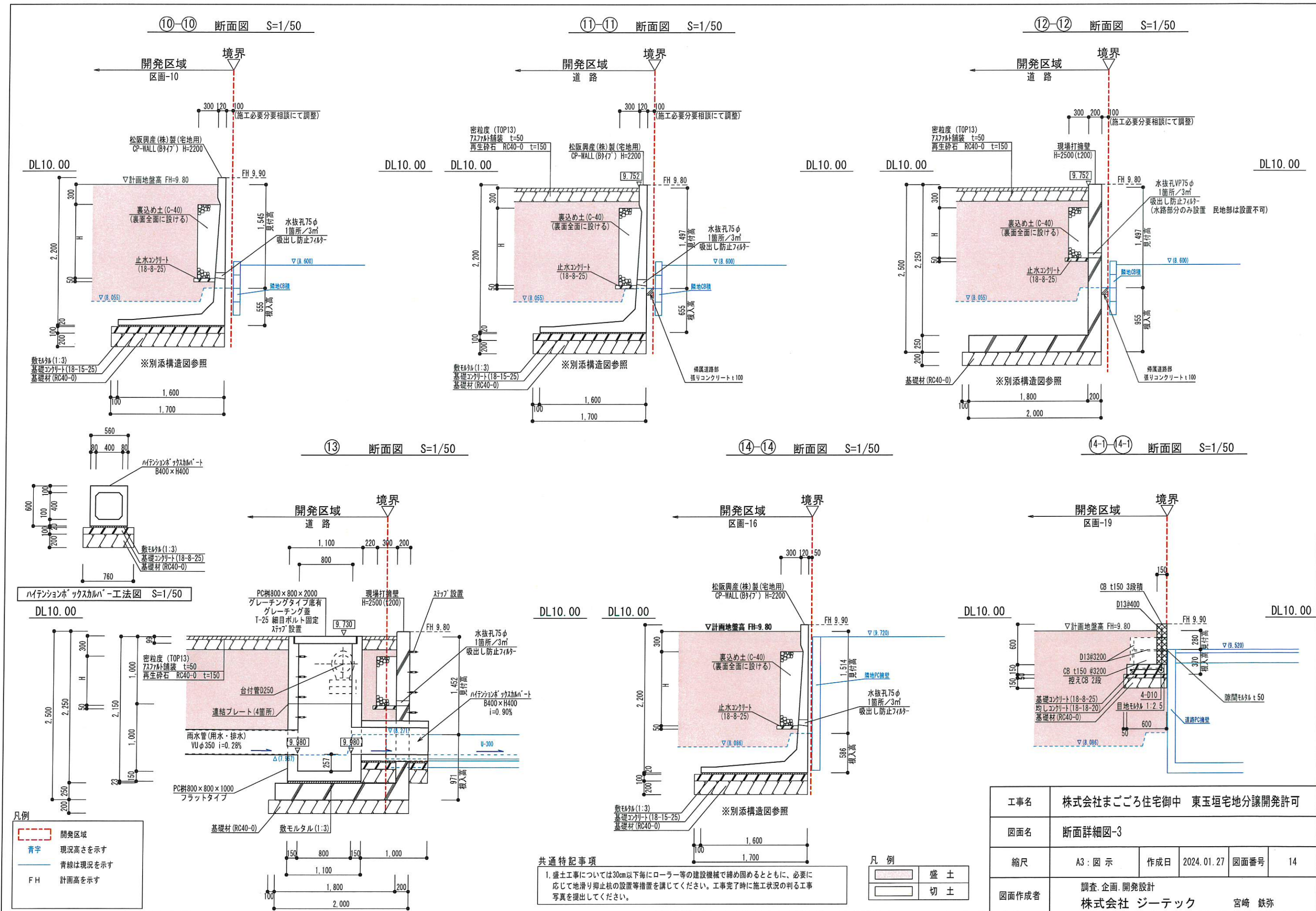
共通特記事項

- 盛土工事については30cm以下毎にローラー等の建設機械で締め固めるとともに、必要に応じて地滑り抑止杭の設置等措置を講じてください。工完了時に施工状況の判る工事写真を提出してください。

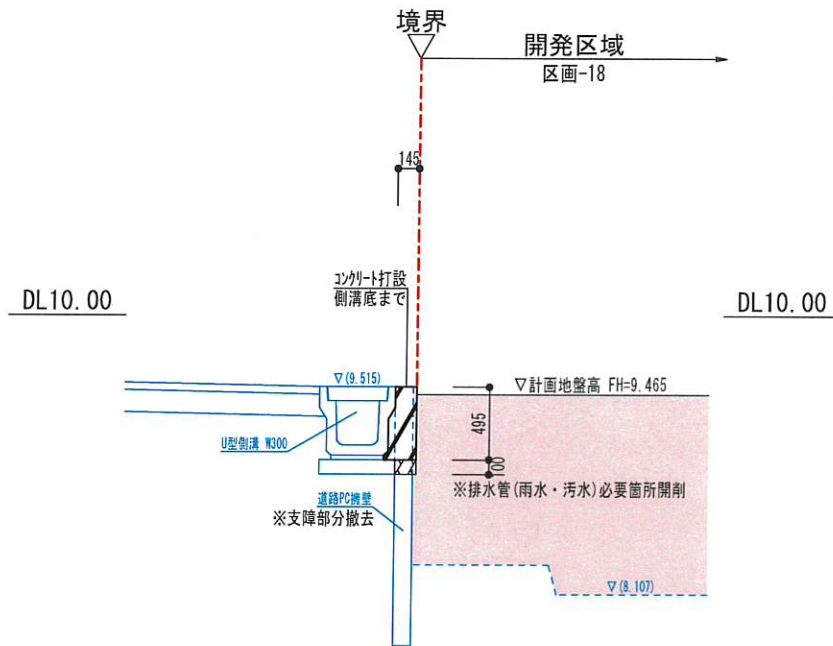
凡例

- 盛土
- 切土

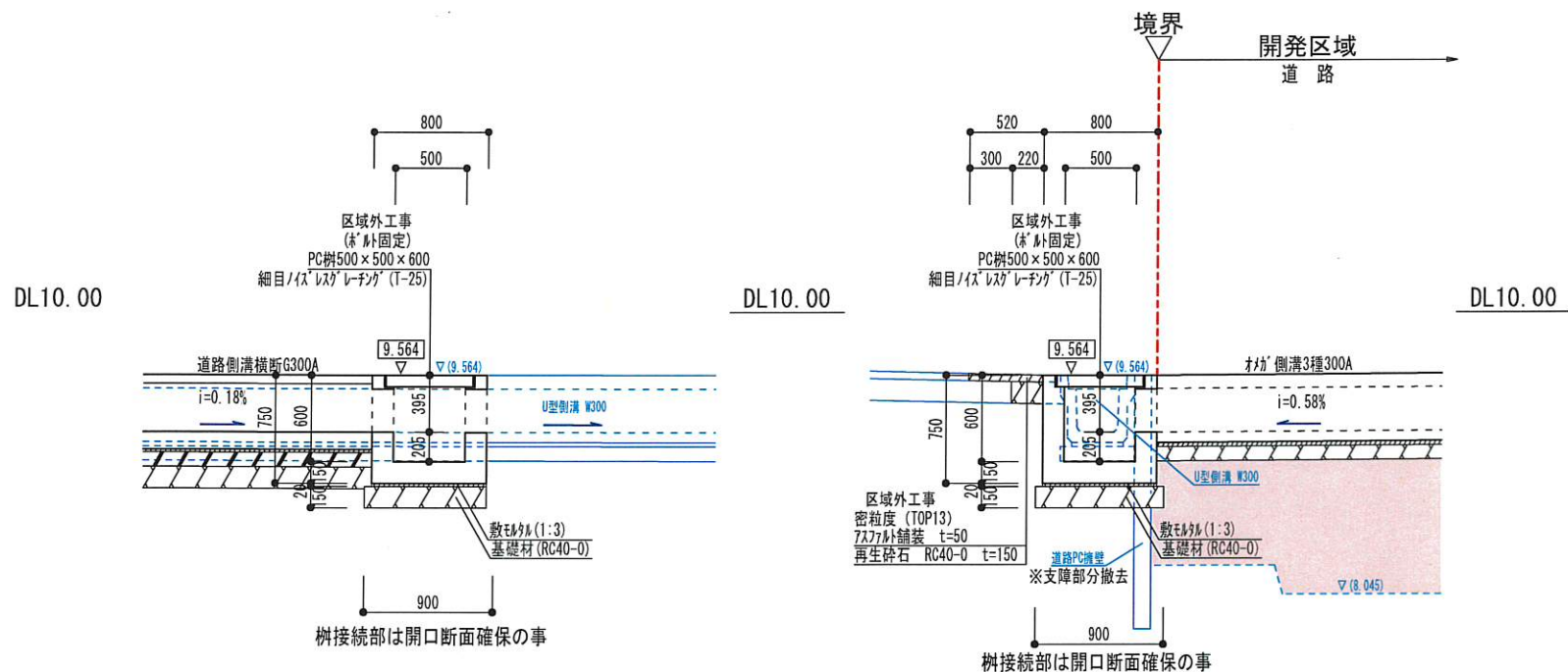
工事名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可			
図面名	断面詳細図-2			
縮尺	A3：図示	作成日	2024.01.22	図面番号 13
図面作成者	調査・企画・開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥			



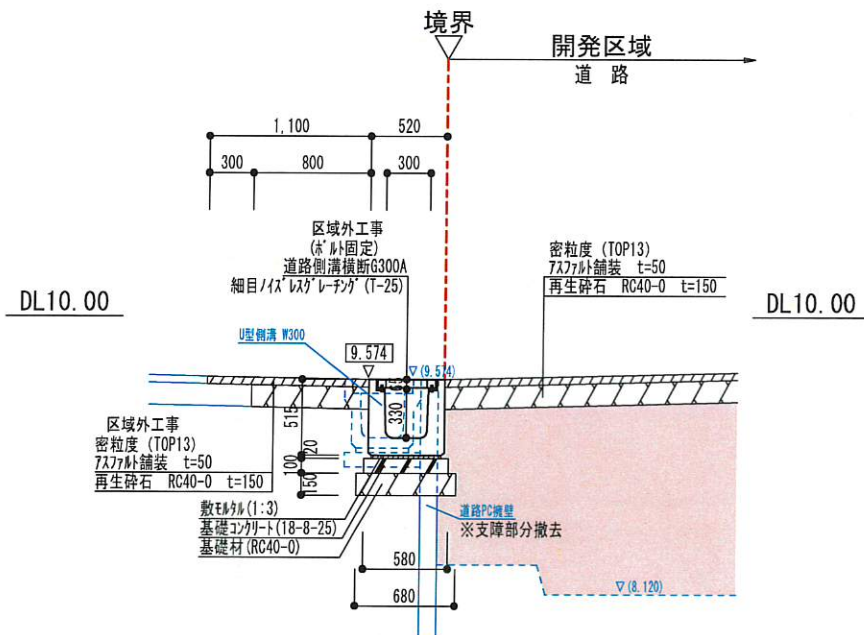
⑮-⑮ 断面図 S=1/50



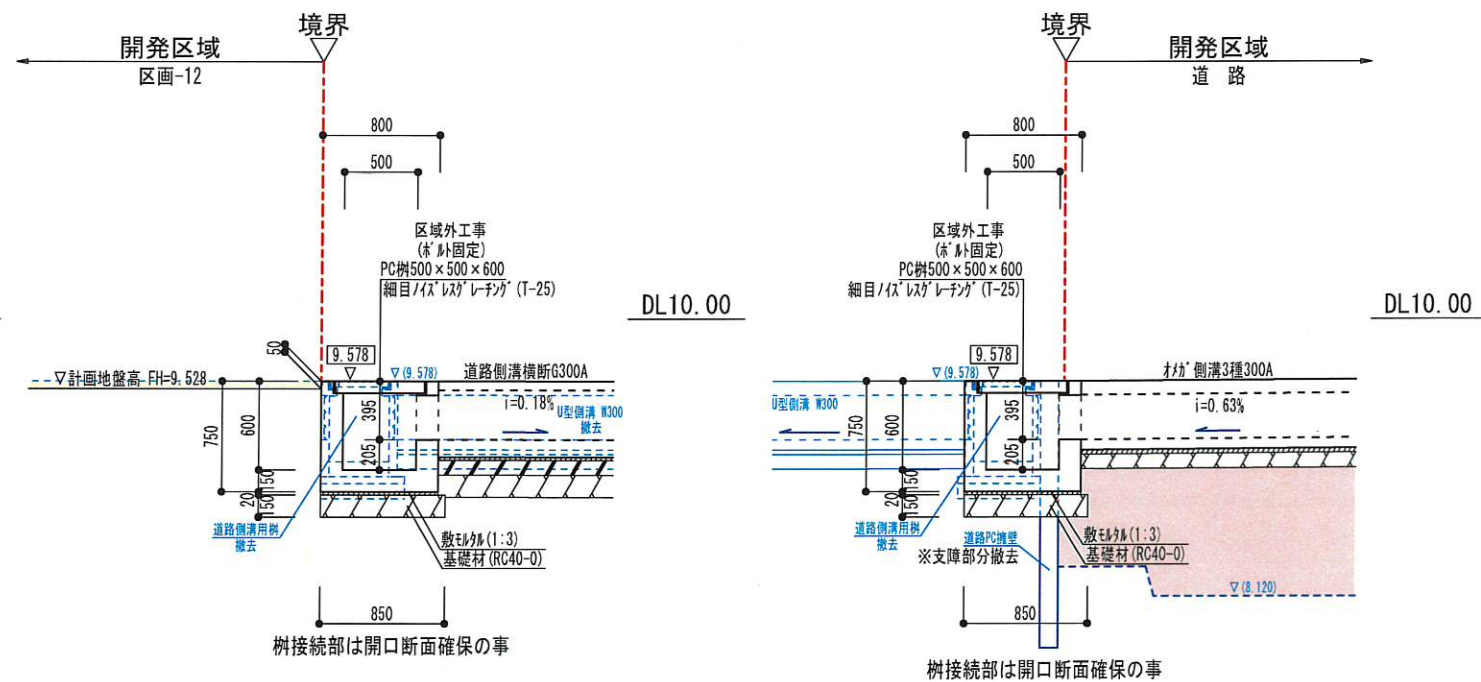
⑯ 断面図 S=1/50



⑰-⑰ 断面図 S=1/50



⑱ 断面図 S=1/50



凡例

開発区域	
青字	現況高さを示す
青線	青線は現況を示す
FH	計画高を示す

共通特記事項

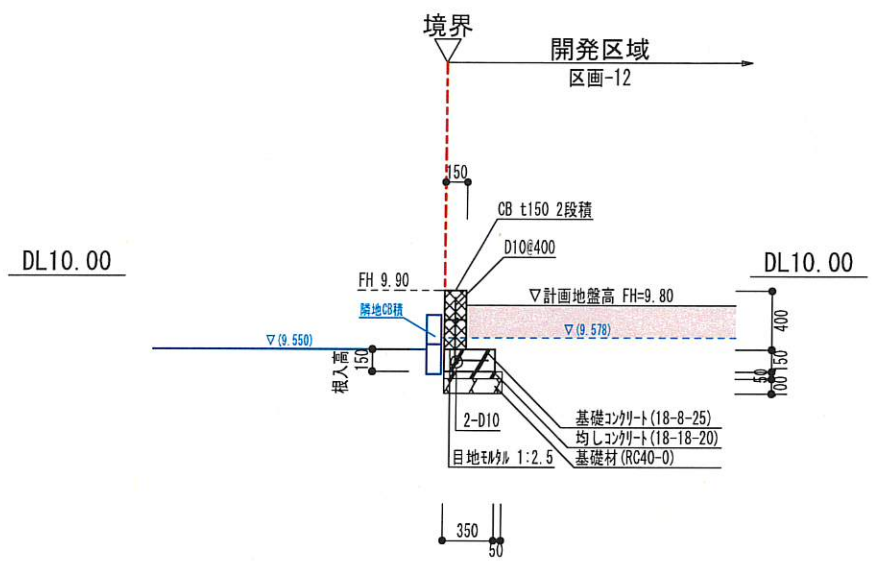
1. 盛土工事については30cm以下毎にローラー等の建設機械で締め固めるとともに、必要に応じて地滑り抑止杭の設置等措置を講じてください。工事完了時に施工状況の判る工事写真を提出してください。

凡例

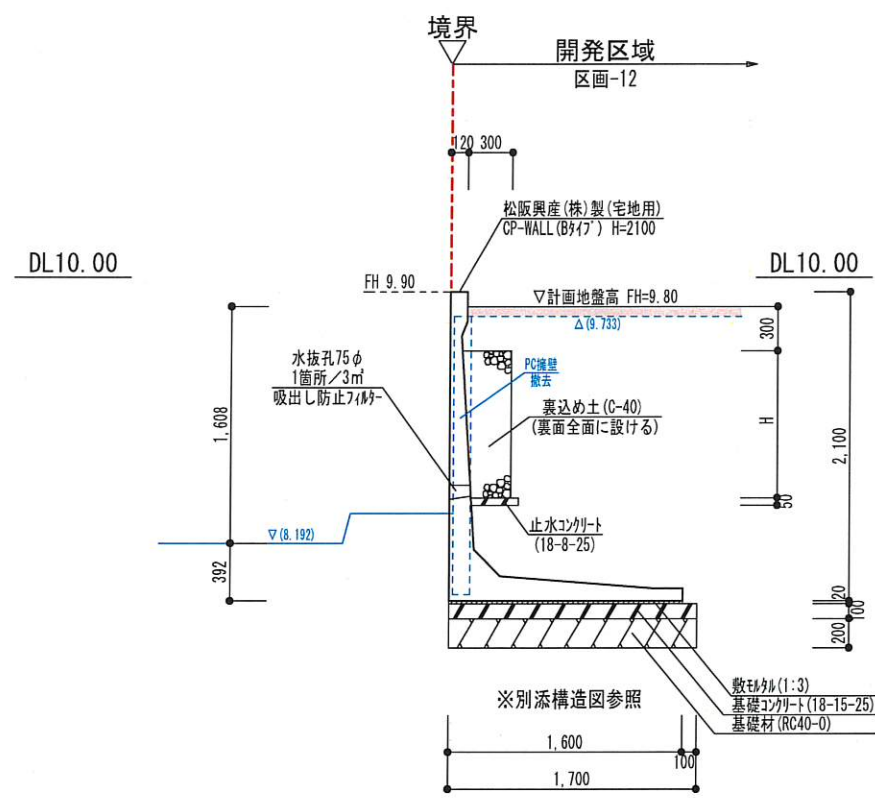
	盛土
	切土

工事名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可				
図面名	断面詳細図-4				
縮尺	A3: 図示	作成日	2024.01.22	図面番号	15
図面作成者	調査・企画・開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥				

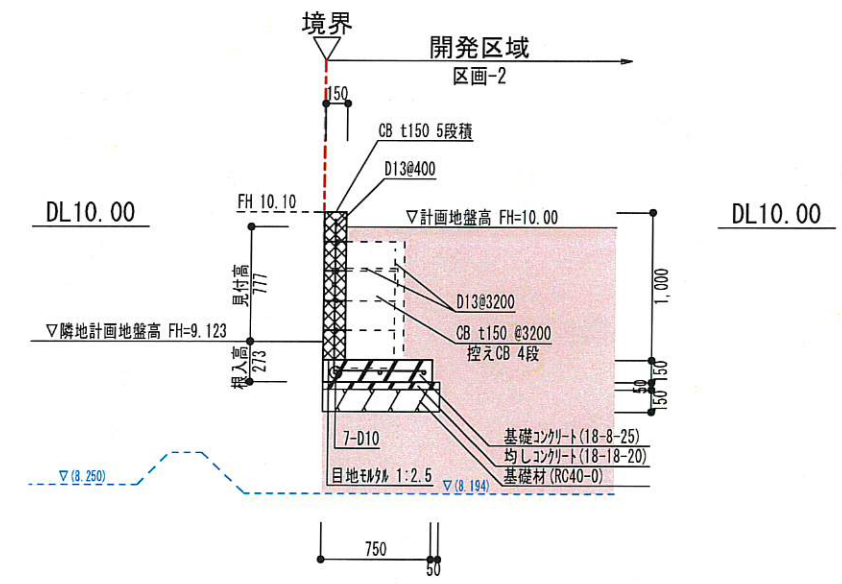
①9-①9 断面図 S=1/50



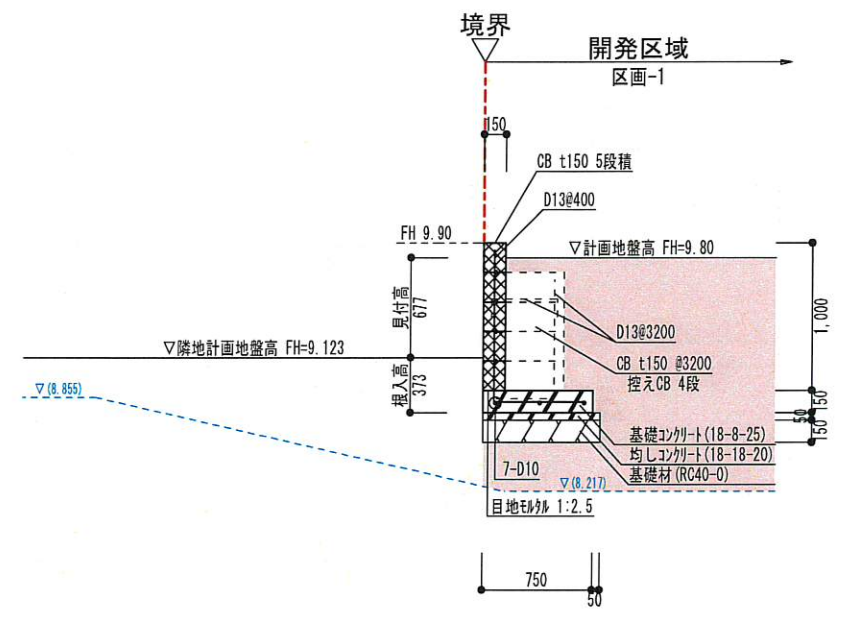
②0-②0 断面図 S=1/50



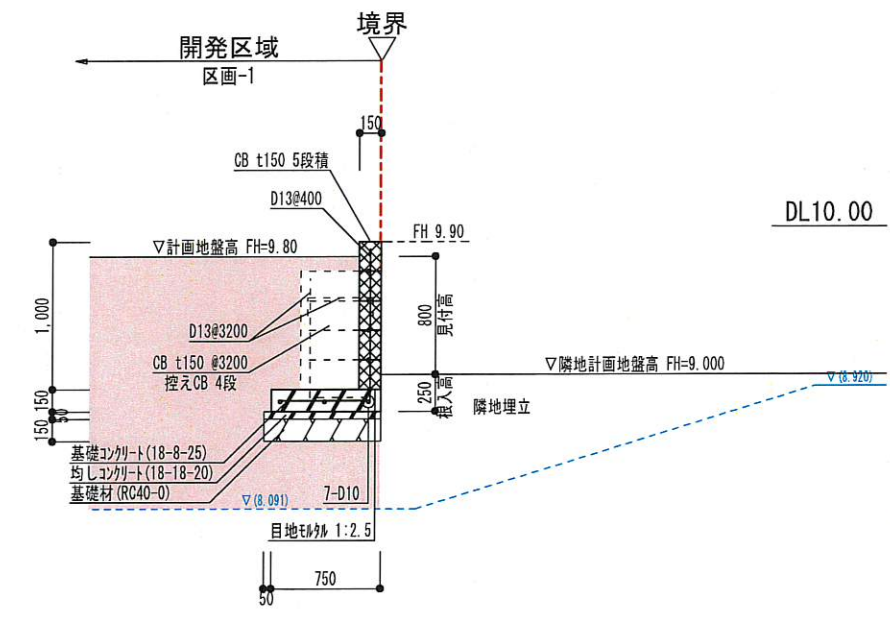
②2-②2 断面図 S=1/50



②3-②3 断面図 S=1/50



②4-②4 断面図 S=1/50



凡例

- 開発区域
- 青字 現況高さを示す
- 青線は現況を示す
- FH 計画高を示す

共通特記事項

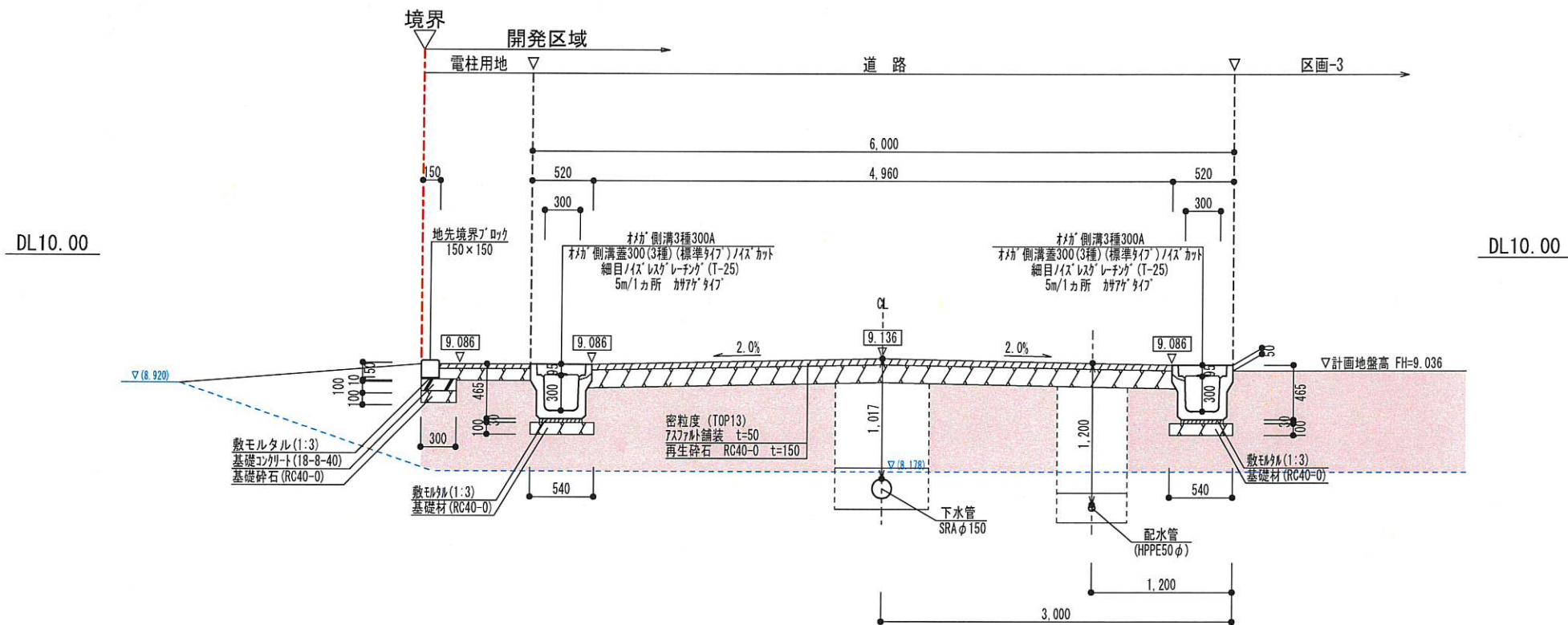
1. 盛土工事については30cm以下毎にローラー等の建設機械で締め固めるとともに、必要に応じて地滑り抑止杭の設置等措置を講じてください。工事完了時に施工状況の判る工事写真を提出してください。

凡例

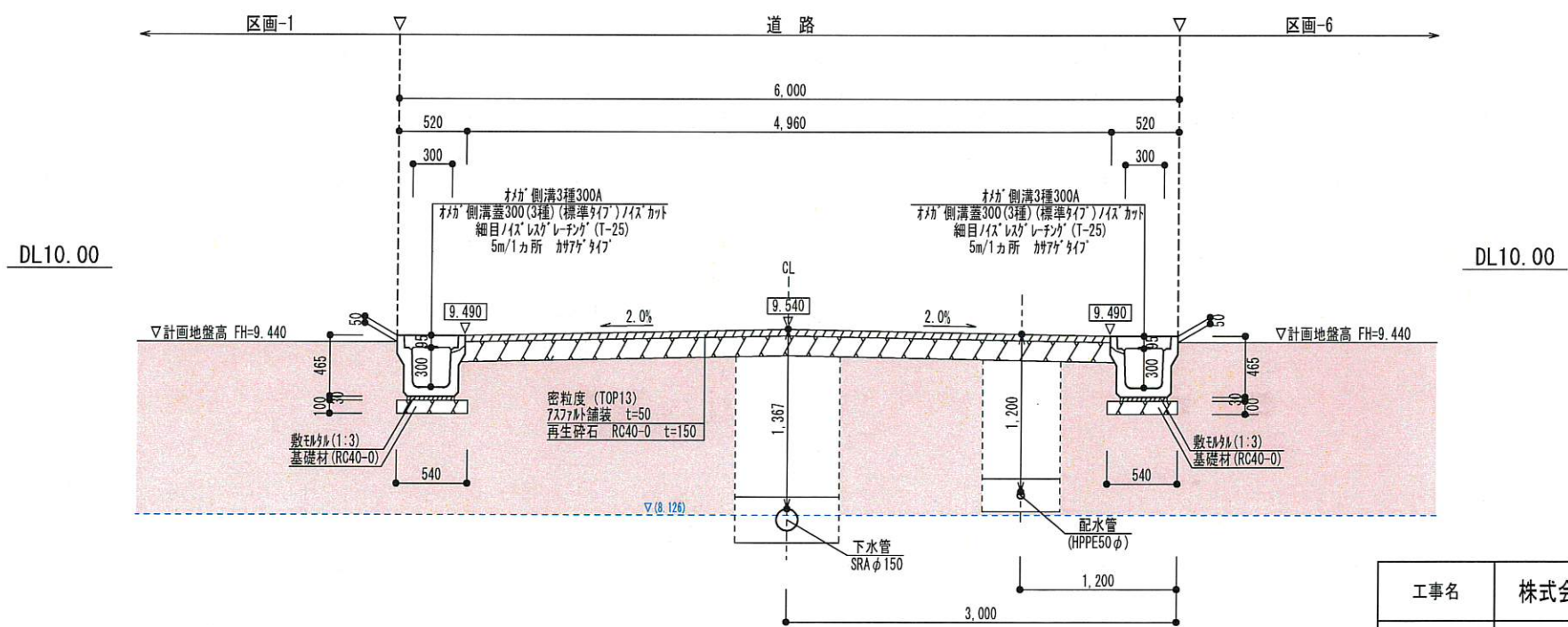
- 盛土
- 切土

工事名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可			
図面名	断面詳細図-5			
縮尺	A3: 図示	作成日	2024.01.27	図面番号 16
図面作成者	調査・企画・開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥			

②5-②5 断面図 S=1/50



②6-②6 断面図 S=1/50



凡例

- 開発区域
- 青字 現況高さを示す
- 青線は現況を示す
- FH 計画高を示す

共通特記事項

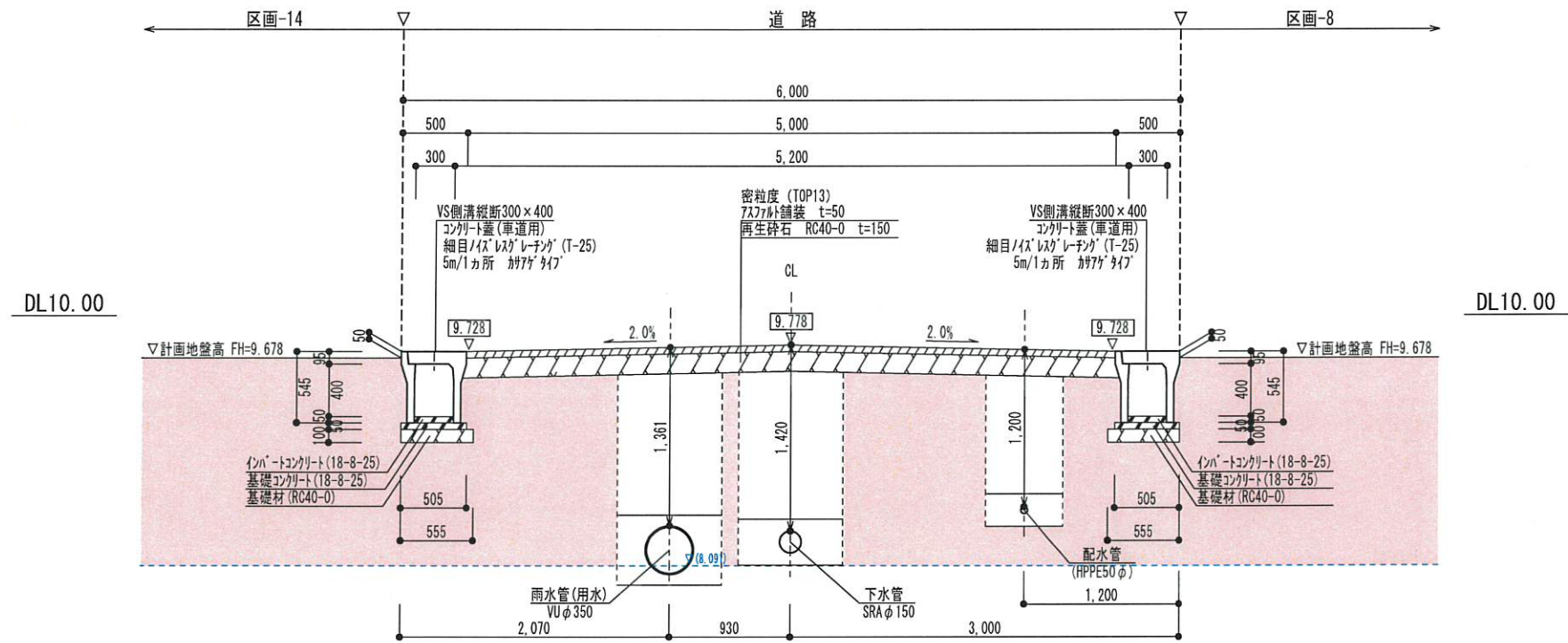
1. 盛土工事については30cm以下毎にローラー等の建設機械で締め固めるとともに、必要に応じて地滑り抑止杭の設置等措置を講じてください。工事完了時に施工状況の判る工事写真を提出してください。

凡例

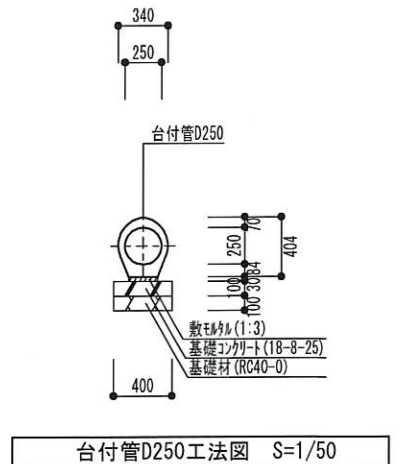
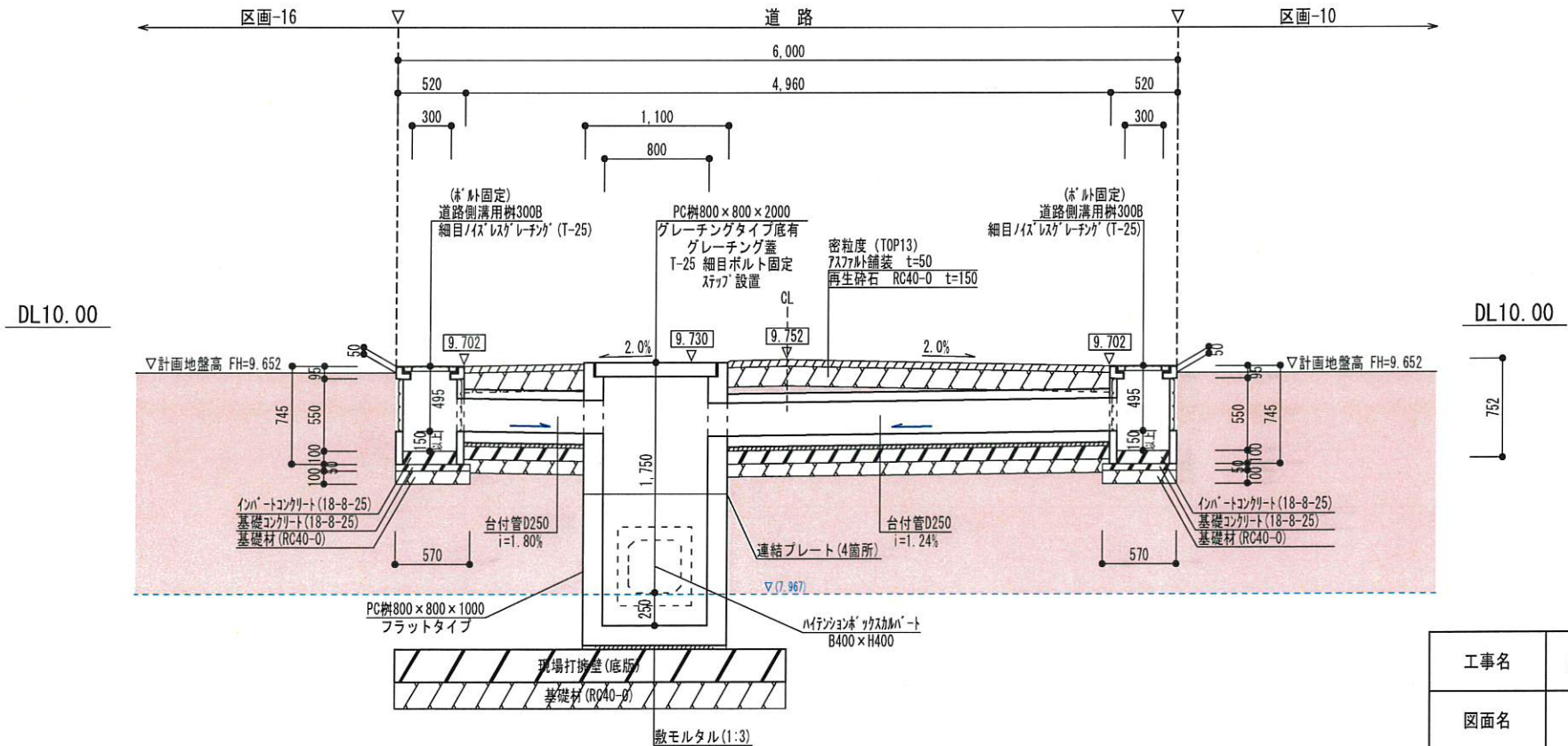
- 盛土
- 切土

工事名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可				
図面名	断面詳細図-6				
縮尺	A3: 図示	作成日	2024. 01. 22	図面番号	17
図面作成者	調査・企画・開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥				

②7-②7 断面図 S=1/50



②8-②8 断面図 S=1/50



凡例

開発区域	開発区域
青字	現況高さを示す
青線	青線は現況を示す
FH	計画高を示す

共通特記事項

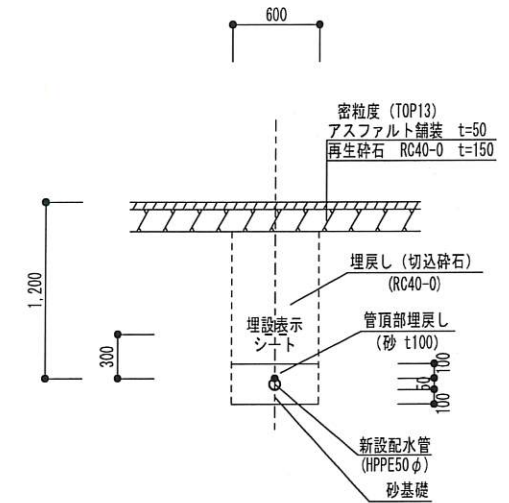
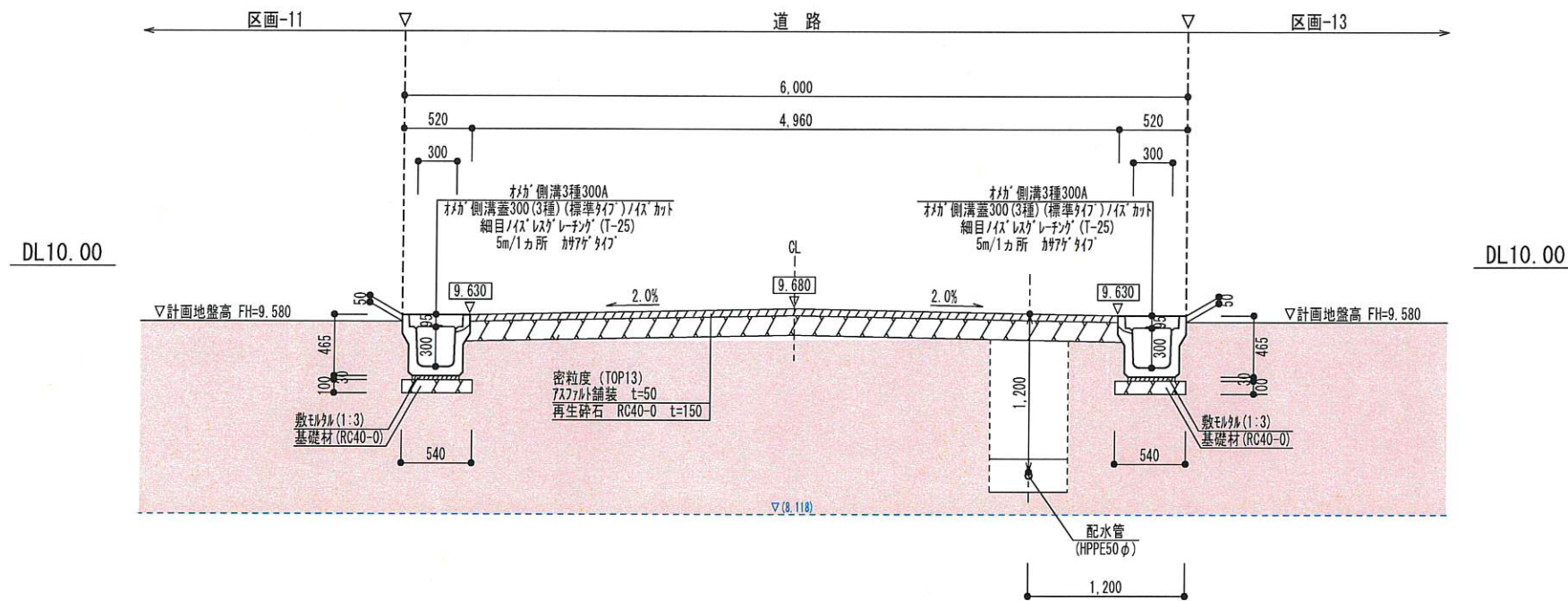
1. 盛土工事については30cm以下毎にローラー等の建設機械で締め固めるとともに、必要に応じて地滑り抑止杭の設置等措置を講じてください。工事完了時に施工状況の判る工事写真を提出してください。

凡例

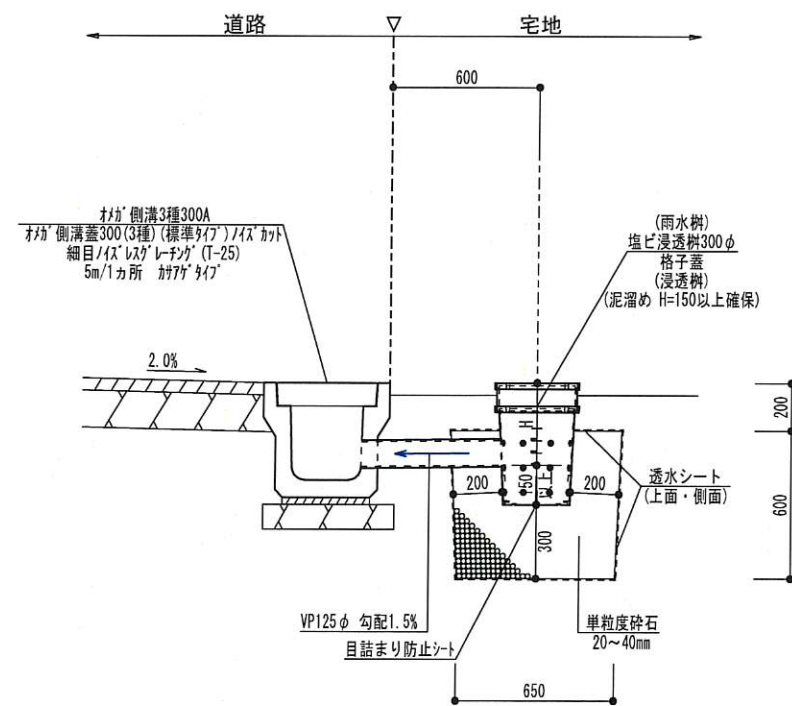
盛土	盛土
切土	切土

工事名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可				
図面名	断面詳細図-7				
縮尺	A3: 図示	作成日	2024.01.22	図面番号	18
図面作成者	調査・企画・開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥				

②9-②9 断面図 S=1/50



上水道土工定規図 S=1/50



雨水樹取付工法図 S=1/30

地域ブロック	降雨強度
鈴鹿	114.4mm/h

雨水排出量
A=238.68m²
(最大区画面積)

$$\frac{1}{360} \times 0.9 \times 114.4 \times 0.0239 = 0.007 \text{ m}^3/\text{s}$$

流下能力計算式

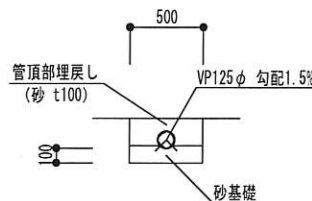
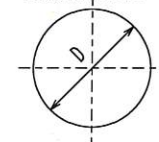
$$A = r \times r \times \pi = 0.012$$

$$P = D \times \pi = 0.393$$

$$R = A / P = 0.031$$

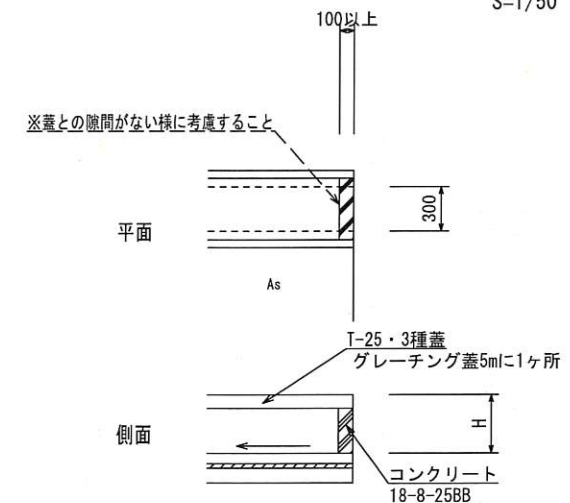
$$V = 1 / 0.010 \times 0.031^{2/3} \times 0.015^{1/2} = 1.209 \text{ m/s}$$

$$Q = 0.012 \times 1.209 = 0.015 \text{ m}^3/\text{s} \therefore \text{OK}$$



宅地雨水管詳細図 S=1/50

新設側溝末端部処理(300の場合) S=1/50



凡例

開発区域	青字
現況高さを示す	青線は現況を示す
計画高を示す	FH

共通特記事項

1. 盛土工事については30cm以下毎にローラー等の建設機械で締め固めるとともに、必要に応じて地滑り抑止杭の設置等措置を講じてください。工事完了時に施工状況の判る工事写真を提出してください。

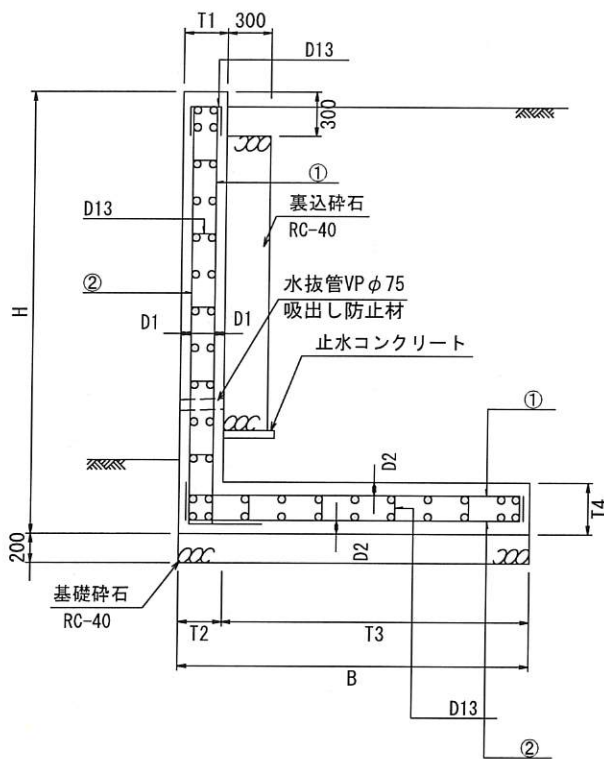
凡例

盛土	切土
----	----

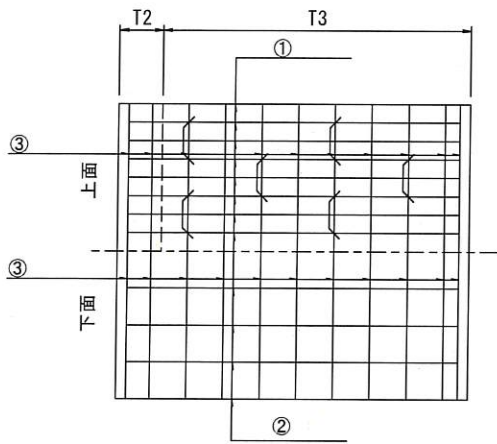
工事名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可			
図面名	断面詳細図-8			
縮尺	A3: 図示	作成日	2024.01.22	図面番号 19
図面作成者	調査・企画・開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥			

現場打L型擁壁構造図

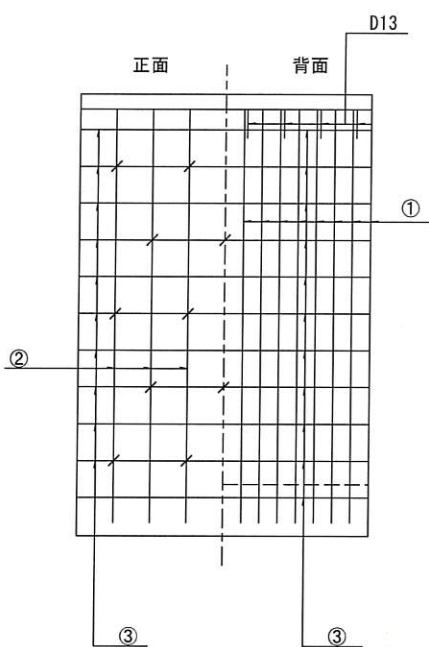
施工図



平面図



正面・背面図



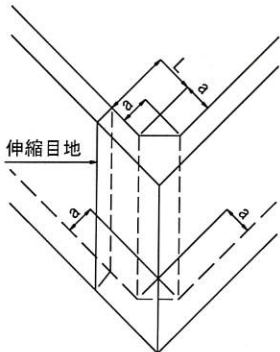
寸法表

適用	タイプ	各部寸法 (mm)						必要地耐力 (kN/m ²)	鉄筋位置		鉄筋径・ピッチ		
		H	B	T1	T2	T3	T4		D1	D2	①	②	③
	H-600	600	850	200	200	650	250	21.30	60	80	D13@250	D13@250	D13@250
	H-700	700	900	200	200	700	250	25.18	60	80	D13@250	D13@250	D13@250
	H-750	750	950	200	200	750	250	27.10	60	80	D13@250	D13@250	D13@250
	H-800	800	950	200	200	750	250	29.28	60	80	D13@250	D13@250	D13@250
	H-900	900	1000	200	200	800	250	33.31	60	80	D13@250	D13@250	D13@250
	H-1000	1000	1050	200	200	850	250	37.39	60	80	D13@250	D13@250	D13@250
	H-1100	1100	1150	200	200	950	250	40.45	60	80	D13@250	D13@250	D13@250
	H-1200	1200	1250	200	200	1050	250	43.45	60	80	D13@250	D13@250	D13@250
	H-1250	1250	1250	200	200	1050	250	46.02	60	80	D13@250	D13@250	D13@250
	H-1300	1300	1300	200	200	1100	250	47.32	60	80	D13@250	D13@250	D13@250
	H-1400	1400	1350	200	200	1150	250	51.22	60	80	D13@250	D13@250	D13@250
	H-1500	1500	1400	200	200	1200	250	55.14	60	80	D13@250	D13@250	D13@250
	H-1600	1600	1500	200	200	1300	250	57.83	60	80	D13@250	D13@250	D13@250
	H-1700	1700	1550	200	200	1350	250	61.73	60	80	D13@250	D13@250	D13@250
	H-1750	1750	1550	200	200	1350	250	64.45	60	80	D13@250	D13@250	D13@250
	H-1800	1800	1600	200	200	1400	250	65.66	60	80	D13@250	D13@250	D13@250
	H-1900	1900	1700	200	200	1500	250	68.26	60	80	D13@250	D13@250	D13@250
	H-2000	2000	1700	200	200	1500	250	73.58	60	80	D13@250	D13@250	D13@250
	H-2100	2100	1600	200	200	1400	250	82.99	60	80	D13@250	D13@250	D13@250
○	H-2200	2200	1600	200	200	1400	250	89.41	60	80	D13@250	D13@250	D13@250
	H-2250	2250	1650	200	200	1450	250	90.44	60	80	D13@250	D13@250	D13@250
	H-2300	2300	1800	200	200	1600	250	87.35	60	80	D13@125	D13@250	D13@250
○	H-2400	2400	1800	200	200	1600	250	93.35	60	80	D13@125	D13@250	D13@250

鉄筋位置・径・ピッチ

L型擁壁の隅角部補強について

コーナー補強筋は、縦壁の配筋筋と同径、同ピッチとすること。
補強を要する屈曲角の目安は、屈曲角≤120° とする。



(a) 立体図



(b) 平面図

- ・擁壁の高さ3.0m以下のとき、a=50cm
- ・擁壁の高さ3.0mを越えるとき、a=60cm
- ・伸縮目地 (L) の位置は、
擁壁の高さ程度かつ2.0m以上とする。

共通特記事項

1. 盛土工事については30cm以下毎にローラー等の建設機械で締め固めるとともに、必要に応じて地滑り抑止杭の設置等措置を講じてください。工事完了時に施工状況の判る工事写真を提出してください。

設計条件

上載荷重	q=10.0kN/m ²
土の内部摩擦角	φ=30°
土の単位体積重量	γs=18.0kN/m ³
底面摩擦係数	μ=0.5
設計水平震度	kh=0.25 (大地震時)
コンクリートの単位体積重量	γc=24.0kN/m ³
コンクリートの設計基準強度	σck=21.0N/mm ² 以上
擁壁前面の根入れ高さ	35cm以上かつ擁壁高さの15%以上

- 宅地造成等規制法施行令 別表第二・三参照
- 設計水平震度は、見掛けが2m以上の場合に考慮する

- 適用欄に印を付けたものが、本工程使用タイプである
- 許可申請前の土質調査や原位置試験が困難な場合には、
施工段階において土質調査・原位置試験を実施し、設計調査を行うこと
- 擁壁支持地盤の支持力が必要地耐力に満たさない場合には、
地盤改良もしくは置き換えにより支持力を確保すること
- 水抜管は、VPφ75で3m2に1ヶ所以上設置すること
- 伸縮目地の間隔は20m以下とする
- 埋め戻しは、おおむね30cm以下の厚さの層に分けて
土を盛り、ローラーその他の建設機械を用いて締め固めること
- 鉄筋のかぶり厚さは、鉛直壁で4cm以上、底版では6cm以上確保すること

凡例

開発区域	青字	青線	FH
現況高さを示す			
青線は現況を示す			
計画高を示す			

凡例

盛土	切土

工事名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可			
図面名	現場打L型擁壁構造図			
縮尺	A3:図示	作成日	2024.01.22	図面番号 19-1
図面作成者	調査・企画・開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥			

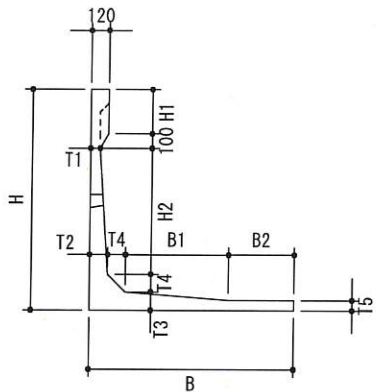
L型擁壁（CP-WALL）構造図

S=1/50

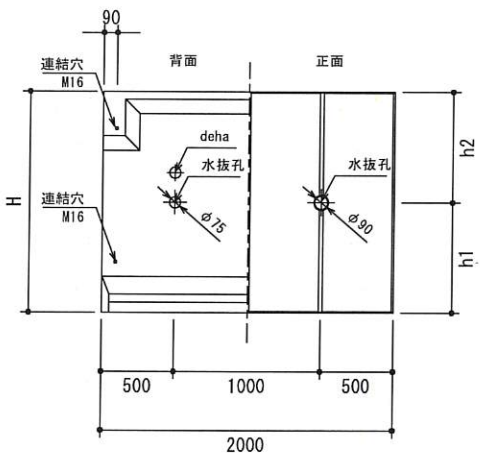
CP-WALL（宅地用） H=600～2500

※H=600～2000はCタイプ、H=2100～2500はBタイプ

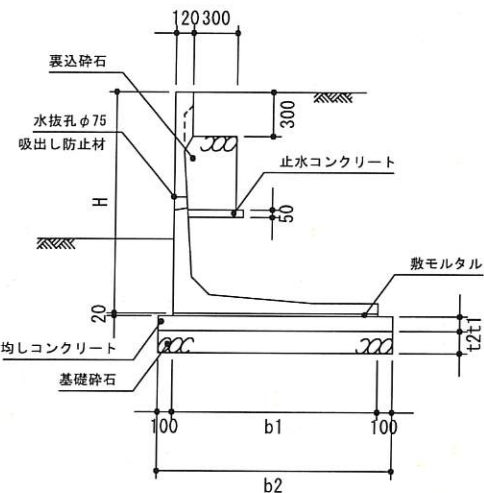
断面図



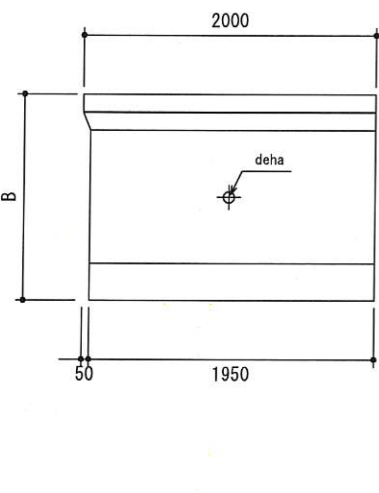
正面・背面図



施工図



平面図



製品寸法表

適用	製品名	各部寸法 (mm)												水抜孔位置		参考質量 (kg)	必要地耐力 (kN/m2)
		H	H1	H2	B	B1	B2	T1	T2	T3	T4	T5	h1	h2			
	H-600	600	70	260	850	330	350	60	70	70	100	60	300	300	467	22.65	
	H-700	700	70	360	900	330	400	60	70	70	100	60	350	350	512	26.08	
	H-750	750	250	215	950	365	400	60	85	85	100	55	400	350	558	28.00	
	H-800	800	300	215	950	365	400	60	85	85	100	55	400	400	586	30.20	
	H-900	900	300	310	1000	410	400	60	90	90	100	60	450	450	664	33.86	
	H-1000	1000	300	410	1050	460	400	60	90	90	100	60	500	500	716	37.81	
	H-1100	1100	300	505	1150	555	400	60	95	95	100	60	550	550	804	40.52	
	H-1200	1200	250	645	1250	585	450	65	115	105	100	70	625	575	970	43.54	
	H-1250	1250	300	645	1250	585	450	65	115	105	100	70	625	625	999	45.92	
	H-1300	1300	300	685	1300	635	450	65	115	115	100	70	650	650	1060	47.23	
	H-1400	1400	300	760	1350	660	450	65	120	120	120	70	700	700	1162	51.03	
	H-1500	1500	300	855	1400	705	450	65	125	125	120	70	750	750	1252	54.91	
○	H-1600	1600	300	950	1500	750	500	65	130	130	120	70	750	850	1362	57.37	
	H-1700	1700	250	1055	1550	800	450	70	150	145	150	75	750	950	1606	61.55	
	H-1750	1750	300	1055	1550	800	450	70	150	145	150	75	750	1000	1634	64.27	
○	H-1800	1800	300	1105	1600	800	500	70	150	145	150	75	750	1050	1677	65.45	
	H-1900	1900	200	1295	1700	945	450	70	155	155	150	80	750	1150	1899	67.94	
	H-2000	2000	300	1295	1700	945	450	70	155	155	150	80	750	1250	1955	73.21	
○	H-2100	2100	150	1500	1600	1100	150	80	170	170	180	85	750	1350	2200	82.83	
○	H-2200	2200	250	1500	1600	1100	150	80	170	170	180	85	750	1450	2257	89.19	
	H-2250	2250	300	1500	1650	1100	200	80	170	170	180	85	750	1500	2315	90.21	
	H-2300	2300	100	1735	1800	1185	250	80	185	185	180	85	750	1550	2562	87.47	
○	H-2400	2400	200	1735	1800	1185	250	80	185	185	180	85	750	1650	2618	93.42	
	H-2500	2500	300	1735	1800	1185	250	80	185	185	180	85	750	1750	2675	99.60	

※dehaアンカーは、H-1600以上から付属（H-1200～1500は底版のみ）

※H-2100～2500はBタイプを使用

※見掛け高が2000を超えない場合に、H-2400, 2500は使用可能

基礎工寸法表

各部寸法 (mm)			
t1	t2	b1	b2
50	100	850	1050
50	100	900	1100
100	100	950	1150
100	100	950	1150
100	100	1000	1200
100	100	1050	1250
100	150	1150	1350
100	150	1250	1450
100	150	1250	1450
100	150	1300	1500
100	150	1350	1550
100	150	1400	1600
100	150	1500	1700
100	150	1550	1750
100	150	1550	1750
100	150	1600	1800
100	150	1700	1900
100	150	1700	1900
100	200	1600	1800
100	200	1600	1800
100	200	1650	1850
100	200	1800	2000
100	200	1800	2000
100	200	1800	2000

設計条件

上載荷重	q=10.0kN/m ²
土の内部摩擦角	30°
土の単位体積重量	γs=18.0kN/m ³
底面摩擦係数	μ=0.5
コンクリートの単位体積重量	γc=24.0kN/m ³

※宅地造成等規制法施行令 別表第二・三参照

擁壁前面の根入れ高さ

造成工事	35cm以上かつ 擁壁高さの15%以上
------	------------------------

1. 支持地盤および裏込土については、許可申請前または施工段階において土質調査・原位置試験を実施し、設計照査を行うこと。
設計条件を満たさない地盤の場合は、安定処理や良質土による置き換えを行い設計条件を確保すること。
2. 水抜孔及び裏込碎石の厚さ(300程度)がわかる状況写真を撮ること。
3. 盛土をする場合には、おおむね30cm以下の厚さの層に分けて土を盛り、ローラーその他の建設機械を用いて締め固めること。

共通特記事項

1. 盛土工事については30cm以下毎にローラー等の建設機械で締め固めるとともに、必要に応じて地滑り防止杭の設置等措置を講じてください。工事完了時に施工状況の判る工事写真を提出してください。

凡例

盛土	切土
----	----

凡例

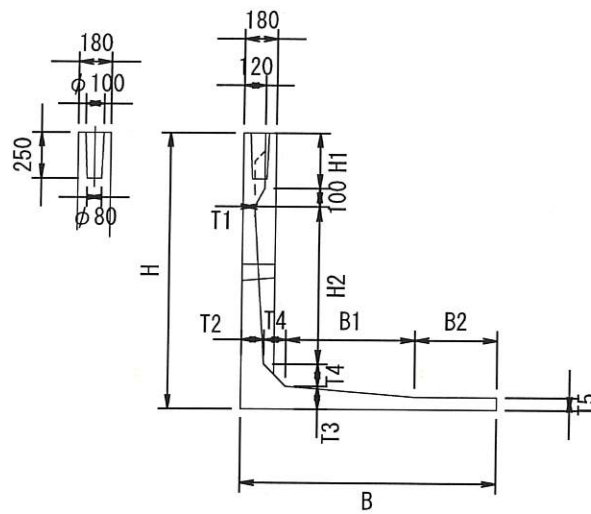
開発区域	開発区域
青字	現況高さを示す
青線	青線は現況を示す
FH	計画高を示す

工事名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可				
図面名	L型擁壁（CP-WALL）構造図				
縮尺	A3：図示	作成日	2024.01.22	図面番号	19-2
図面作成者	調査・企画・開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥				

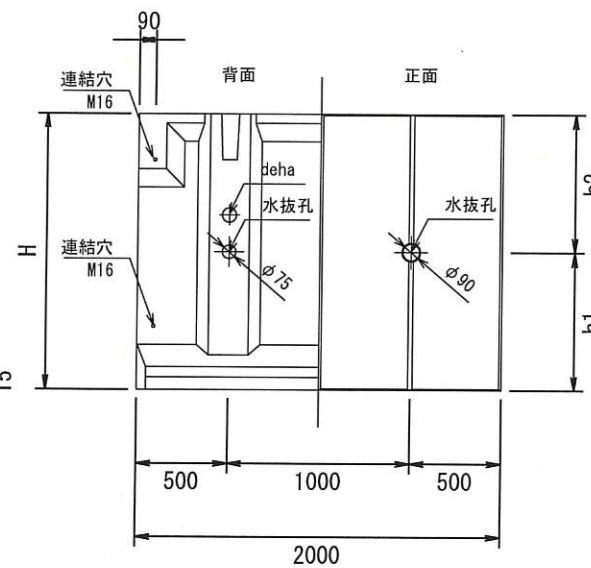
CP-WALL (ガードフェンス仕様) H=600~2500

L型擁壁 (CP-WALL) 構造図 S=1/50
CP-WALL (ガードフェンス仕様) H=600~2500

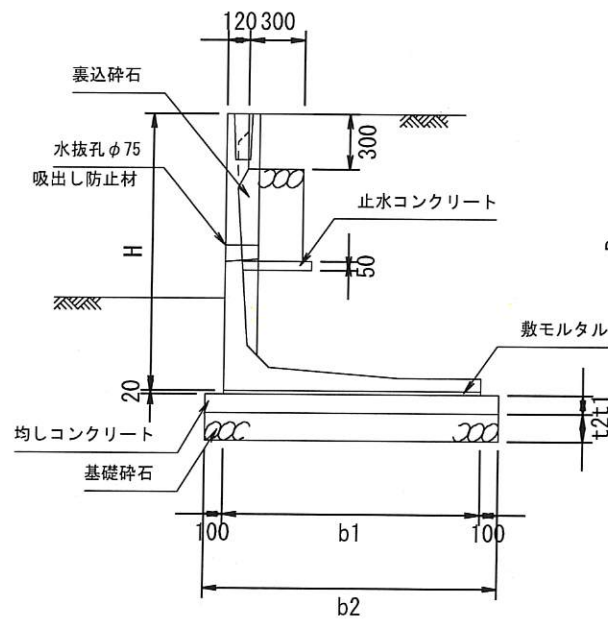
断面図



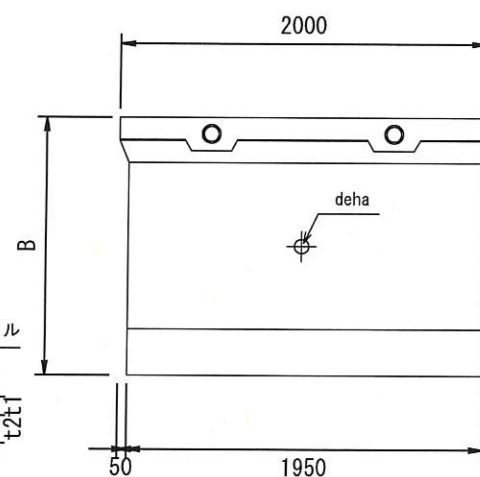
正面・背面図



施工図



平面図



製品寸法表

適用	製品名	各部寸法 (mm)											水抜孔位置		参考質量 (kg)	必要地耐力 (kN/m ²)		各部寸法 (mm)			
		H	H1	H2	B	B1	B2	T1	T2	T3	T4	T5	h1	h2		〈常時〉	〈フェンス荷重時〉	t1	t2	b1	b2
	H-600	600	70	260	850	330	350	60	70	70	100	60	250	350	518	22.65	37.05	50	100	850	1050
	H-700	700	70	360	900	330	400	60	70	70	100	60	350	350	593	26.08	39.41	50	100	900	1100
	H-750	750	250	215	950	365	400	60	85	85	100	55	400	350	629	28.00	40.23	100	100	950	1150
	H-800	800	300	215	950	365	400	60	85	85	100	55	400	400	680	30.20	42.78	100	100	950	1150
	H-900	900	300	310	1000	410	400	60	90	90	100	60	450	450	772	33.86	46.00	100	100	1000	1200
	H-1000	1000	300	410	1050	460	400	60	90	90	100	60	500	500	837	37.81	49.25	100	100	1050	1250
	H-1100	1100	300	505	1150	555	400	60	95	95	100	60	550	550	941	40.52	50.58	100	150	1150	1350
	H-1200	1200	250	645	1250	585	450	65	115	105	100	70	625	575	1117	43.54	52.36	100	150	1250	1450
	H-1250	1250	300	645	1250	585	450	65	115	105	100	70	625	625	1144	45.92	54.85	100	150	1250	1450
	H-1300	1300	300	685	1300	635	450	65	115	115	100	70	650	650	1210	47.23	55.75	100	150	1300	1500
	H-1400	1400	300	760	1350	660	450	65	120	120	120	70	700	700	1320	51.03	59.22	100	150	1350	1550
	H-1500	1500	300	855	1400	705	450	65	125	125	120	70	750	750	1421	54.91	62.90	100	150	1400	1600
	H-1600	1600	300	950	1500	750	500	65	130	130	120	70	750	850	1433	57.37	64.58	100	150	1500	1700
	H-1700	1700	250	1055	1550	800	450	70	150	145	150	75	750	950	1688	61.55	68.56	100	150	1550	1750
	H-1750	1750	300	1055	1550	800	450	70	150	145	150	75	750	1000	1710	64.27	71.28	100	150	1550	1750
	H-1800	1800	300	1105	1600	800	500	70	150	145	150	75	750	1050	1769	65.45	72.23	100	150	1600	1800
	H-1900	1900	200	1295	1700	945	450	70	155	155	150	80	750	1150	1946	67.94	74.13	100	150	1700	1900
	H-2000	2000	300	1295	1700	945	450	70	155	155	150	80	750	1250	2017	73.21	79.65	100	150	1700	1900
	H-2100	2100	150	1500	1600	1100	150	80	170	170	180	85	750	1350	2269	82.83	90.33	100	200	1600	1800
	H-2200	2200	250	1500	1600	1100	150	80	170	170	180	85	750	1450	2319	89.19	96.97	100	200	1600	1800
	H-2250	2250	300	1500	1650	1100	200	80	170	170	180	85	750	1500	2390	90.21	97.53	100	200	1650	1850
	H-2300	2300	100	1735	1800	1185	250	80	185	185	180	85	750	1550	2646	87.47	93.78	100	200	1800	2000
○	H-2400	2400	200	1735	1800	1185	250	80	185	185	180	85	750	1650	2670	93.42	99.95	100	200	1800	2000
	H-2500	2500	300	1735	1800	1185	250	80	185	185	180	85	750	1750	2753	99.60	106.35	100	200	1800	2000

※dehaアンカーは、H-1600以上から付属 (H-1200~1500は底版のみ)

※H-2100~2500はBタイプを使用

※見掛け高が2000を超えない場合に、H-2400, 2500は使用可能

設計条件

上載荷重	q=10.0kN/m ²
土の内部摩擦角	30°
土の単位体積重量	γs=18.0kN/m ³
底面摩擦係数	μ=0.5
コンクリートの単位体積重量	γc=24.0kN/m ³
フェンス荷重	H=1.0kN/m

※宅地造成等規制法施行令 別表第二・三参照

擁壁前面の根入れ高さ

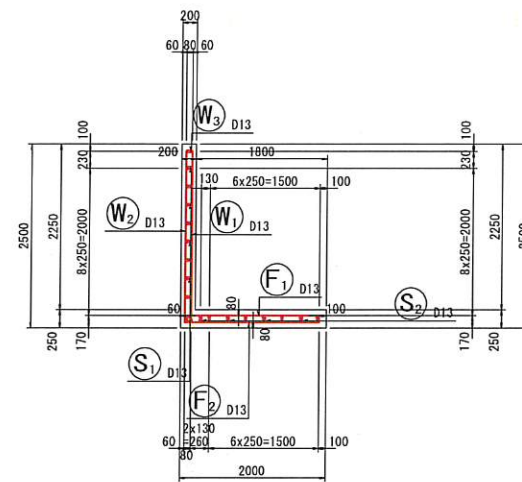
造成工事	35cm以上かつ 擁壁高さの15%以上
------	------------------------

1. 支持地盤および裏込土については、許可申請前または施工段階において土質調査・原位置試験を実施し、設計照査を行うこと。
設計条件を満たさない地盤の場合は、安定処理や良質土による置き換えを行い設計条件を確保すること。
2. 水抜孔及び裏込碎石の厚さ(300程度)がわかる状況写真を撮ること。
3. 盛土をする場合には、おおむね30cm以下の厚さに分けて土を盛り、ローラーその他の建設機械を用いて締め固めること。

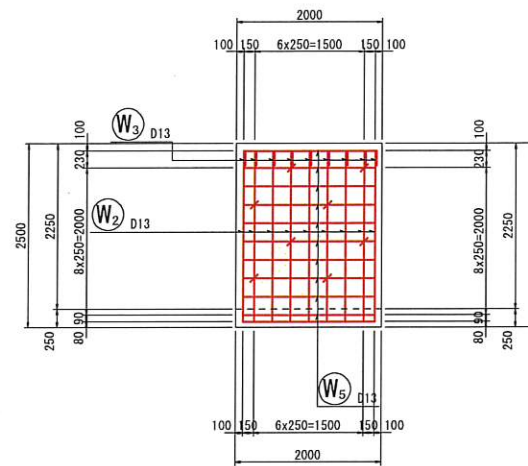
工事名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可			
図面名	L型擁壁 (CP-WALL) 構造図 CP-WALL (ガードフェンス仕様) H=600~2500			
縮尺	A3: 図示	作成日	2024. 01. 27	図面番号 19-3
図面作成者	調査・企画・開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥			

$$S = \begin{array}{cc} 1:50 & 1:100 \end{array}$$

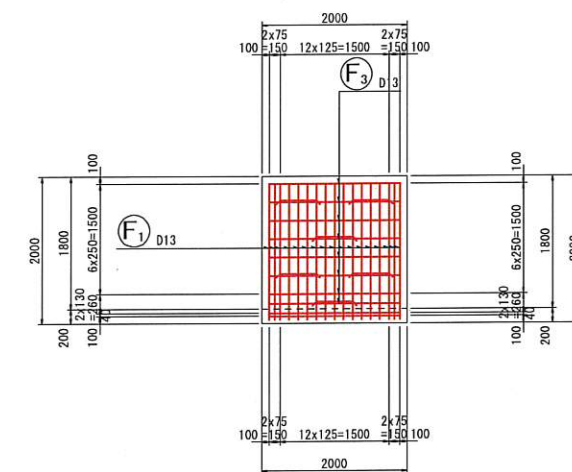
断面图 1
5—5



前面図
1-1

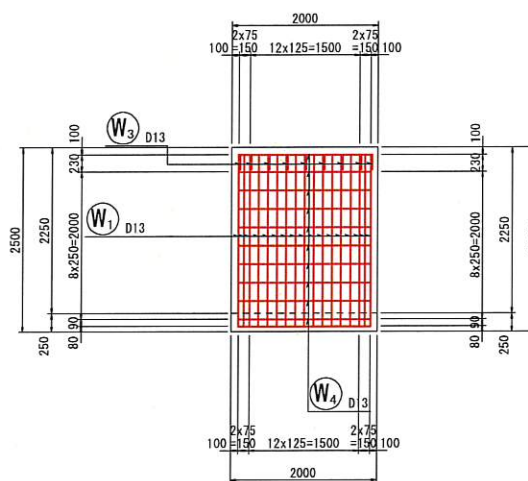


底版上面图
3-3

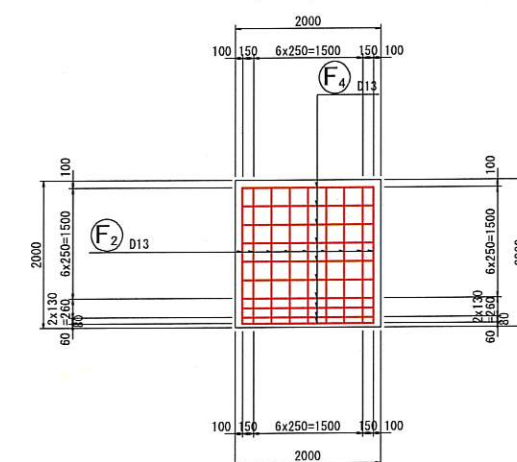


A 3D frame structure is shown, consisting of a vertical member and a horizontal member. The vertical member has a fixed support at the bottom. A force F_2 is applied at the bottom of the vertical member, and a moment W_2 is applied at the top of the vertical member. The horizontal member is attached to the top of the vertical member. A force F_1 is applied at the end of the horizontal member, and a moment W_1 is applied at the joint. A third moment W_3 is applied at the end of the horizontal member. The diagram is labeled with 'D13' next to each force and moment.

背面図
2-2



底版下面図
4-4



共通性記事項

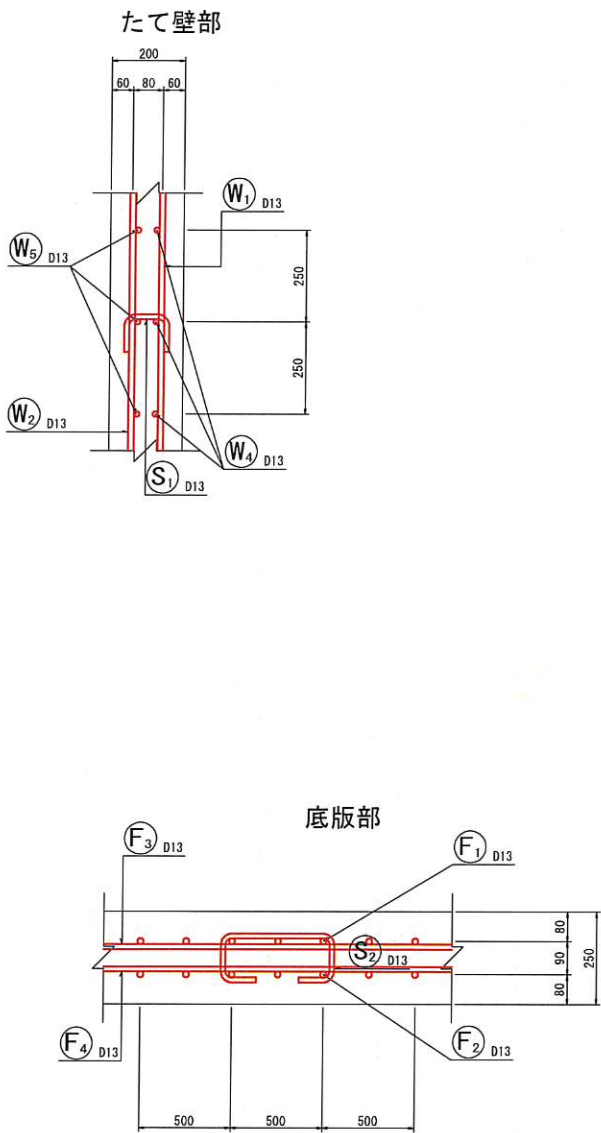
1. 盛土工事については30cm以下毎にローラー等の建設機械で締め固めるとともに、必要に応じて地滑り防止杭の設置等措置を講じてください。工事完了時に施工状況の概略写真を提出してください。

工事名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可				
図面名	現場打型擁壁 H=2500の1				
縮尺	A1 S=図示 A3: S=50%	作成日	2024. 01. 22	図面番号	19-4
図面作成者	調査、企画、開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥				

擁壁配筋図（その2）

S = 1:50 1:10

底版上面図
3-3



設計支持力 $q=86.996\text{kN/m}^2$ 以上
極限支持力 $q=260.988\text{kN/m}^2$ 以上

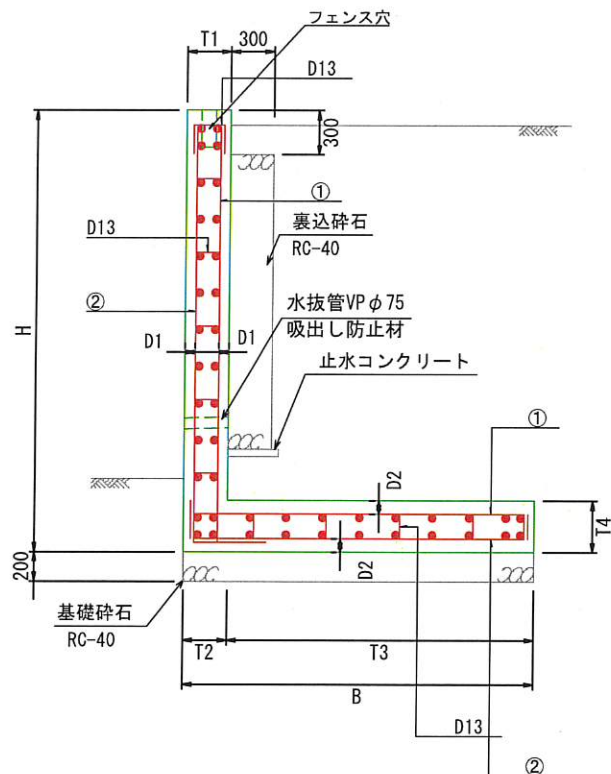
工事名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可				
図面名	現場打L型擁壁 H-2500の2				
縮尺	A1 S=図示 A3 S=50%	作成日	2024.01.22	図面番号	19-5
図面作成者	調査・企画・開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥				

注意 特記事項
1. 設計図書については20mm以下にローラー等の建設機械で踏み回るとともに、必要に応じて地盤の固さ等の確認を要する。工事完了時に施工状況の写真を提出してください。

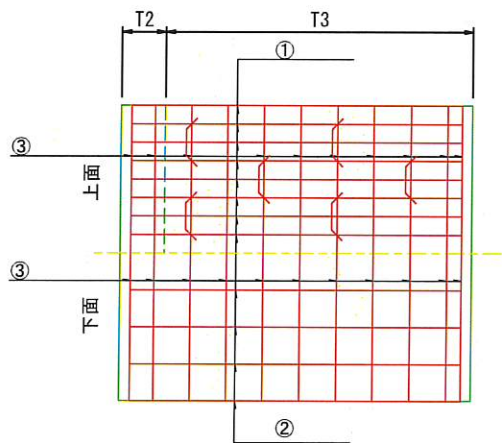
現場打L型擁壁構造図

ガードフェンス仕様

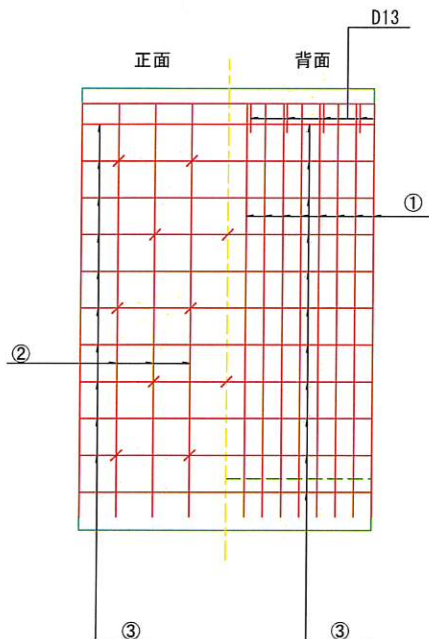
施工図



平面図

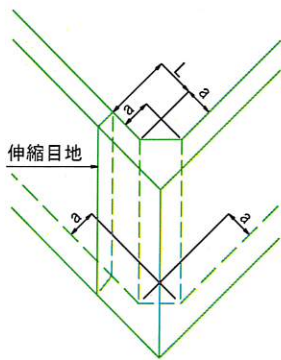


正面・背面図



L型擁壁の隅角部補強について

コーナー補強筋は、縦壁の配筋筋と同径、同ピッチとすること。
補強を要する屈曲角の目安は、屈曲角 $\leq 120^\circ$ とする。



(a) 立体図



(b) 平面図

- ・擁壁の高さ3.0m以下のとき、 $a=50\text{cm}$
- ・擁壁の高さ3.0mを越えるとき、 $a=60\text{cm}$
- ・伸縮目地 (L) の位置は、擁壁の高さ程度かつ2.0m以上とする。

寸法表

適用	タイプ	各部寸法 (mm)						必要地耐力 (kN/m ²)	鉄筋位置		鉄筋径・ピッチ		
		H	B	T1	T2	T3	T4		D1	D2	①	②	③
○	H-2400	2400	1800	200	200	1600	250	99.95	60	80	D13@125	D13@250	D13@250

鉄筋位置・径・ピッチ

設計条件

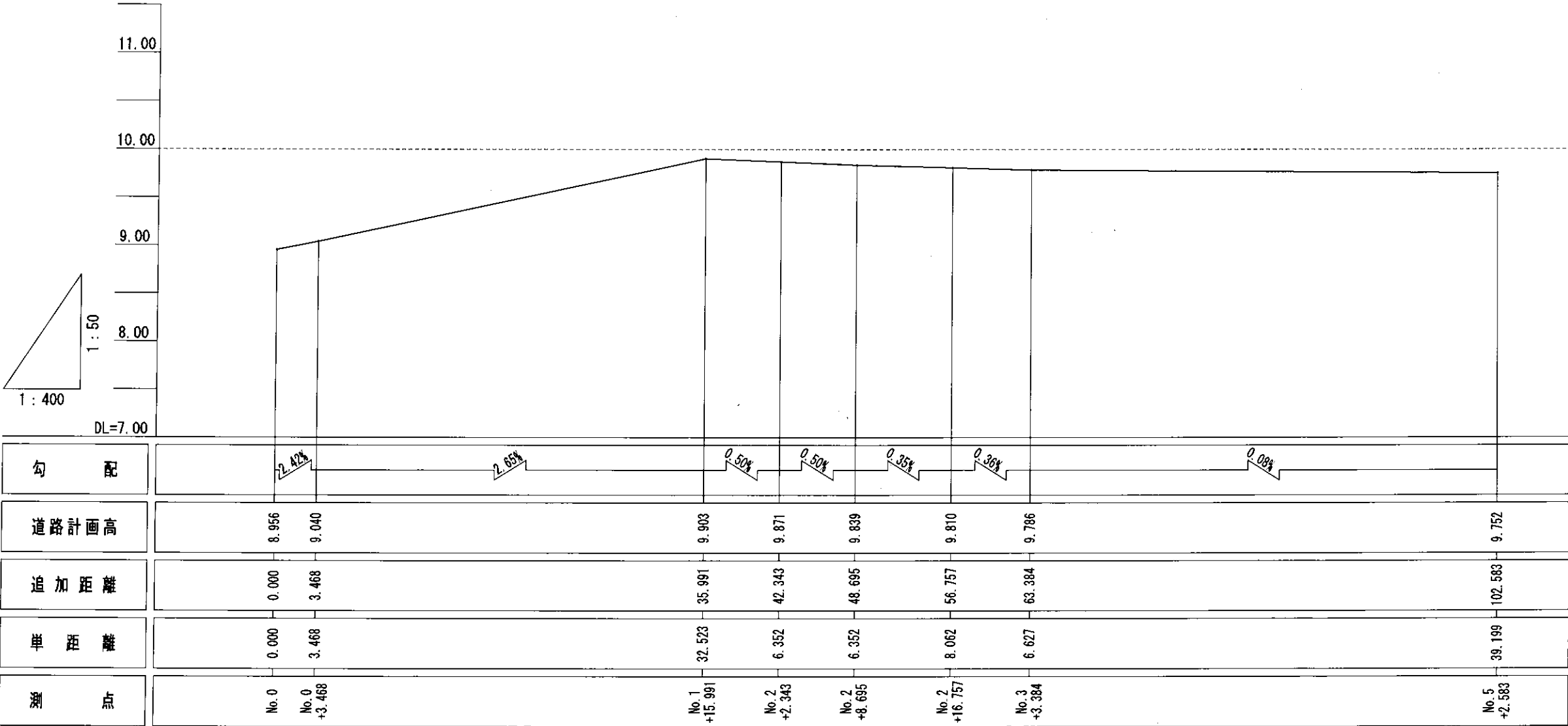
上載荷重	$q=10.0\text{ kN/m}^2$
土の内部摩擦角	$\phi=30^\circ$
土の単位体積重量	$\gamma_s=18.0\text{ kN/m}^3$
底面摩擦係数	$\mu=0.5$
設計水平震度	$k_h=0.25$ (大地震時)
コンクリートの単位体積重量	$\gamma_c=24.0\text{ kN/m}^3$
コンクリートの設計基準強度	$\sigma_{ck}=21.0\text{ N/mm}^2$ 以上
擁壁前面の根入れ高さ	35cm以上かつ擁壁高さの15%以上
フェンス荷重	$H=1.0\text{ kN/m}$
使用鉄筋	SD295A

- 宅地造成等規制法施行令 別表第二・三参照
- 設計水平震度は、見掛けが2m以上の場合に考慮する

- 適用欄に印を付けたものが、本工程使用タイプである
- 許可申請前の土質調査や原位置試験が困難な場合には、施工段階において土質調査・原位置試験を実施し、設計調査を行うこと
- 擁壁支持地盤の支持力が必要地耐力に満たさない場合には、地盤改良もしくは置き換えにより支持力を確保すること
- 水抜管は、VP $\phi 75$ で3m²に1ヶ所以上設置すること
- 伸縮目地の間隔は20m以下とする
- 埋め戻しは、おおむね30cm以下の厚さの層に分けて土を盛り、ローラーその他の建設機械を用いて締め固めること
- 鉄筋のかぶり厚さは、鉛直壁で4cm以上、底版では6cm以上確保すること

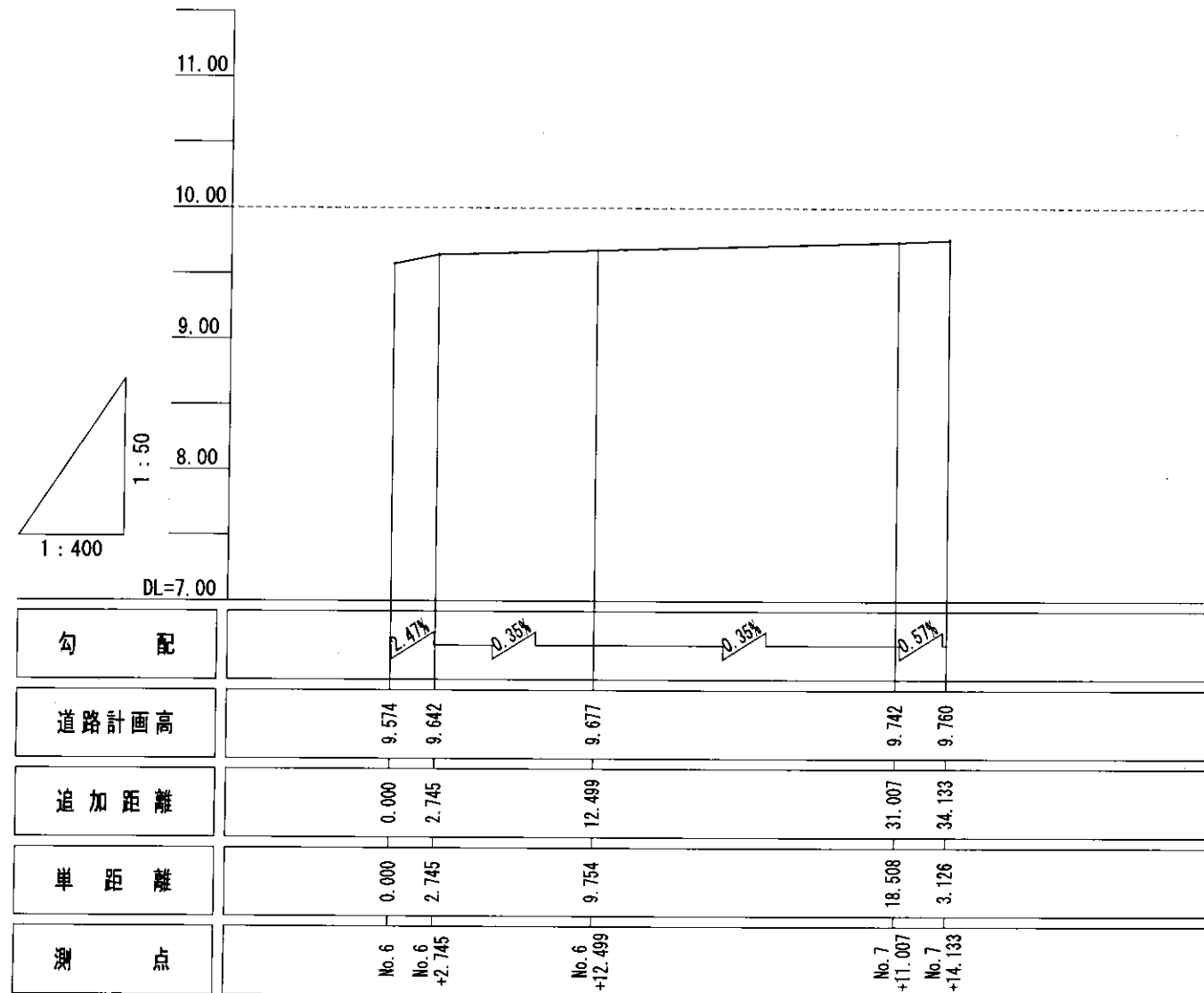
工事名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可				
図面名	現場打L型擁壁構造図H2400 (公園に使用) 上部フェンス設置				
縮尺	A3: 図示	作成日	2024.01.22	図面番号	19-6
図面作成者	調査・企画・開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥				

道路縦断図-1
(道路-1)

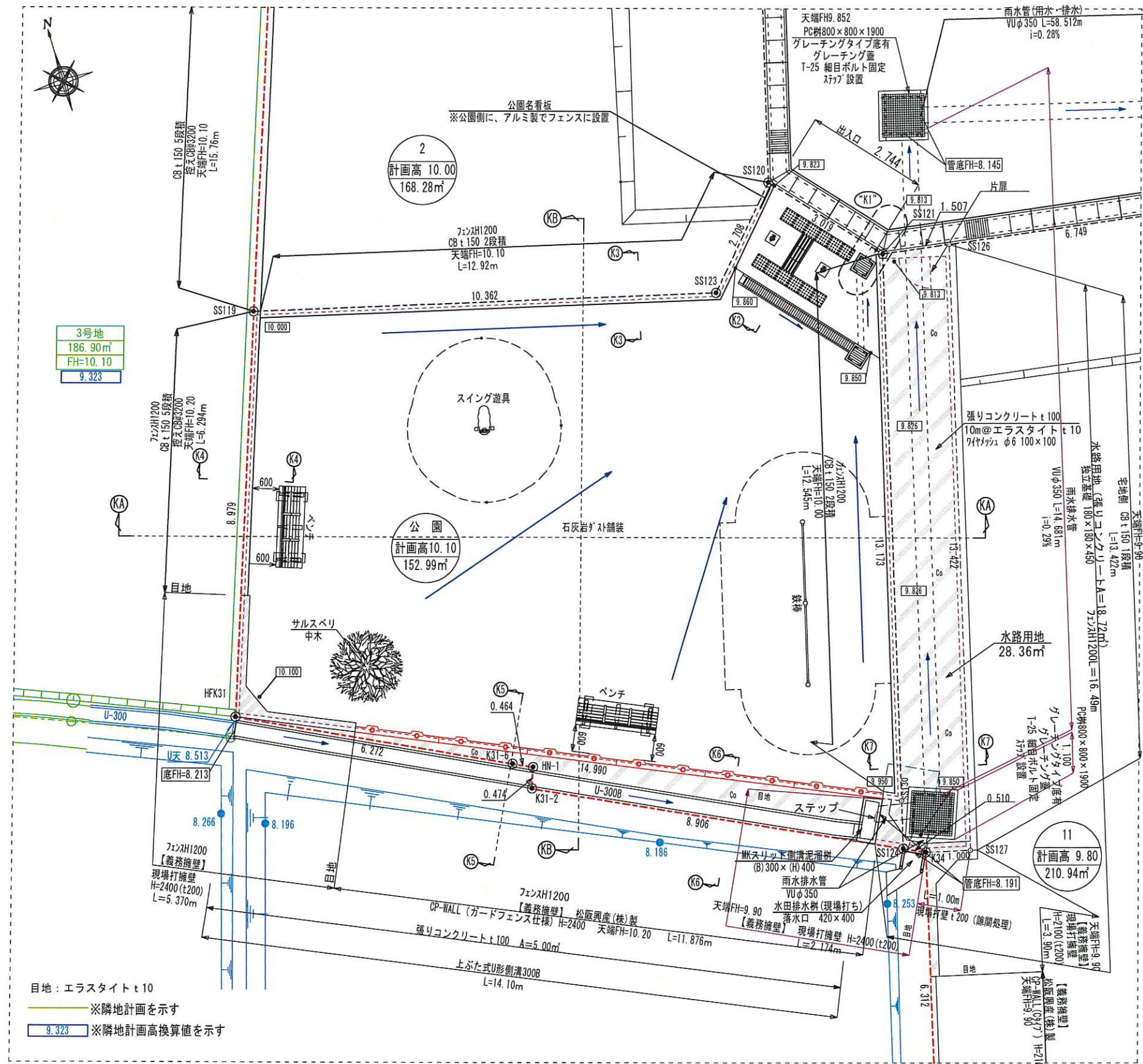


工 事 名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可				
図 面 名	道路縦断図-1				
縮 尺	A3:図示	作成日	2024.01.22	図面番号	20
図面作成者	調査・企画・開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥				

道路縦断図-2
(道路-2)



工事名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可				
図面名	道路縦断図-2				
縮尺	A3:図示	作成日	2024.01.22	図面番号	21
図面作成者	調査・企画・開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥				



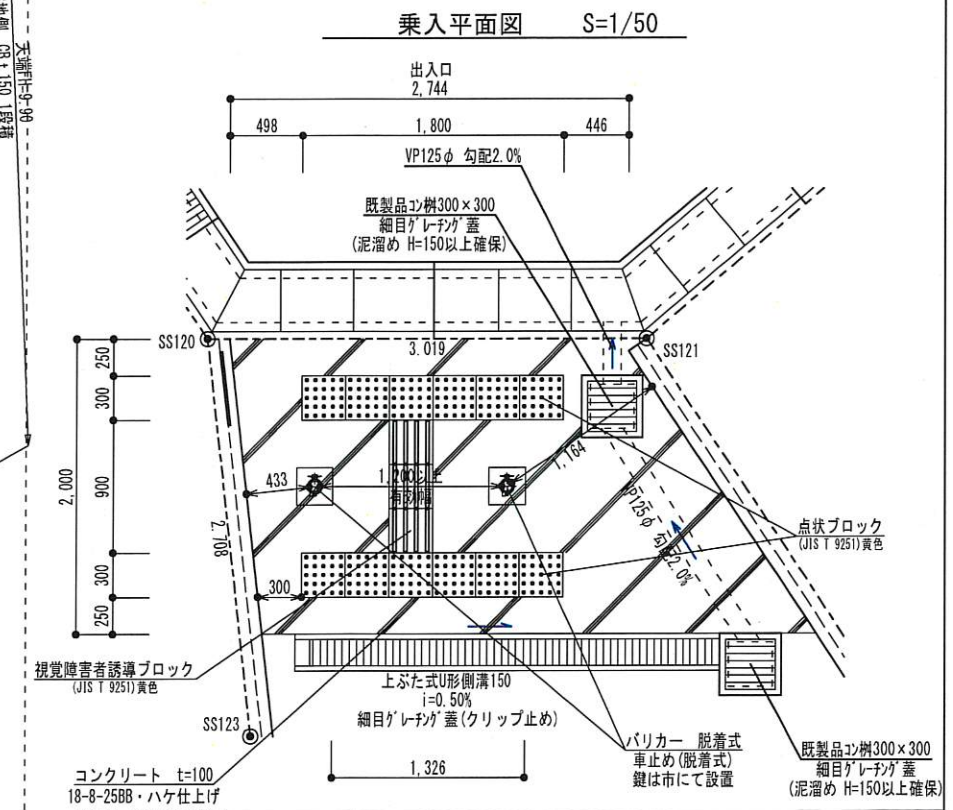
公園内 舗装構成

石灰岩がた舗装

表層安定剤は、塩化カルシウムか塩化マグネシウムとする

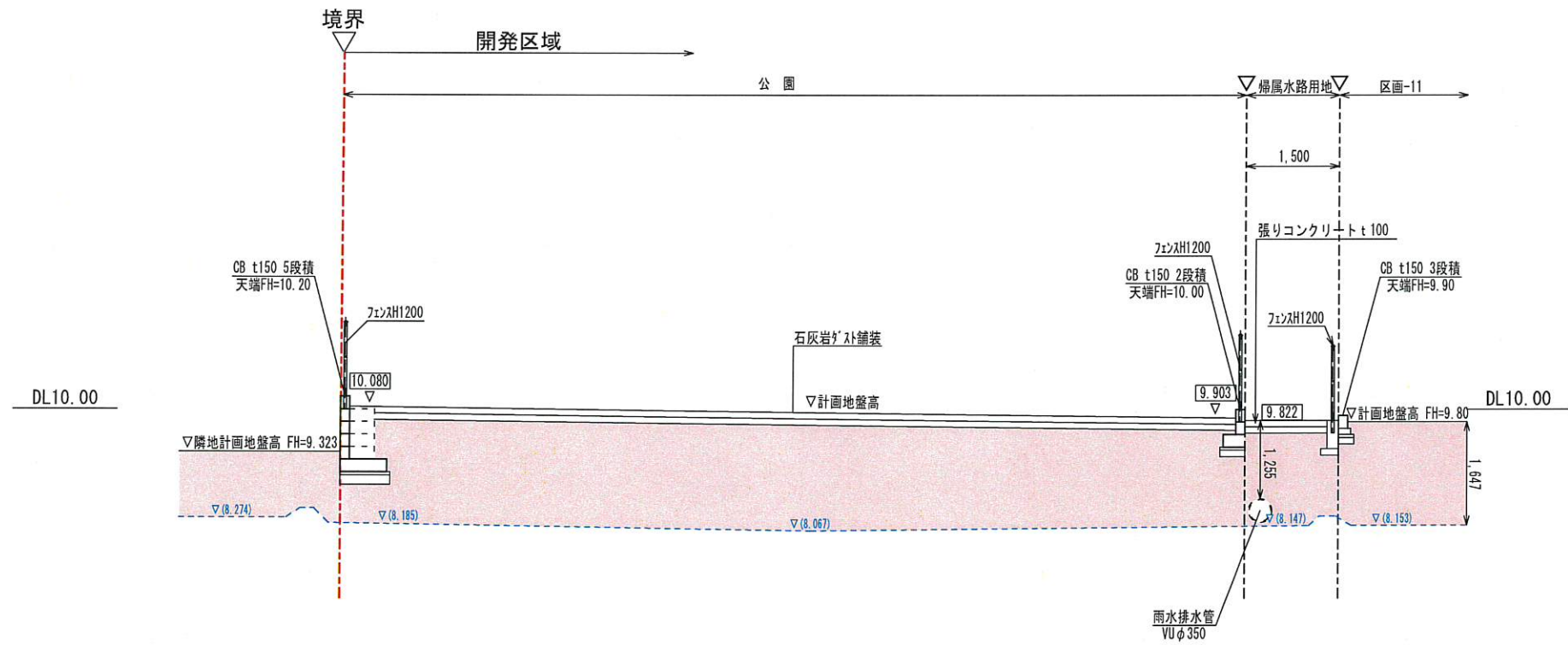
表層安定剤 120・/100m²
石灰岩がた (φ2.5mm以下)
路盤工 再生砕石 RC40-0

※ 軟弱地盤の場合は、路床改良等の検討を行うこと。
※ セメント系固化剤を使用する地盤改良を実施する場合は工事着手前に六価クロム溶出試験を実施し、土壌環境基準を超えない事また、工事完了時に土壌環境基準以下を証明する資料を提出すること。

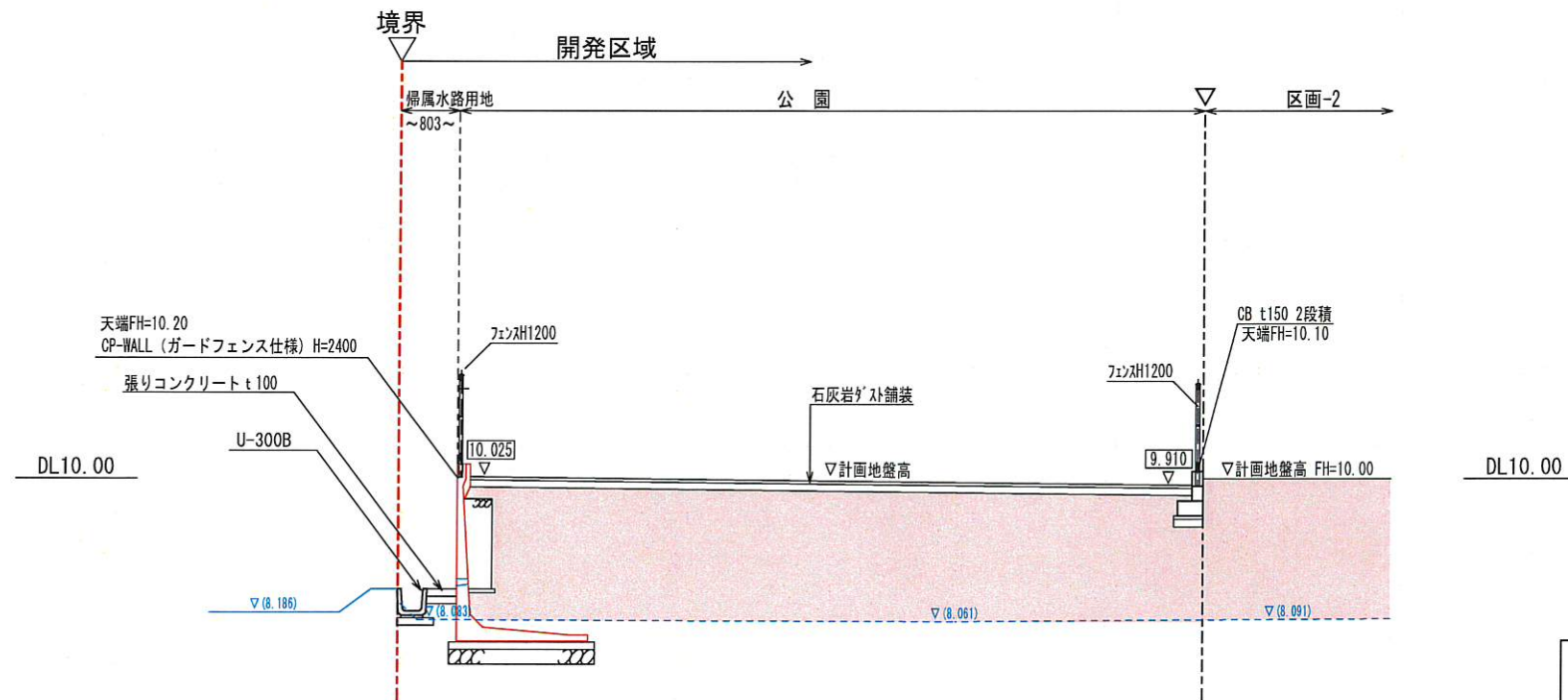


工事名	株式会社まごころ住宅御中 東五垣宅地分譲開発許可			
図面名	公園平面詳細図・水路用地平面詳細図			
縮尺	A3: 図示	作成日	2024.01.27	図面番号
図面作成者	調査・企画・開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥			

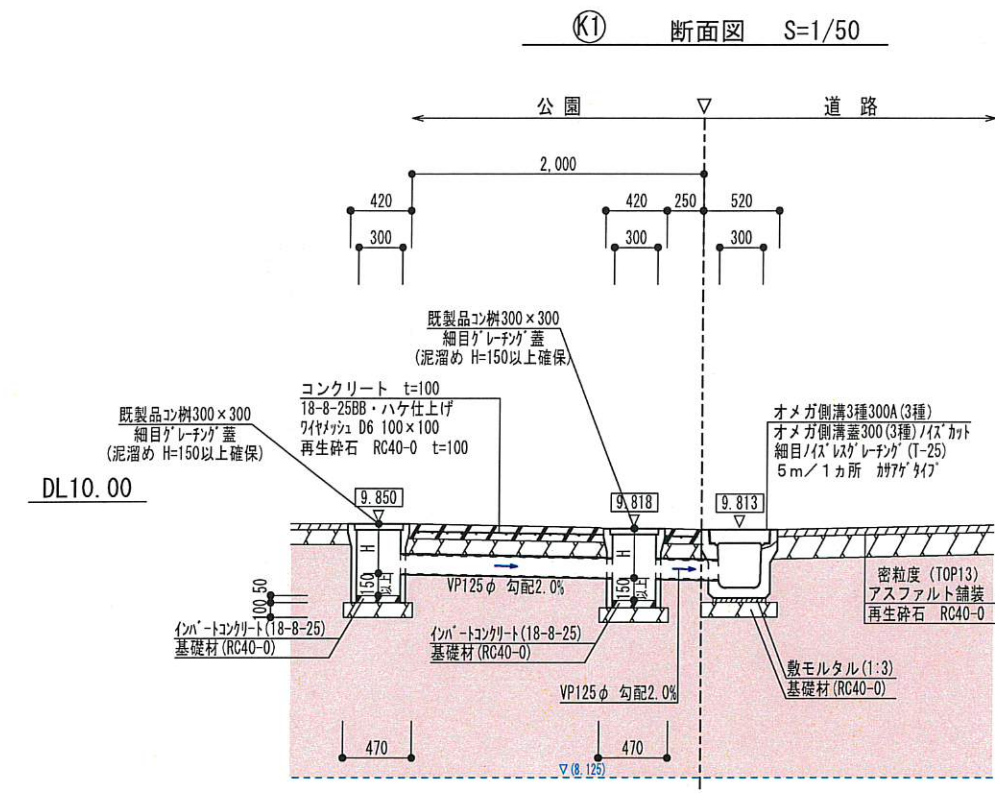
KA — KA 断面図 S=1/100



KB — KB 断面図 S=1/100



工事名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可				
図面名	公園断面図				
縮尺	A3: 図示	作成日	2024. 01. 27	図面番号	23
図面作成者	調査: 企画. 開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥				



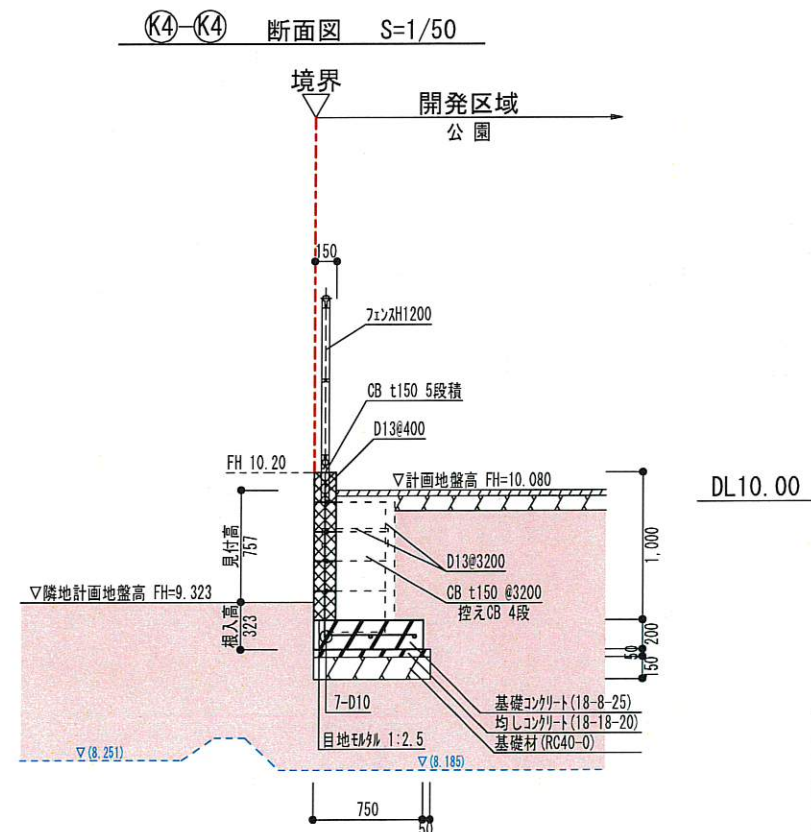
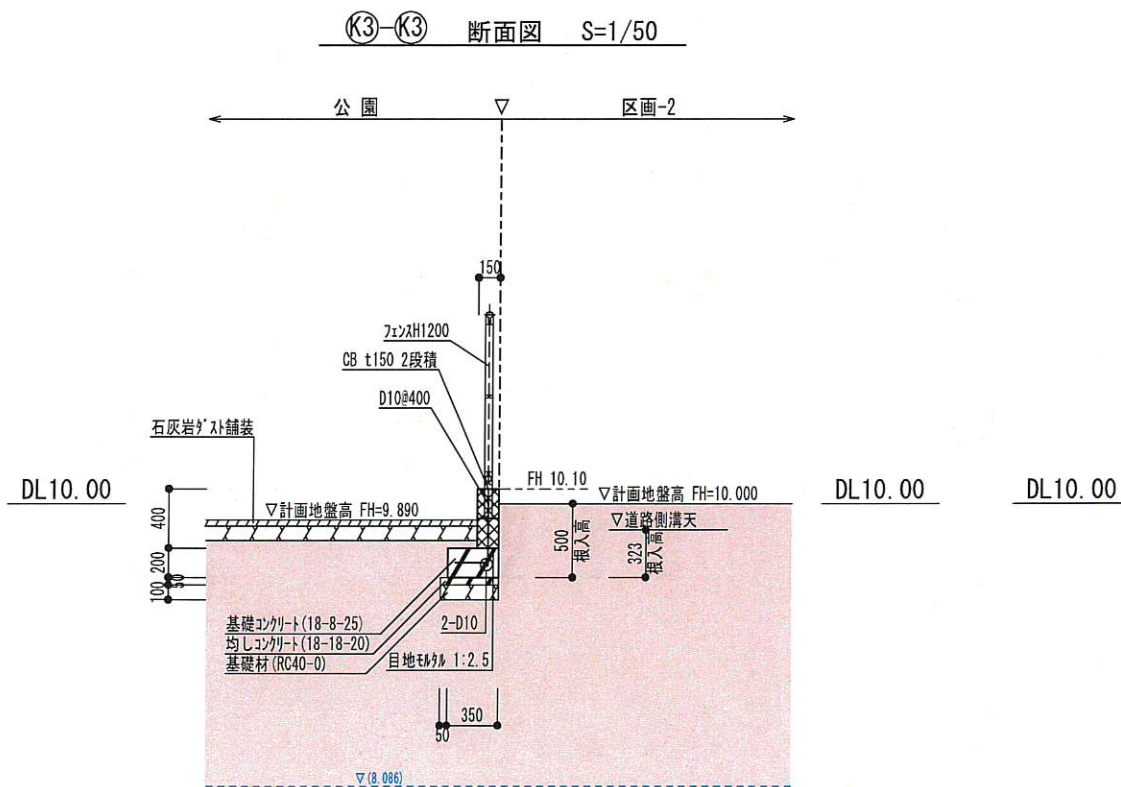
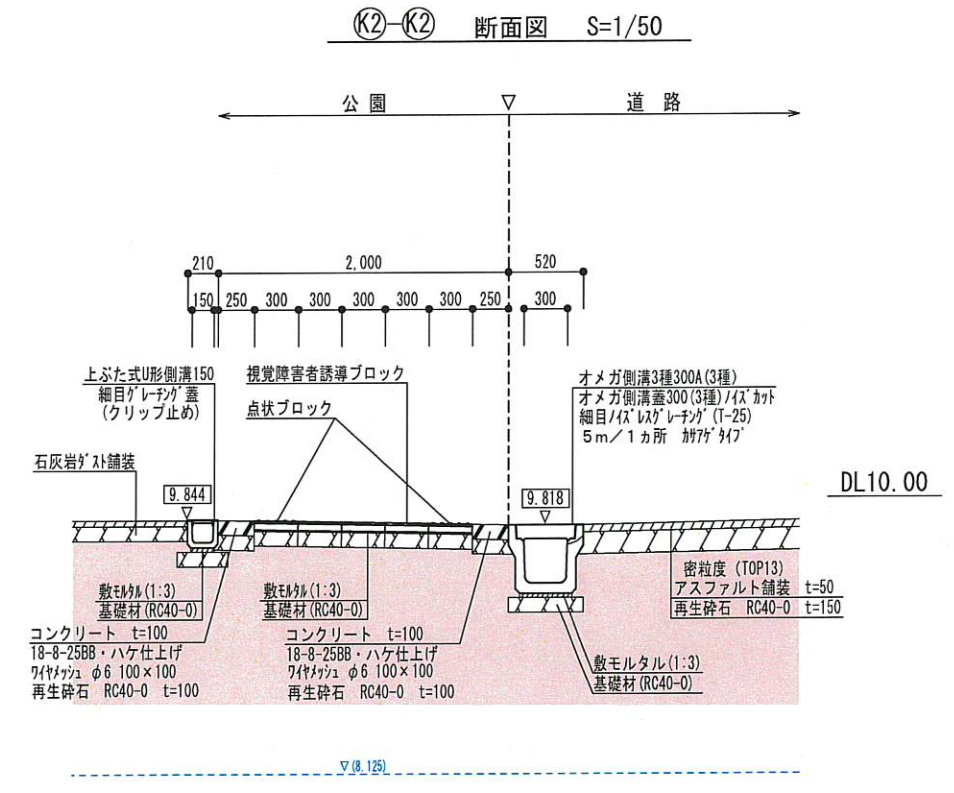
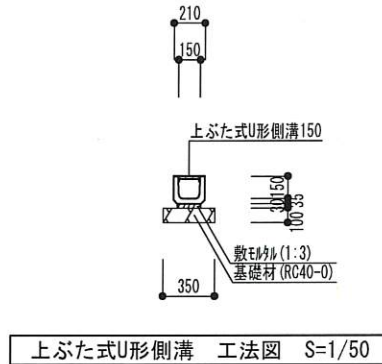
地域ブロック 降雨強度
鈴鹿 114.4 mm/h

1/360×0.9×114.4×0.0153
=0.0044 m³/s

流下能力計算式

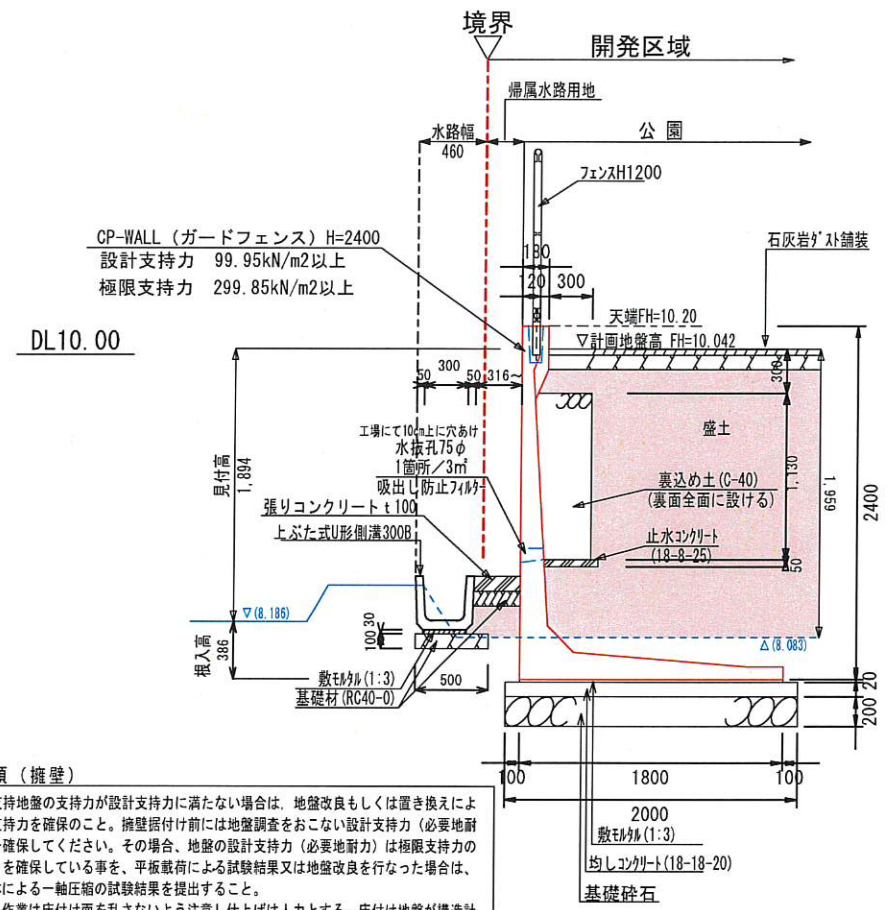
$A = r \times r \times \pi = 0.012$
 $P = D \times \pi = 0.393$
 $R = A / P = 0.031$

$V = 1 / 0.010 \times 0.031^{2/3} \times 0.02^{1/2} = 1.396 \text{ m/s}$
 $Q = 0.012 \times 1.396 = 0.017 \text{ m³/s} \therefore \text{OK}$



工事名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可			
図面名	公園断面詳細図-1			
縮尺	A3 : 図示	作成日	2024.01.27	図面番号 24
図面作成者	調査・企画・開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥			

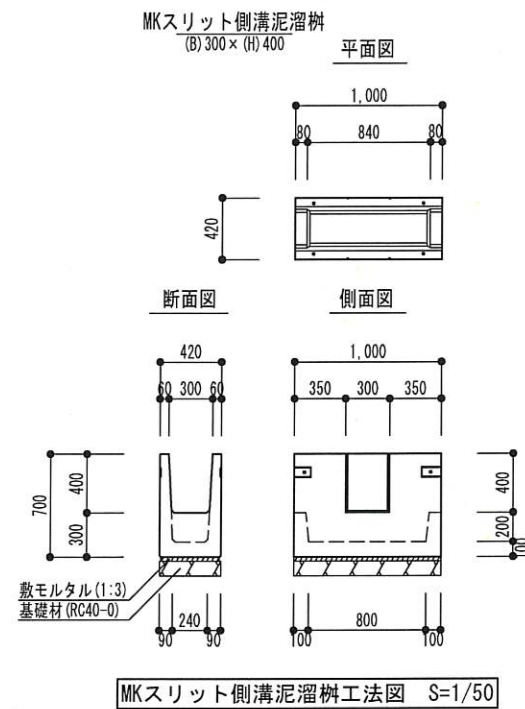
(K5)-(K5) 断面図 S=1/50



特記事項（擁壁）

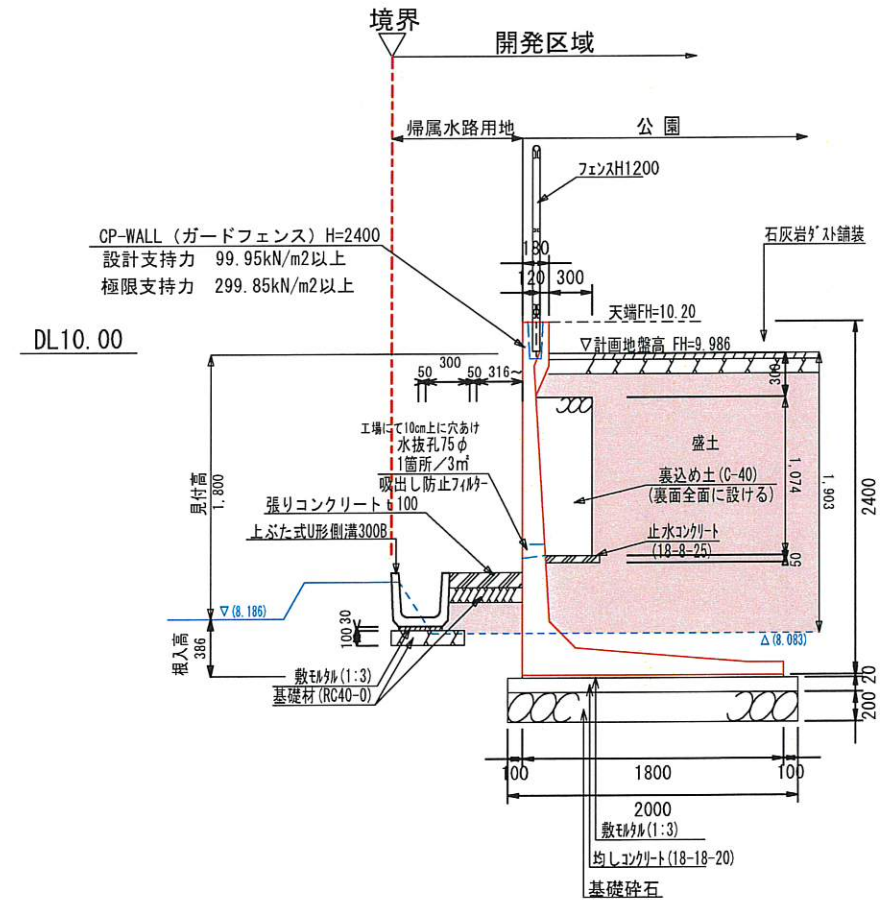
1. 擁壁支持地盤の支持力が設計支持力に満たない場合は、地盤改良もしくは置き換えにより、支持力を確保のこと。擁壁据付け前には地盤調査をおこない設計支持力（必要地耐力）を確保してください。その場合、地盤の設計支持力（必要地耐力）は極限支持力の1/3を確保している事を、平板載荷による試験結果又は地盤改良を行なった場合は、供試体による一軸圧縮の試験結果を提出すること。

2. 根切り作業は床付け面を乱さないよう注意し仕上げは人力とする。床付け地盤が構造計算書に示された地層、地盤で合致している事を目視にて確認を行い、確認が困難な場合は土質試験や原位置試験等の適切な試験を行うこと。



MKスリット側溝泥溜樹工法図 S=1/50

(K6)-(K6) 断面図 S=1/50

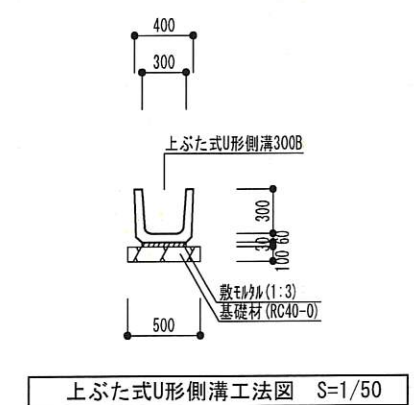
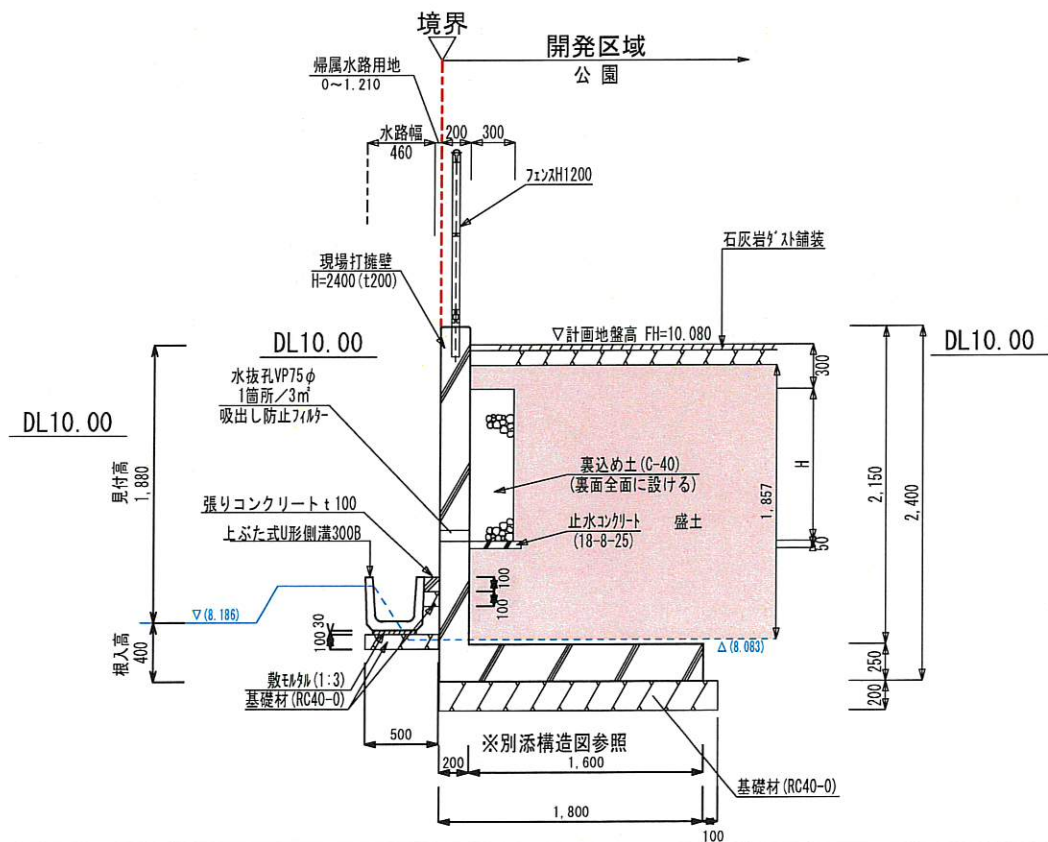


特記事項（擁壁）

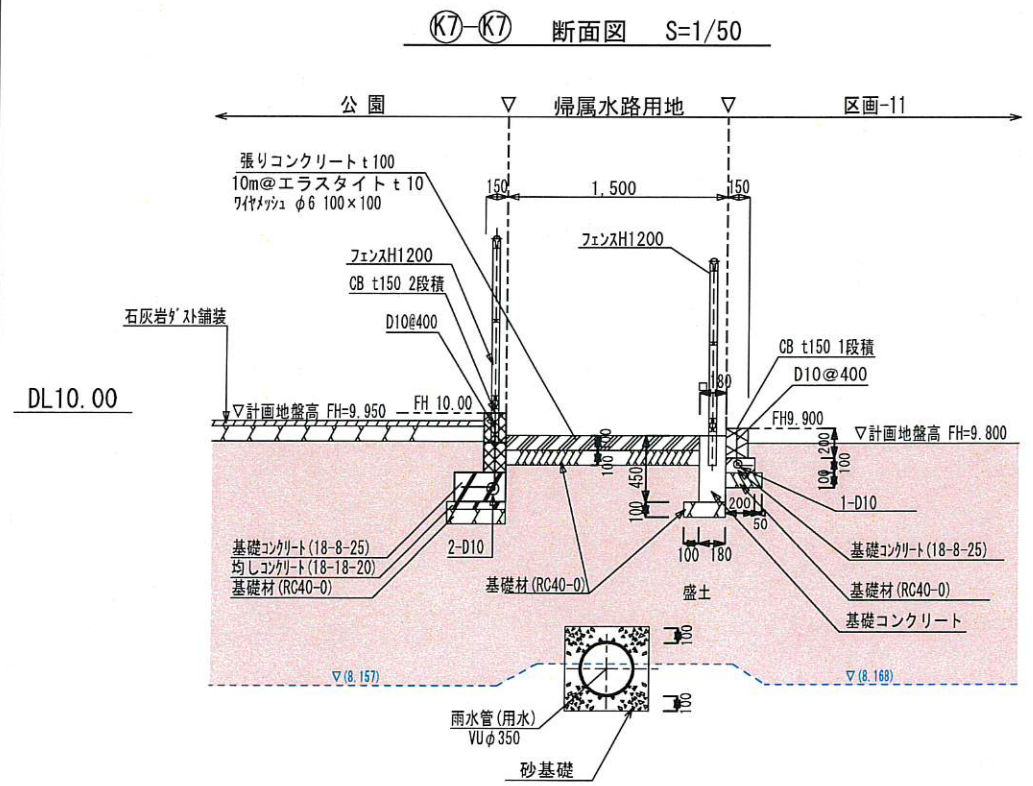
1. 擁壁支持地盤の支持力が設計支持力に満たない場合は、地盤改良もしくは置き換えにより、支持力を確保のこと。擁壁据付け前には地盤調査をおこない設計支持力（必要地耐力）を確保してください。その場合、地盤の設計支持力（必要地耐力）は極限支持力の1/3を確保している事を、平板載荷による試験結果又は地盤改良を行なった場合は、供試体による一軸圧縮の試験結果を提出すること。

2. 根切り作業は床付け面を乱さないよう注意し仕上げは人力とする。床付け地盤が構造計算書に示された地層、地盤で合致している事を目視にて確認を行い、確認が困難な場合は土質試験や原位置試験等の適切な試験を行うこと。

(K5)-(K5) 付近（コーナー擁壁）断面図 S=1/50

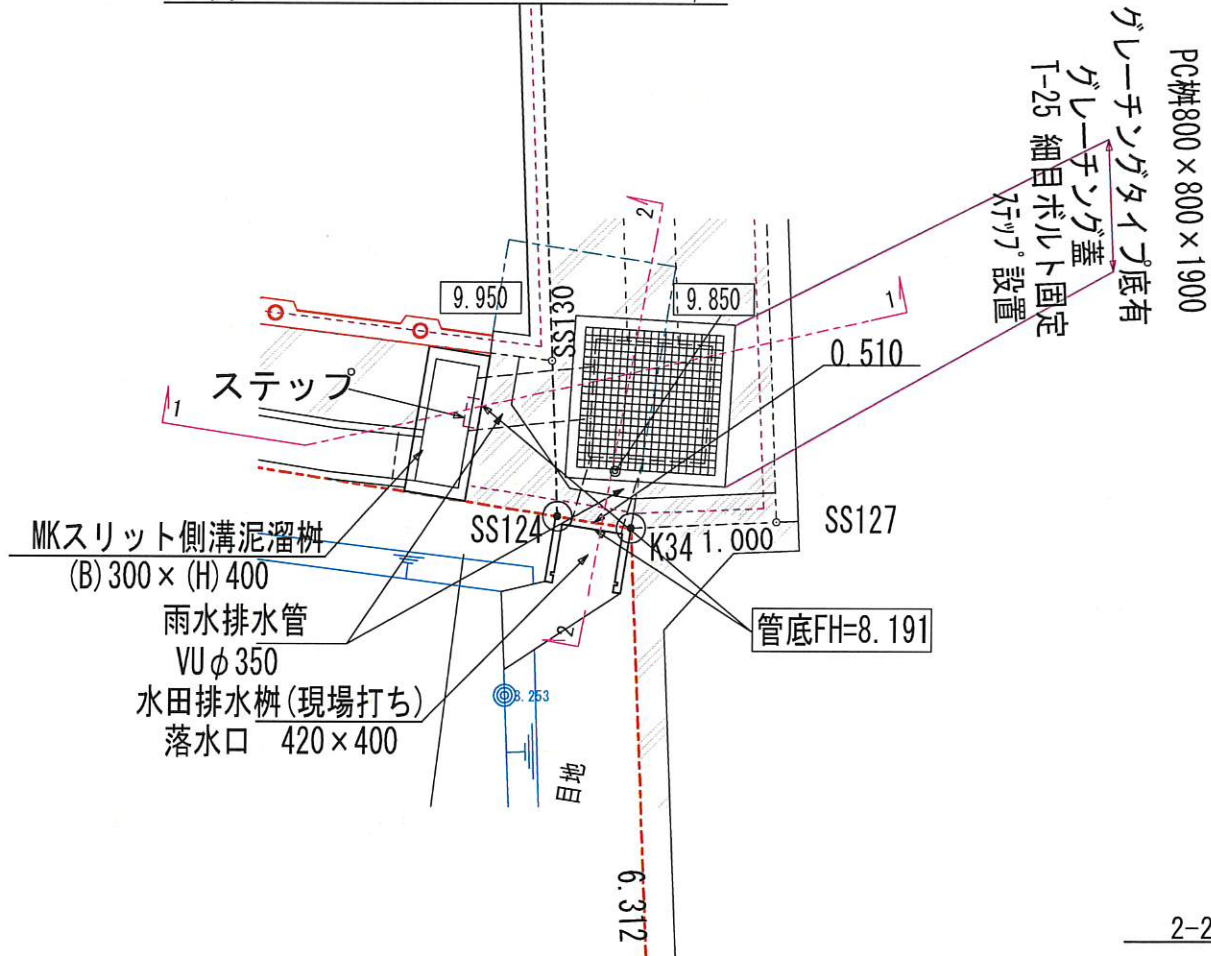


上ぶた式U形側溝工法図 S=1/50

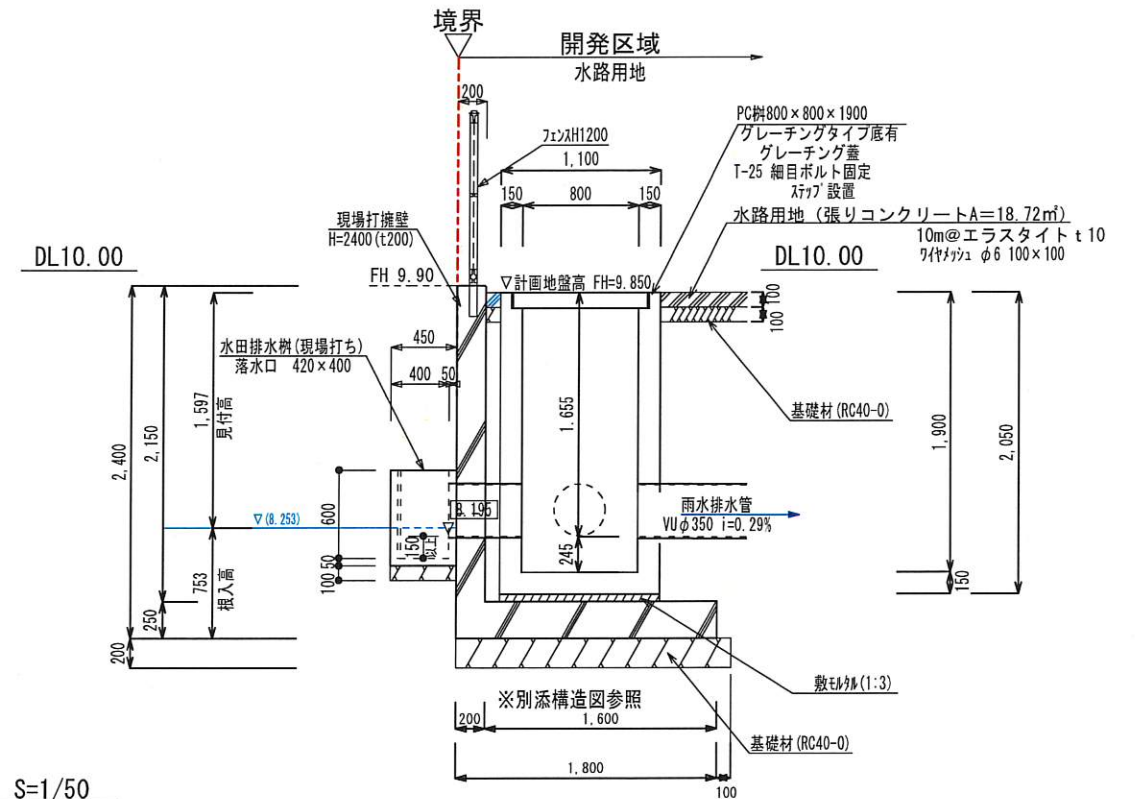


工事名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可			
図面名	公園断面詳細図-2・水路用地断面-1			
縮尺	A3：図示	作成日	2024.01.27	図面番号
図面作成者	調査・企画・開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥			

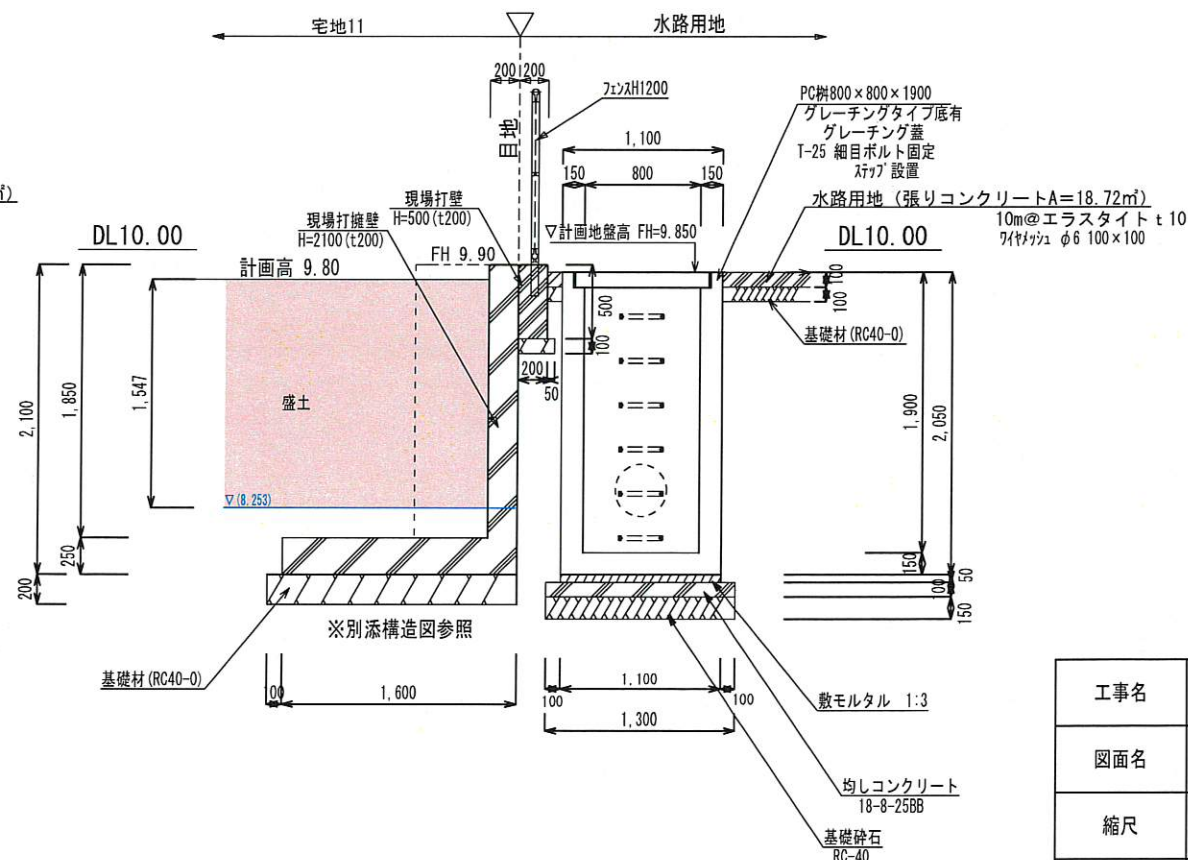
PC桝800×800×1900 平面図 S=1/50



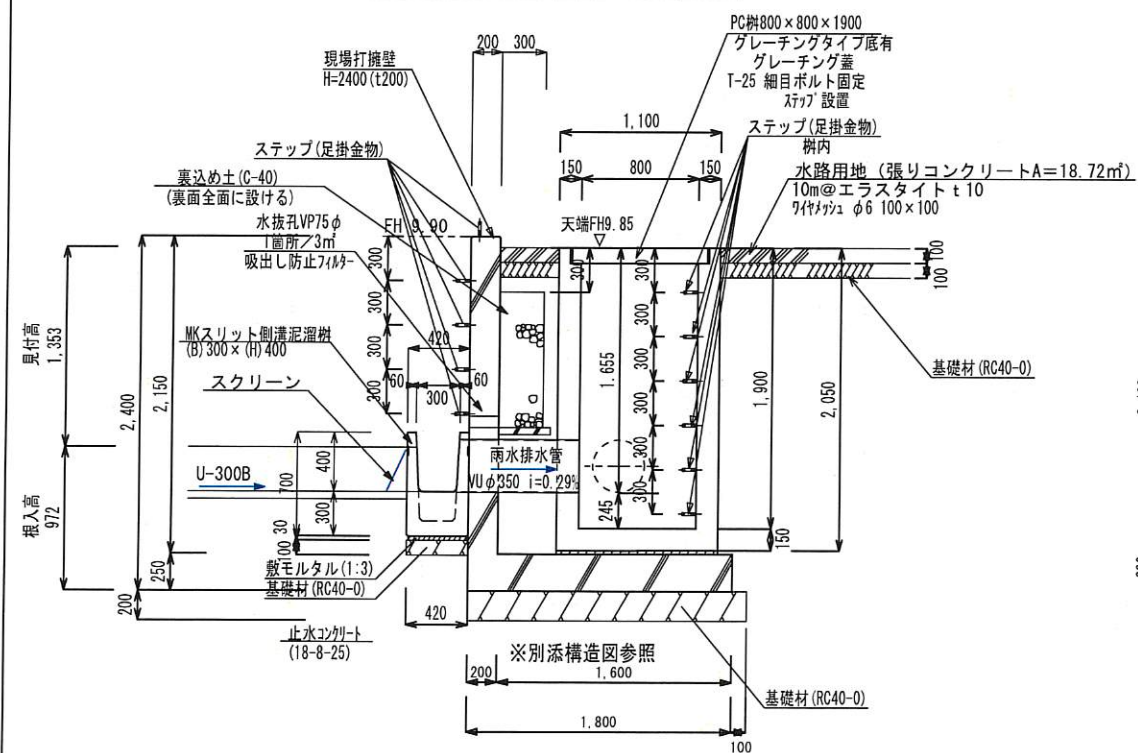
2-2 西断面図 S=1/50



2-2 東断面図 S=1/50

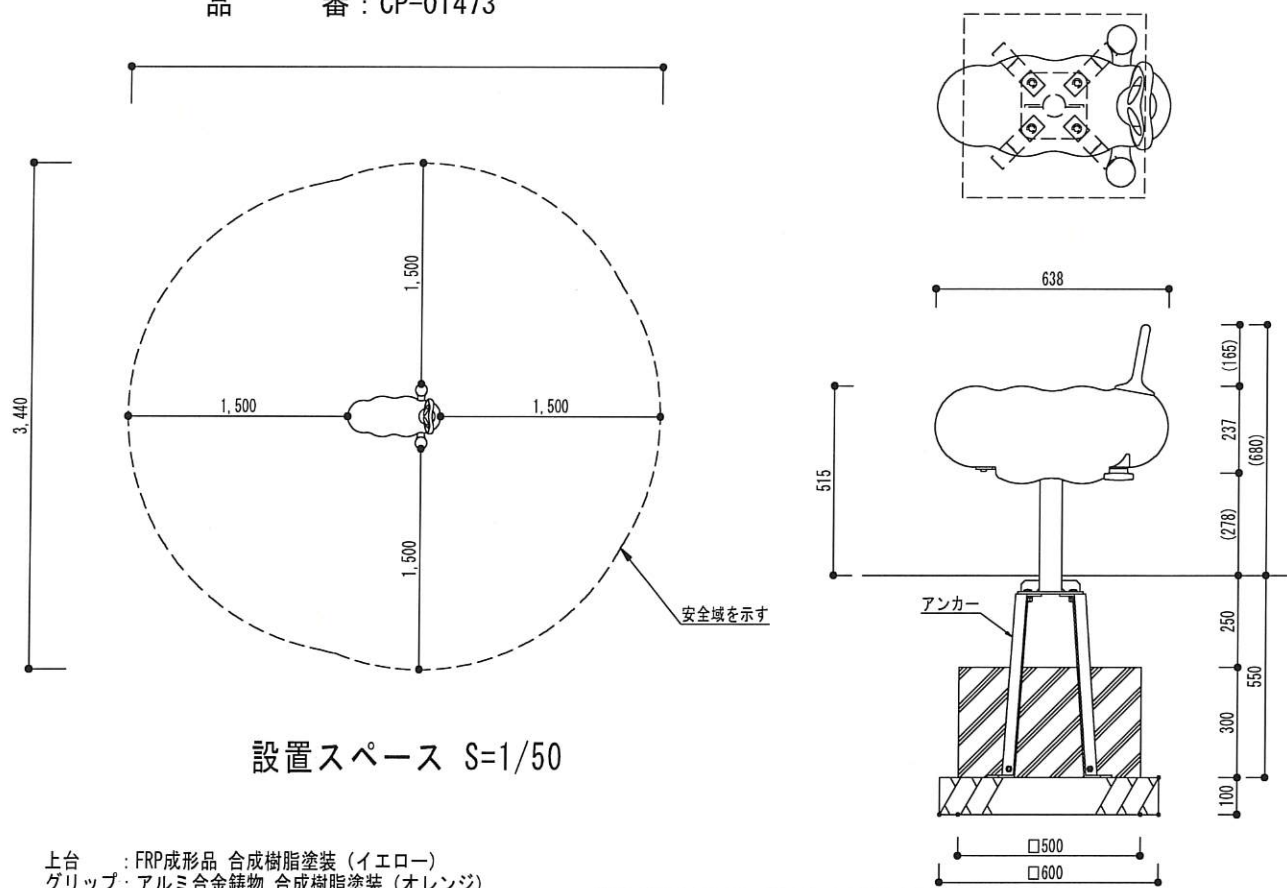


1-1 断面図 S=1/50



工事名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可			
図面名	PC桝800×800×1900(起点部) 平面図と断面図			
縮尺	A3:図示	作成日	2024.01.27	図面番号 25-1
図面作成者	調査・企画・開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥			

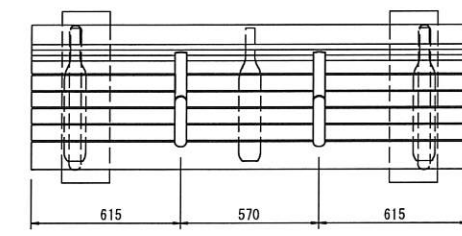
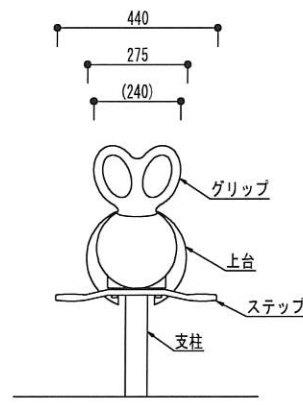
メーカー名：株式会社コトブキ
品名：ハニー（スイング遊具）
品番：CP-01473



上台：FRP成形品 合成樹脂塗装（イエロー）
グリップ：アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装（オレンジ）
ステップ：アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装（オレンジ）
支柱：φ60.5x3.8鋼管
溶融亜鉛メッキ 合成樹脂塗装（ライトグレー）
機構部：マルチリンク機構（ストッパーゴム付）
アンカー：t6X44 平鋼 溶融亜鉛メッキ
質量：23kg

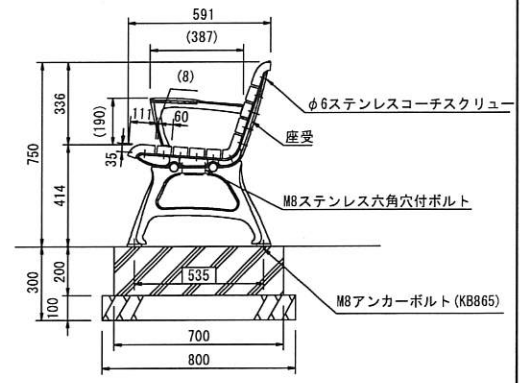
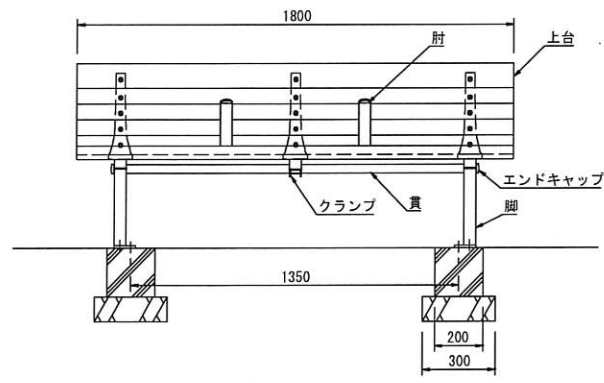
設置上の注意
・本製品の専用スペースとしての安全域を確保すること。
・落下等による危険を最少にするために安全域内の設置面には適切な衝撃吸収性を有する材料を敷設すること。
・基礎上面は図のように必ず地面から下げて施工すること。
・本製品はおおむね3才～8才を対象にデザインされています。
・本製品はJFPA-SP-S:2014に準拠した製品です。
・本製品は（一社）日本公園施設業協会の団体加入する公園施設団体賠償責任保険制度を適用します。

外観図 S=1/20



上台：再生木材 REKWOOD2（チャコール）
座受：アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装（アースグレー）
肘：φ34アルミ押出型材 アルマイト仕上（ブラック）
樹脂エンドキャップ付（ブラック）
クランプ：アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装（アースグレー）
肘：アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装（アースグレー）
AES樹脂（チャコール）
脚：アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装（アースグレー）
床固定金具付
質量：80kg

※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品です。
※（一社）日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品です。
※（一社）日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品です。



工事名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可			
図面名	公園施設構造図-2			
縮尺	A3：図示	作成日	2024.01.23	図面番号 27
図面作成者	調査・企画・開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥			

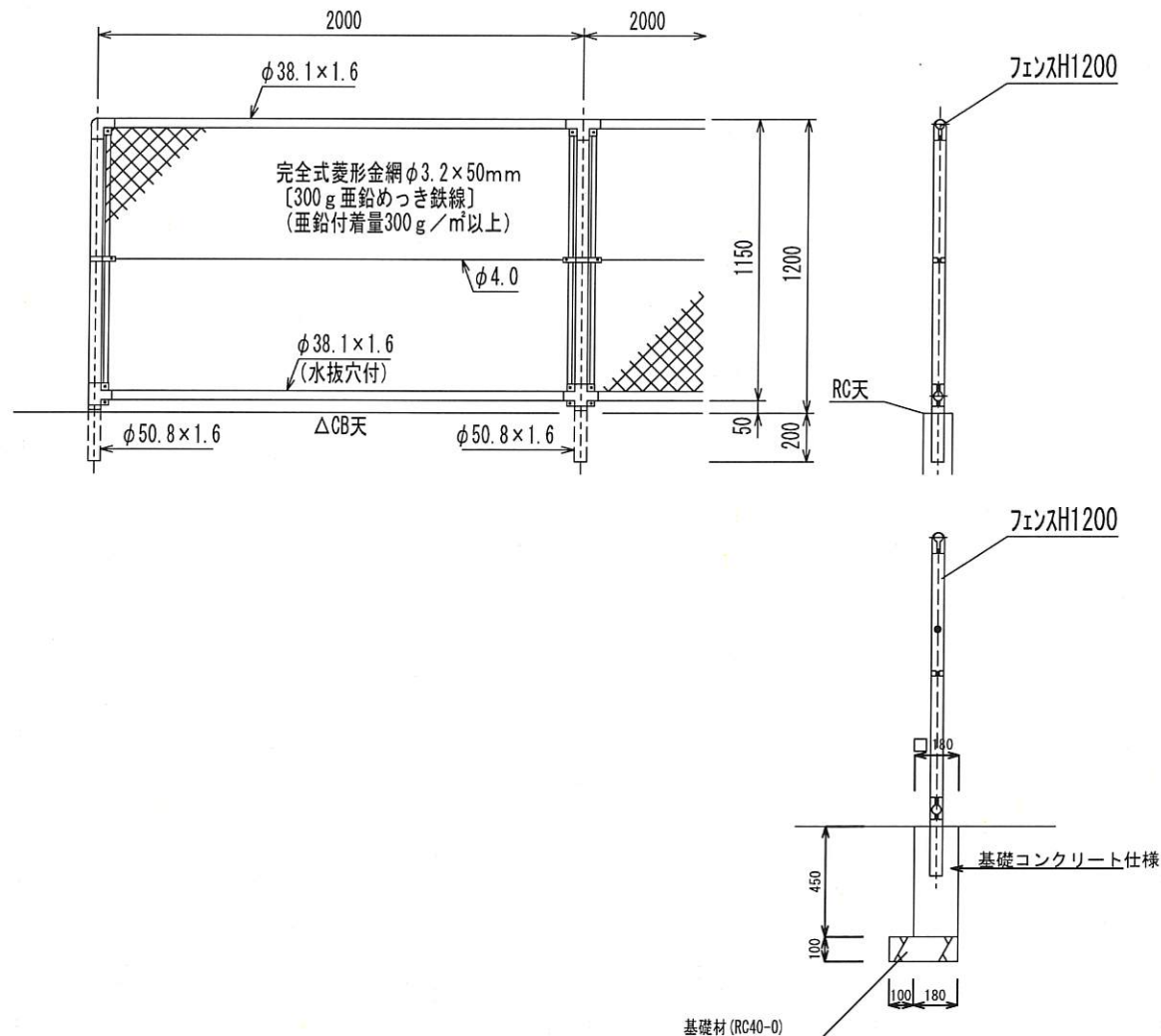
メーカー名：朝日スチール工業株式会社

品名：PCフェンス

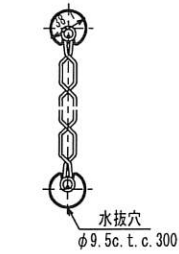
品番：PC-A1200

〔建築基準法・同施行令（平成12年6月）に基づく風圧力に依る〕
基準風速34m/sec 地表面粗度区分Ⅲ GL+0m

外観図 S=1:30

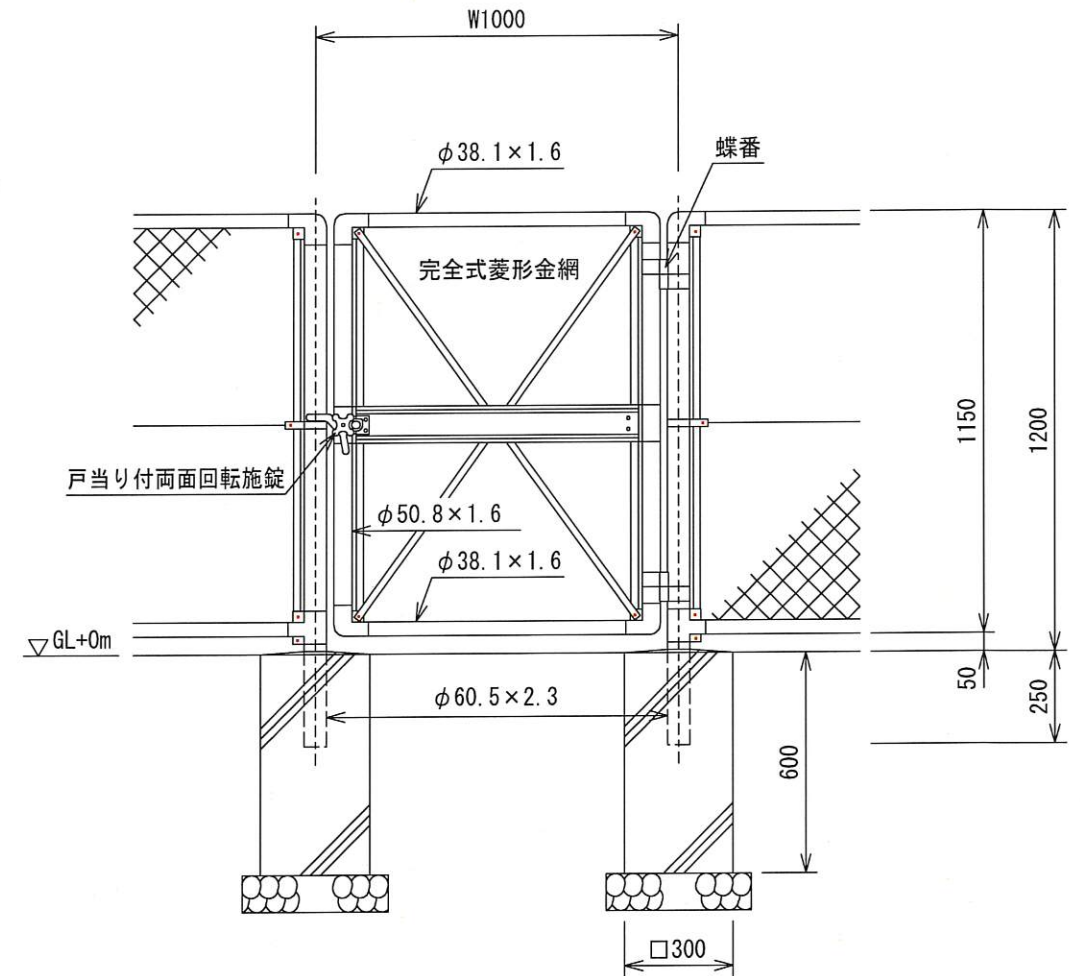


胴縁に金網取付断面図 S=1:7.5



設計条件
設計荷重・・・建築基準法・同施行令（平成12年6月）に基づく風圧力に依る。
基準風速・・・34m/sec
地表面粗度区分・・・Ⅲ
基礎条件・・・長期許容地耐力 100kN/m²
備考
1. 外装は金網類を除く他は溶融亜鉛めっきとする。

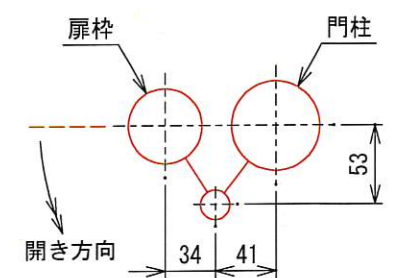
PC片開き門扉
H1200×W1000 S=1:20
(昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 GL+0m に依る)



設計条件
設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
基礎条件・・・長期許容地耐力 98kN/m² (10t/m²)
備考
1. 外装は金網類を除く他は溶融亜鉛めっきとする。
2. 本図門扉は片側180°開きとする。

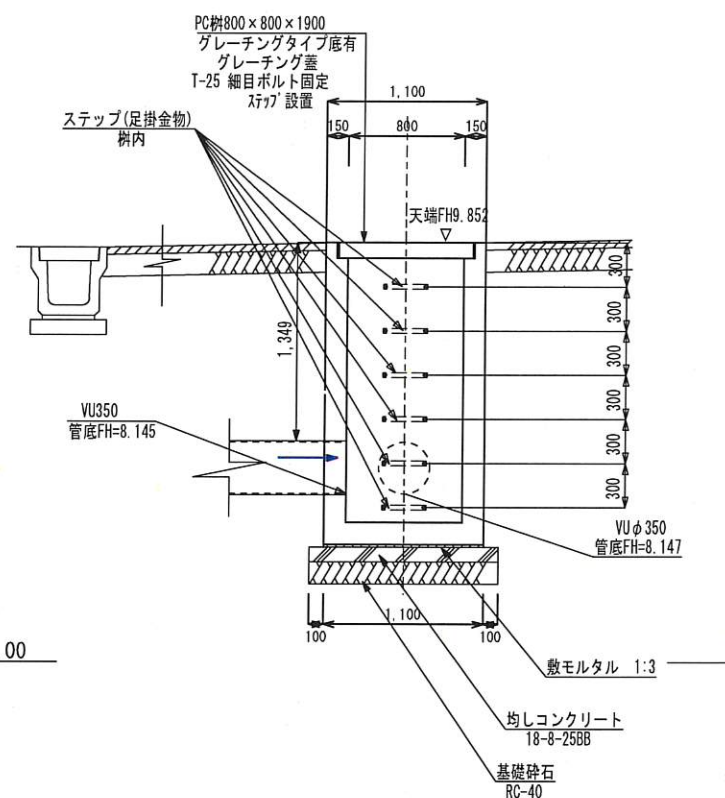
⚠ 注意
・施錠門柱の扉開き側に障害物（兼用フェンス、壁など）を有する場合には、両面回転施錠の戸当りが障害物と干渉するため、開き方向の変更が必要です。

門柱・扉枠位置関係図

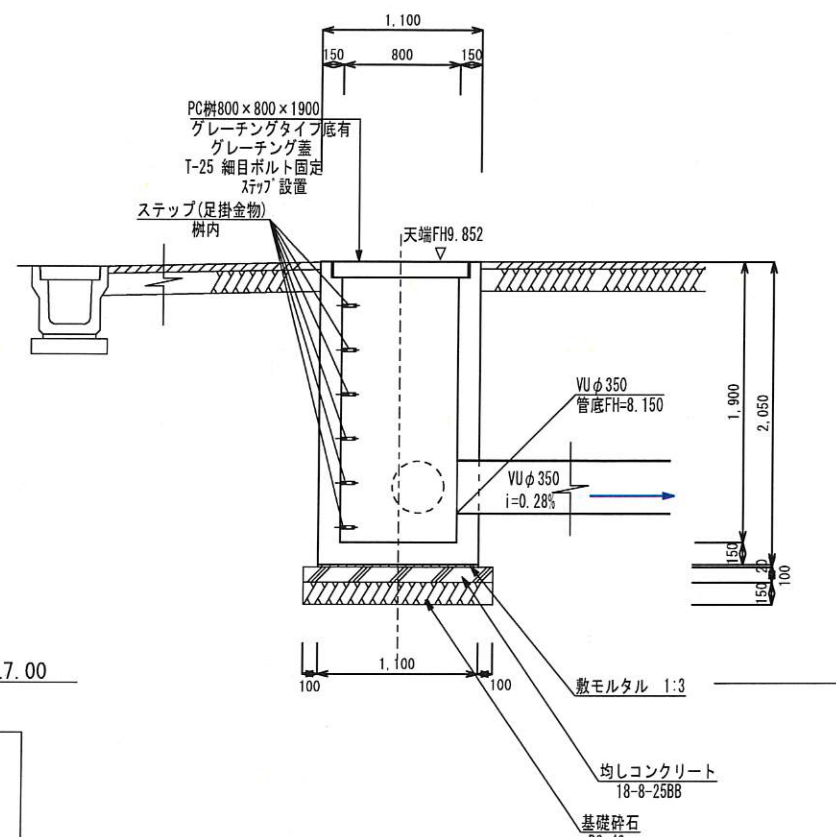


工事名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可			
図面名	水路用地PCフェンスH=1200および扉			
縮尺	A3:図示	作成日	2024.01.27	図面番号
図面作成者	調査・企画・開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥			

PC桝800×800×1900 1-1 S=1/50



PC桝800×800×1900 2-2 S=1/50

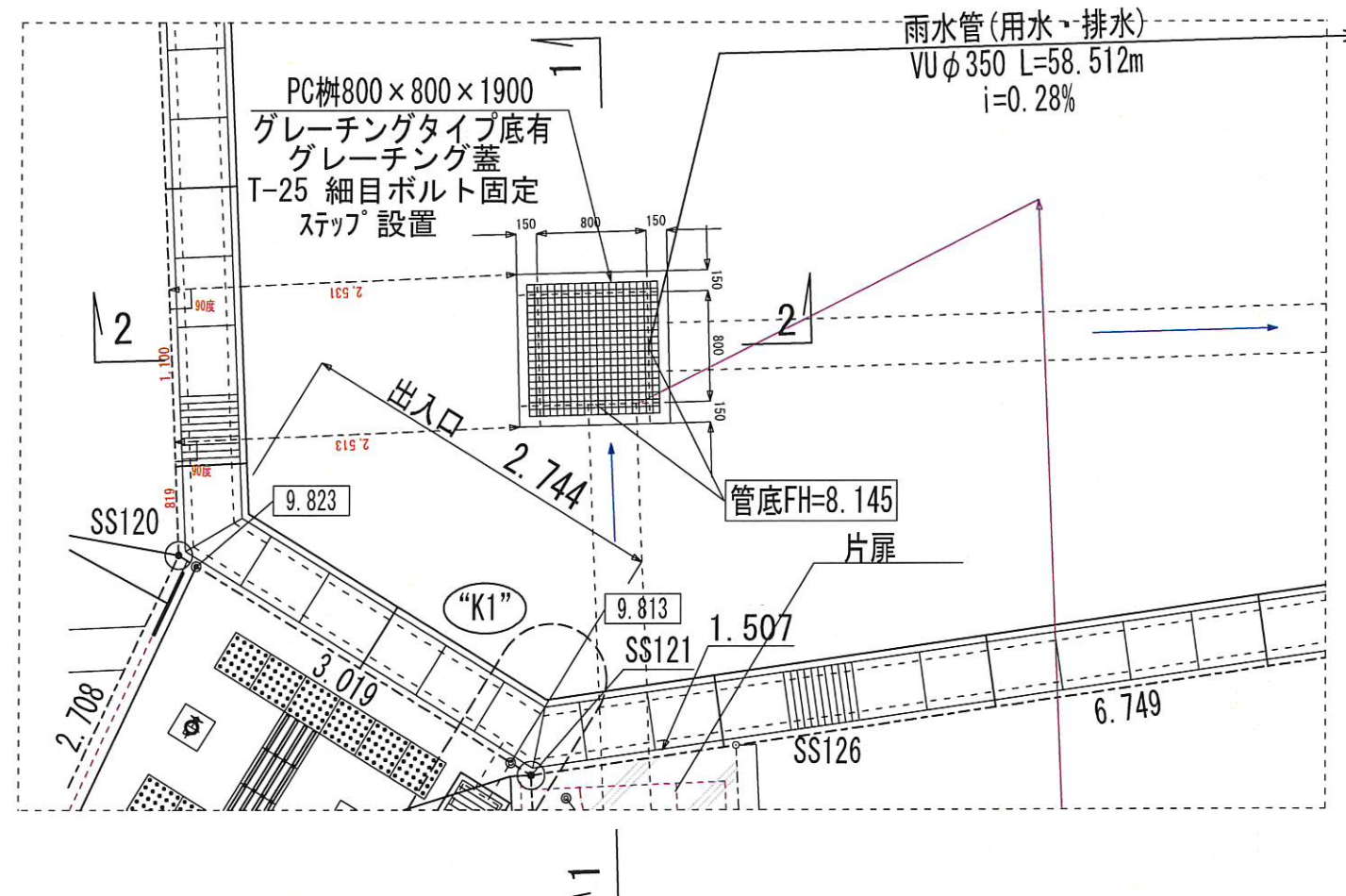


凡例
 開発区域
 青字 現況高さを示す
 青線は現況を示す
 FH 計画高を示す

共通特記事項

1. 盛土工事については30cm以下毎にローラー等の建設機械で締め固めるとともに、必要に応じて地滑り抑止杭の設置等措置を講じてください。工事完了時に施工状況の判る工事写真を提出してください。

PC桝800×800×1900 平面図 S=1/50



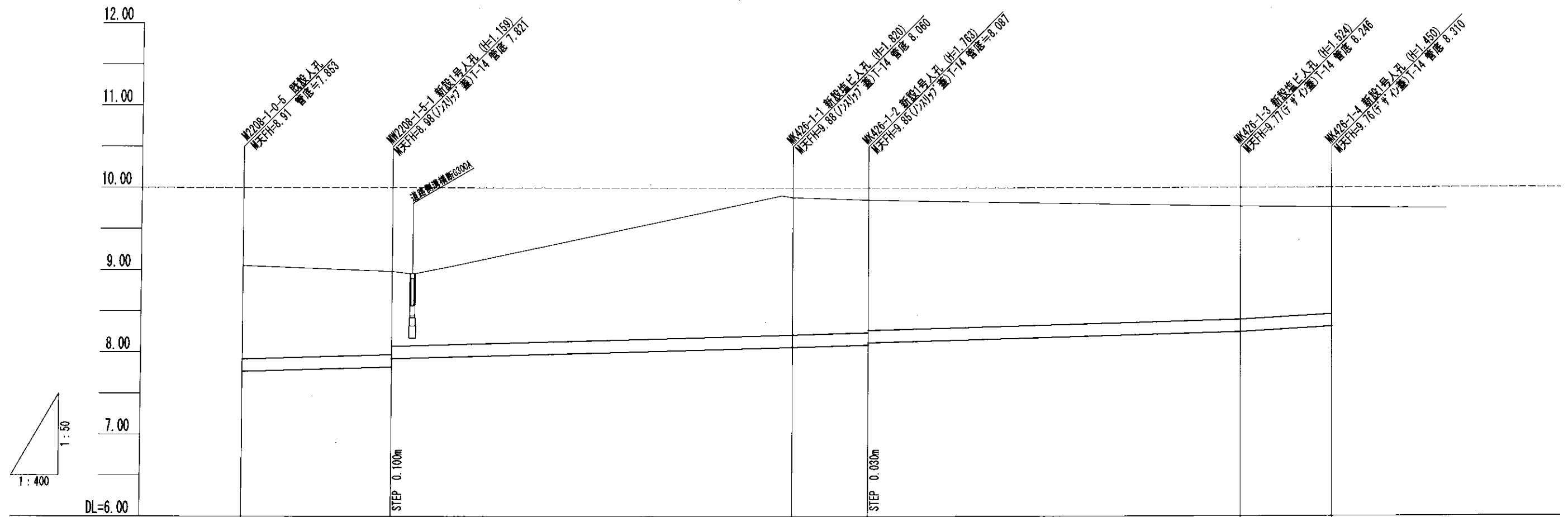
凡例

盛土
 切土

工事名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可				
図面名	PC桝800×800×1900合流平面図および断面図1-1、2-2				
縮尺	A3: 図示	作成日	2024. 01. 27	図面番号	28
図面作成者	調査・企画・開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥				

下水縦断図

S=1/50
S=1/400



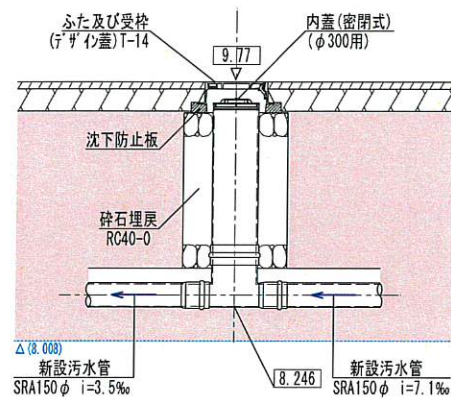
路線番号	K426-1					
管種管径	K1 150		K1 150		VU管φ150	
勾配	i=3.7%		i=3.5%		i=3.6%	
区間延長	L=14.619m		L=39.390m		L=7.457m	
土被り	1.13	1.00	0.90	1.66	1.61	1.58
管底高	7.766	7.821	7.921	8.060	8.087	8.117
地盤高	9.05	8.98		9.88	9.85	
追加距離	0.000	0.000		39.390	46.847	
単距離	0.000	14.619		39.390	7.457	
測点名	既設 M2208-1-0-5	MW2208-1-5-1		MW426-1-1	MW426-1-2	

※ 下水道工務課台帳による高さ

工事名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可				
図面名	下水縦断図				
縮尺	A3:図示	作成日	2024.01.22	図面番号	29
図面作成者	調査・企画・開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥				

新設人孔接続構造図
MK426-1-3 S=1/50
塩ビマンホール
柵蓋は下流側にむけて開く

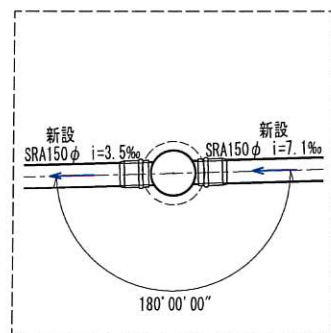
DL10.00



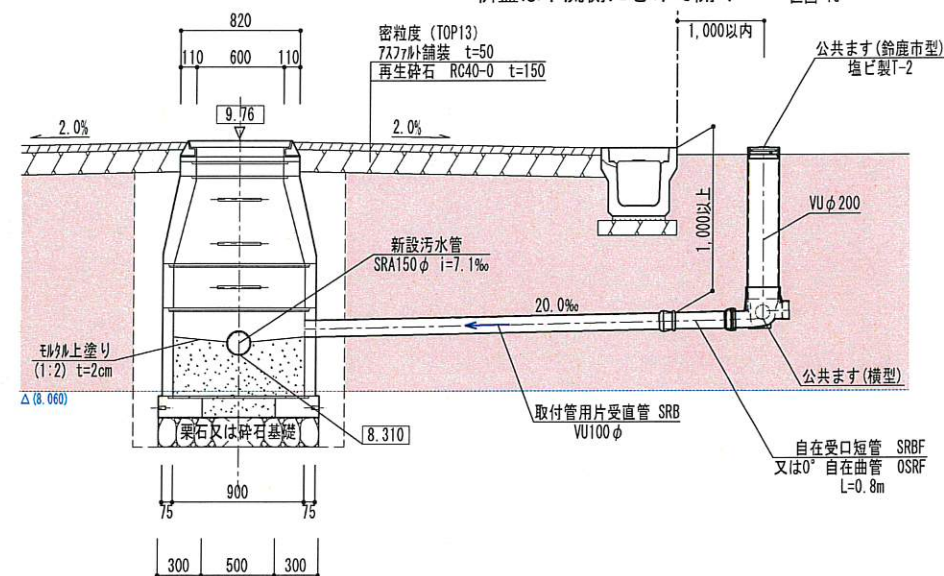
DL10.00

DL10.00

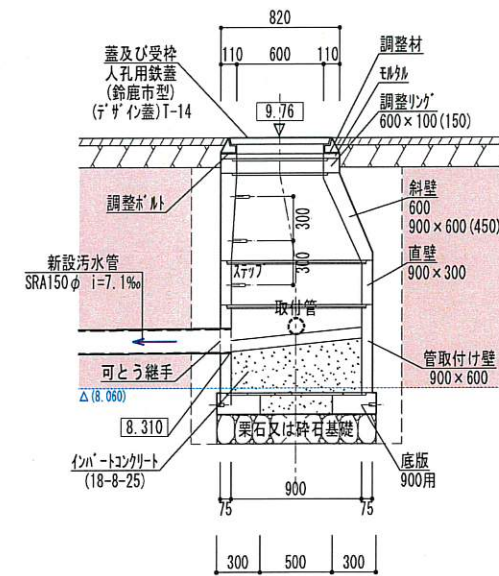
MK426-1-3
インバート詳細図
S=1/50



新設人孔接続構造図
MK426-1-4 S=1/50
1号マンホール
柵蓋は下流側にむけて開く

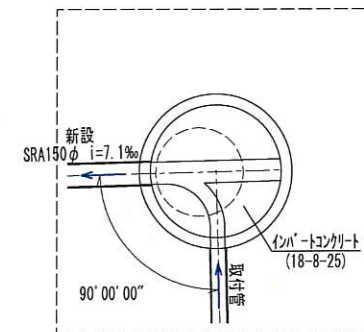


1.450



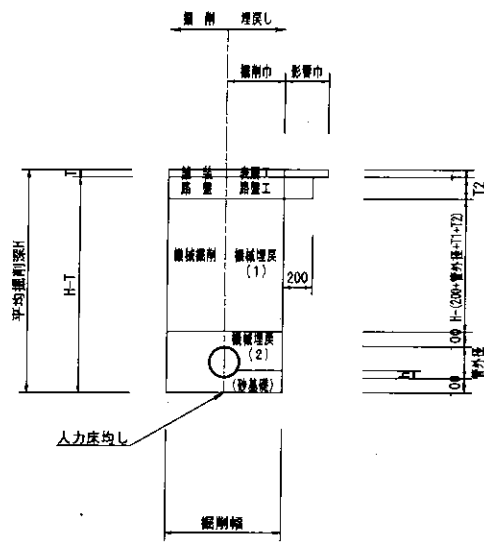
DL10.00

MK426-1-4
インバート詳細図
S=1/50

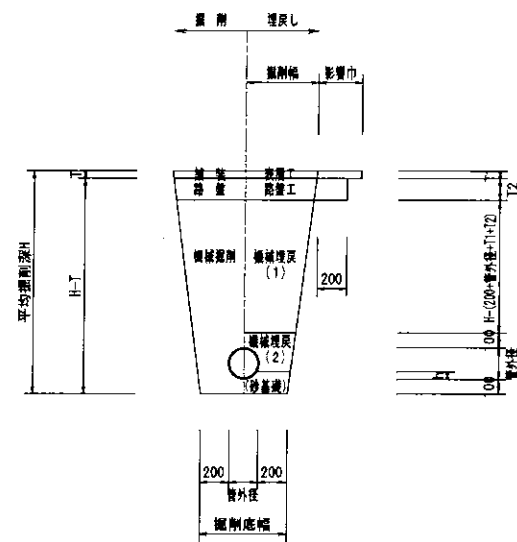


工 事 名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可				
図 面 名	下水施設構造図-2				
縮 尺	A3 : 図 示	作成日	2024. 01. 22	図面番号	31
図面作成者	調査・企画・開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥				

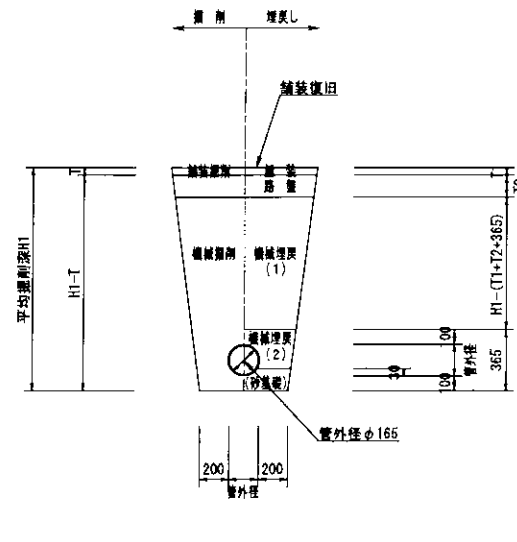
矢板施工による標準図



素掘りによる標準図

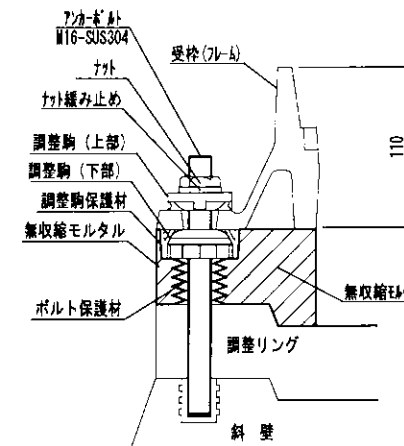


取付管土工図



調整部詳細図

S=1/5



備考

- (1) 調整リングはH=100mm以上を1つ以上使用する。又、H=50mmは使用しないこと。
- (2) 直壁300mm以下の斜壁の採用は禁止とする。

注1) 施工留意点

調整部の詳細は左図のとおりとする。

- (1) アンカーボルトの施工
SUS304を使用し、調整リング、斜壁まで貫通させて施工すること。
- (2) 無収縮モルタルの材質
モルタルの圧縮強度は、9.8N/mm²以上（施工後1.5時間）のものを使用すること。
- (3) 無収縮モルタルの調整高
モルタルの調整高は20～100mm未満とすること。

注2) インポート

インポートは次のように設定する。

- (1) インポートの高さ
インポート高さは管径の1/2とする。
- (2) インポートの幅
上流管幅と下流管幅を結んだ線とする。斜管のある場合には下流管の幅とする。枝線に対するインポートは、枝線の幅とする。
- (3) インポートの縦断勾配
上流管底と下流管底を結んだ線とする。ただし、上流管底と下流管底に1mをこえる落差がある場合にはインポートの縦断勾配は下流管勾配と同一にする。
- (4) インポートの横断勾配
10%とする。

流用土（砂質土）については、注1. かつ疎等（20mm以上）等の管に有害なものも除く。

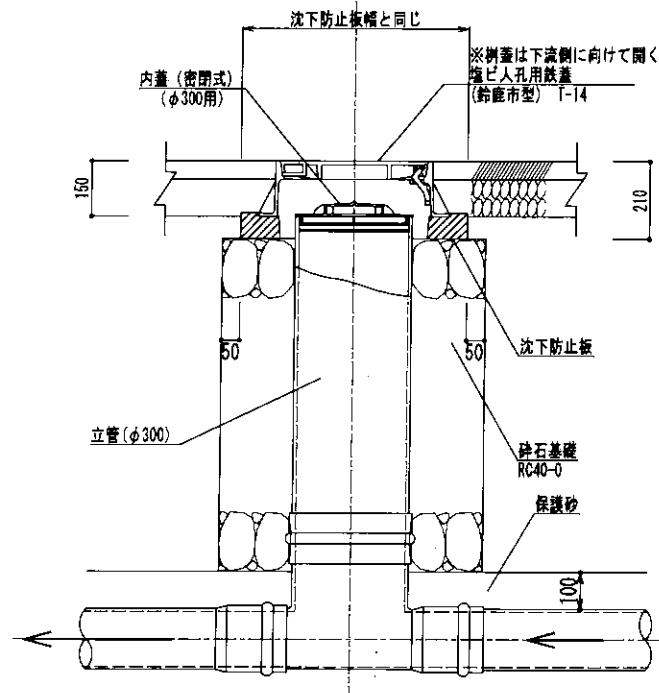
- 注1. 機械埋戻し(1)の流用土（砂質土）については、特に軟弱で路床に達さないものは除く。
- 注2. 機械埋戻し(2)の管周りは、砂基礎と同材とする。
3. h=管外径×0.15とし10mm単位で切り上げる。
4. 砂基礎については、リサイクル砂を使用する。
5. 砂基礎幅：側面幅→矢板材の厚さ
6. 側面幅が1.5mを超える場合は原則として土留め工を施す。

- 注1. 機械埋戻し(1)の流用土（砂質土）については、特に軟弱で路床に達さないものは除く。
- 注2. 機械埋戻し(2)の管周りは、砂基礎と同材とする。
3. h=管外径×0.15とし10mm単位で切り上げる。
4. 砂基礎については、リサイクル砂を使用する。
5. 側面幅は50mm単位とし、二倍三入を行う。
6. 側面幅が1.5mを超える場合は原則として土留め工を施す。

- 注1. 機械埋戻し(1)の流用土（砂質土）については、特に軟弱で路床に達さないものは除く。
- 注2. 機械埋戻し(2)の管周りは、砂基礎と同材とする。
3. 砂基礎については、リサイクル砂を使用する。
4. 側面幅が1.5mを超える場合は原則として土留め工を施す。

鉄蓋（鈴鹿市型）T-14用

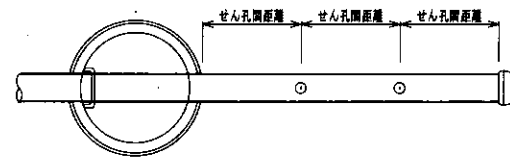
S=1/20



- * 人孔鉄蓋について
据付方向：下流側に緩衝を合わせ
蓋機構：汚水用
- * 沈下防止板について
鉄蓋と同様の耐荷重を有すること。

注意事項

管のせん孔
近接してせん孔する場合、そのせん孔間距離は原則以下のとおりとする



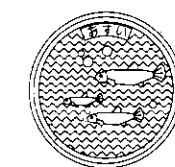
支管の呼び径	せん孔間距離
150以下	本管軸方向に70cm以上
200	本管軸方向に90cm以上

再掘削した管のせん孔

既設管や新埋設した管を再掘削した時は、せん孔部を中心に左右1.0mの区間の土砂を取り除いて、本管のつなぎ目が露出が確認すること。

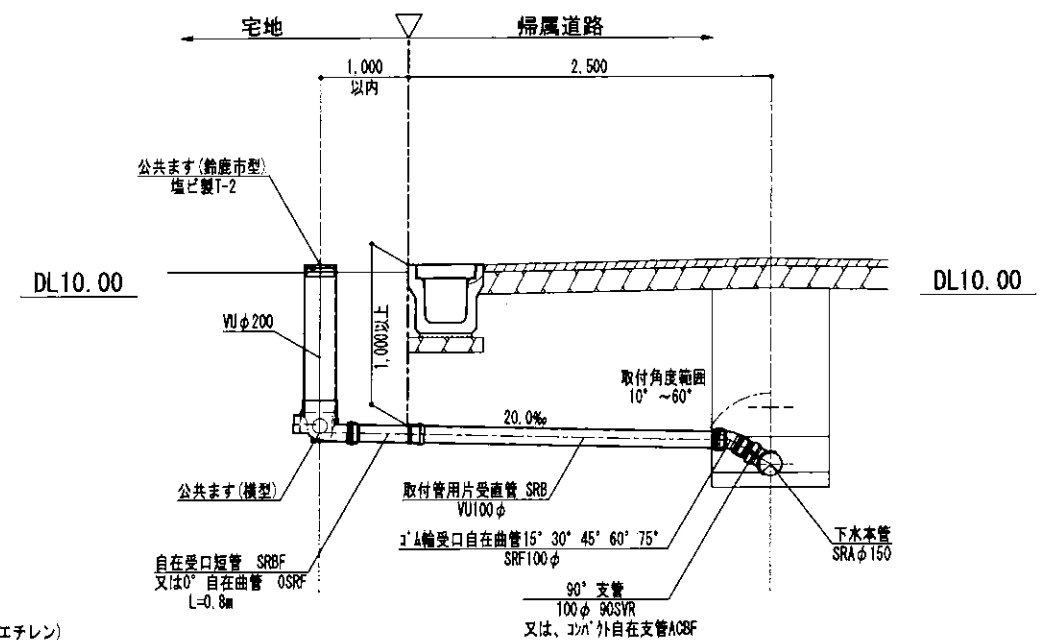
蓋（鈴鹿市型）T-2用

S=1/10



公共ます等設置標準図

S=1/50



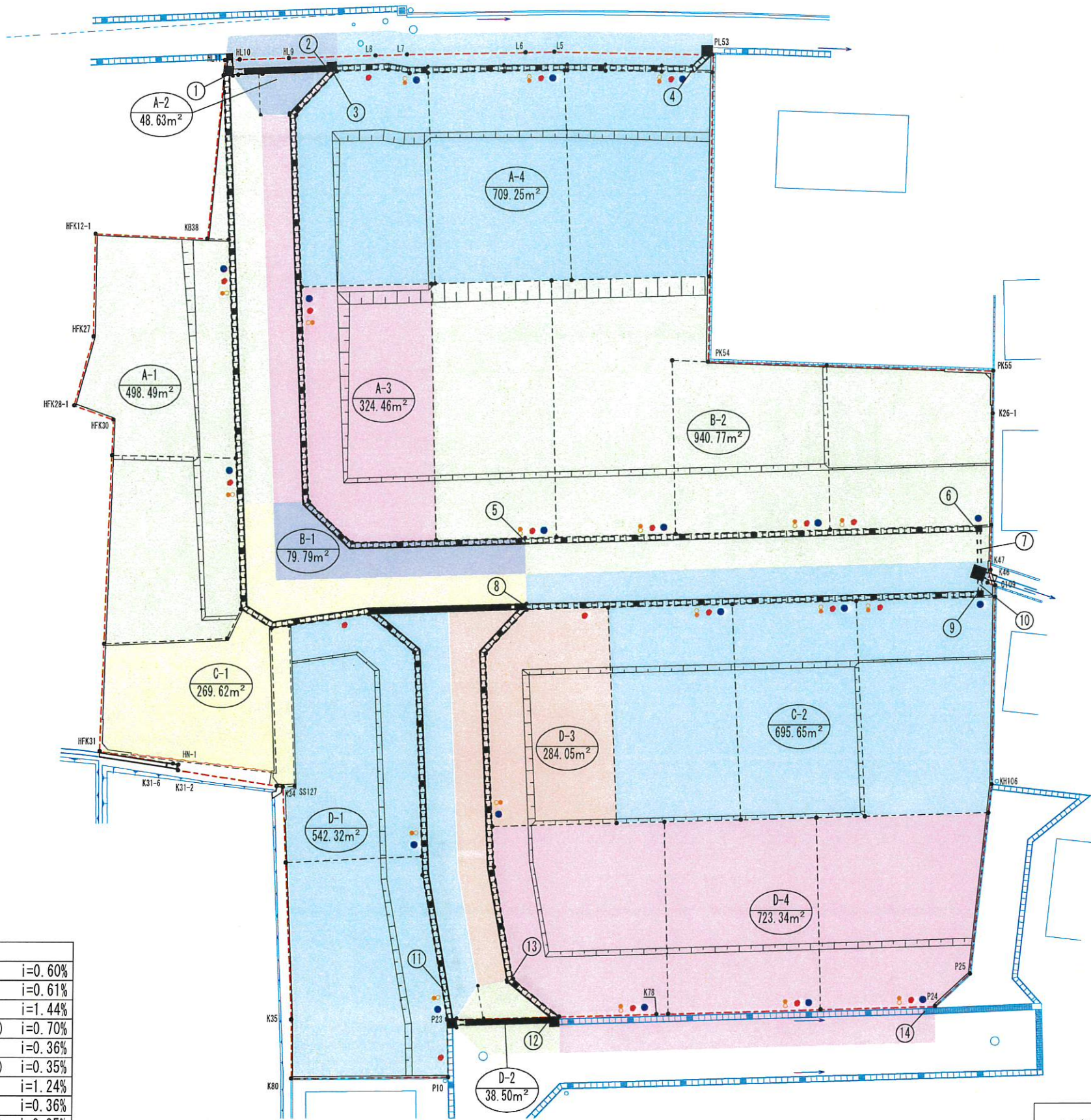
- * 支管について、接着剤と番線又は接合材と番線にて取付けること
- * 公共樹の設置はすべて開発工事とすること。

工事名	株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可				
図面名	下水施設構造図-3				
縮尺	A3:図示	作成日	2024.01.22	図面番号	32
図面作成者	調査・企画・開発設計 株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥				

流域	面積(m ²)	換算値(ha)
A-1	498.49	0.0499
A-2	48.63	0.0049
A-3	324.46	0.0325
A-4	709.25	0.0710
B-1	79.79	0.0080
B-2	940.77	0.0941
C-1	269.62	0.0270
C-2	695.65	0.0696
D-1	542.32	0.0542
D-2	38.50	0.0039
D-3	284.05	0.0285
D-4	723.34	0.0724
小計	5154.87	0.516

No	種類・勾配
①	オメガ側溝3種300A i=0.60%
②	道路側溝横断G300A i=0.61%
③	オメガ側溝3種300A i=1.44%
④	VS側溝縦断300×400(H=253) i=0.70%
⑤	オメガ側溝3種300A i=0.36%
⑥	VS側溝縦断300×400(H=400) i=0.35%
⑦	台付管D250 i=1.24%
⑧	道路側溝横断G300A i=0.36%
⑨	VS側溝縦断300×400(H=400) i=0.35%
⑩	台付管D250 i=1.80%
⑪	オメガ側溝3種300A i=0.35%
⑫	道路側溝横断G300A i=0.18%
⑬	オメガ側溝3種300A i=0.36%
⑭	既設側溝 300×300 i=0.31%

※VS側溝(H=300)は有効高さを示す。



流量計算結果一覧表

流域		下流域	計画最大雨水流出量				各排水施設の能力検討										判定 OK/NG	安全率		
			各級	面積 (ha)	累計	流出係数 C	流出量 Q1 (m ³ /s)	施設 番号	排水施設	B m	0.8H m	断面積 A (m ²)	P (m)	径深 R	勾配 i (%)	粗度係数 n			流速 V (m/s)	流量 Q2 (m ³ /s)
A-1	A-2		0.0499	0.0499	0.0499	0.900	0.0143	①	オ-メ-方側溝3種300A	0.300	0.240	0.0681	0.7204	0.0945	0.60	0.013	1.2362	0.0842	OK	5.89
A-2	A-4		0.0049	0.0548	0.900	0.0157	②	道路側溝横断G300A	0.300	0.240	0.0681	0.7204	0.0945	0.61	0.013	1.2465	0.0849	OK	5.41	
A-3	A-4		0.0325	0.0325	0.900	0.0093	③	オ-メ-方側溝3種300A	0.300	0.240	0.0681	0.7204	0.0945	1.44	0.013	1.9151	0.1304	OK	14.02	
A-4	既設道路側溝		0.0710	0.1583	0.900	0.0453	④	VS側溝縦断300×400(H=253)	0.300	0.202	0.0606	0.7040	0.0861	0.70	0.013	1.2549	0.0760	OK	1.68	
B-1	B-2		0.0080	0.0080	0.900	0.0023	⑤	オ-メ-方側溝3種300A	0.300	0.240	0.0681	0.7204	0.0945	0.36	0.013	0.9576	0.0652	OK	28.35	
B-2	既設水路		0.0941	0.1021	0.900	0.0292	⑥	VS側溝縦断300×400(H=400)	0.300	0.320	0.0960	0.9400	0.1021	0.35	0.013	0.9941	0.0954	OK	3.27	
C-1	C-2		0.0270	0.0270	0.900	0.0077	⑦	台付管D250	0.250	0.250	0.0491	0.7854	0.0625	1.24	0.013	1.3490	0.0662	OK	2.27	
C-2	既設水路		0.0696	0.0966	0.900	0.0273	⑧	道路側溝横断G300A	0.300	0.240	0.0681	0.7204	0.0945	0.36	0.013	0.9576	0.0652	OK	8.46	
D-1	D-2		0.0542	0.0542	0.900	0.0273	⑩	台付管D250	0.250	0.250	0.0491	0.7854	0.0625	1.80	0.013	1.6253	0.0798	OK	2.92	
D-2	D-4		0.0039	0.0581	0.900	0.0155	⑪	オ-メ-方側溝3種300A	0.300	0.240	0.0681	0.7204	0.0945	0.35	0.013	0.9442	0.0643	OK	4.14	
D-3	D-4		0.0285	0.0285	0.900	0.0170	⑫	道路側溝横断G300A	0.300	0.240	0.0681	0.7204	0.0945	0.18	0.013	0.6771	0.0461	OK	2.71	
D-4	既設道路側溝		0.0724	0.1604	0.900	0.0082	⑬	オ-メ-方側溝3種300A	0.300	0.240	0.0681	0.7204	0.0945	0.36	0.013	0.9576	0.0652	OK	7.95	
			0.0724	0.1604	0.900	0.0459	⑭	既設側溝 300×300	0.300	0.240	0.0681	0.7204	0.0945	0.31	0.013	0.8886	0.0605	OK	1.32	

作製日 2024/1/21

地盤ブロック	降雨強度
計画	114.4mm/h

工事名 株式会社まごころ住宅御中 東玉垣宅地分譲開発許可

図面名 開発区域内流域図・排水計算

縮尺 A2: S=1/300 A3: S=1/400 (75%) 作成日 2024.01.27 図面番号 33

図面作成者 調査・企画・開発設計
株式会社 ジーテック 宮崎 鉄弥